名古屋大学減災連携研究センター

令和 3 年度　活動報告書

Annual Report

Disaster Mitigation Research Center (DMRC)

Nagoya University

令和 4 年 6 月

名古屋大学 減災連携研究センター

目　　次

１．センターの概要と構成
（１）基本理念 1
（２）令和３年度の構成 2

２．減災館
（１）概要 8
（２）令和３年度の展示活動について 9

３．研究活動
（１）東海圏減災研究コンソーシアム 16
（２）防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト「発災時の企業の事業活動停止を防ぐ」 17
（４）屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）における重点的な調査観測 18

４．社会活動
（１）防災アカデミー 19
（２）げんさいカフェ 22
（３）シンポジウム 24
（４）災と SEEING 25
（５）その他人材育成活動 26

５．構成員研究活動
（１）飛田潤 29
（２）鷺谷　威 31
（３）鈴木康弘 32
（４）西川　智 33
（５）長江拓也 34
（６）平山修久 35
（７）新井伸夫 36
（８）荒木裕子 38

（９）倉田和己 39
（１０）平井　敬 40
（１１）MENESES-GUTIERREZ ANGELA 41
（１２）エネルギー防災（中部電力）寄附研究部門 42
（１３）ライフライン地盤防災（東邦ガス）産学協同研究部門 43
（１４）地域社会減災計画（応用地質）寄附研究部門 44

６．構成員研究業績
（１）概要 45
（２）論文・著書 46
（３）発表・講演 52
（４）受賞 59
（５）外部資金 60
（６）委員 64
（７）メディア 66

７．名古屋大学基金「巨大災害から次世代を守る減災館支援事業」寄附者様 ご芳名一覧
2018 年度寄附者様 ご芳名一覧 71
2019 年度寄附者様 ご芳名一覧 72
2020 年度寄附者様 ご芳名一覧 73
2021 年度寄附者様 ご芳名一覧 73

はじめに

将来の南海トラフ地震や首都直下地震などの発生、広域化・激甚化する気象災害の頻発、昨年は大規模な土砂災害、さらには感染症蔓延による影響など、自然の力と社会活動の複雑な連関や影響を考究し、また有効な対応を展開する重要性が増しています。

本センターは 2012 年 1 月の正式発足から 10 年を迎え、最先端の研究成果に基づく産官学民の連携により地域の減災力向上に取り組んできました。多数の教員、寄附研究部門・産学協同研究部門、学内の多様な分野の協力教員、さらには外部からの客員教員や研究員が参画しています。2014 年に竣工した本拠地の減災館は、特徴的な設備や活動をベースに、多くの関係者を集める拠点となっています。また 2017 年に設立されたあいち・なごや強靭化共創センターでは、地域の行政や企業と連携活動するする枠組みを展開しています。

令和 3 年度は、産官学民の連携による活動や研究推進を継続して行っており、その成果は本報告書にも反映されています。一方で、一昨年度来の感染症の影響で現地・対面の活動は限定的となりましたが、その中でも、熱海の土砂災害の調査活動、地域の災害ゆかりの地を取材する「災と Seeing」プロジェクト、さまざまな行事や活動のオンライン化を進めました。防災アカデミーやげんさいカフェは広域から多数の参加者を集め、サテライトを構築するなど新たな展開を見せています。また防災活動をオンラインで共有する DX 減災館の開発なども行ってきました。

令和 4 年度からは新たな設置期間に入り、3 年度までの成果を踏まえて、地域減災活動と減災研究推進を 2 つの柱とした体制をスタートしています。減災を中心に、連携をキーワードにして、安全・安心で豊かな社会を目指す研究と実践をこれからも展開していきます。よろしくお願いいたします。

2022 年 5 月 1 日

センター長　飛田　潤

１．センターの概要と構成

（１）基本理念

『最先端の減災研究に基づいて、地域全体の様々な連携を深め、減災実現モデルを創る。』

【減災のための「知」の創出】

分野連携型研究、地域力を結集した地域連携型減災研究を実現します。学内外の研究者連携の強化、地域社会とのリエゾン、情報発信、減災研究プロジェクトや地域連携活動の企画・調整・推進などを担います。

【人材育成】

地域連携による防災教育の体系化と人材育成により、「新しい公共」を支える防災人材育成事業を戦略的に実現します。

【地域連携】

地域連携を実現する枠組み作りを推進します。「顔の見える」地域ネットワークに基づく、研究成果の橋渡しをします。

【国際連携】

減災戦略のアジア展開に貢献するため、地域における減災戦略モデルのベストプラクティスを海外移転させます。

センターの基本理念

（２）令和３年度の構成

『先進的な減災研究の推進と、産業界との連携研究双方の実現をめざして、研究連携部門と社会連携部門および強靭化共創部門の 3 部門を設置』

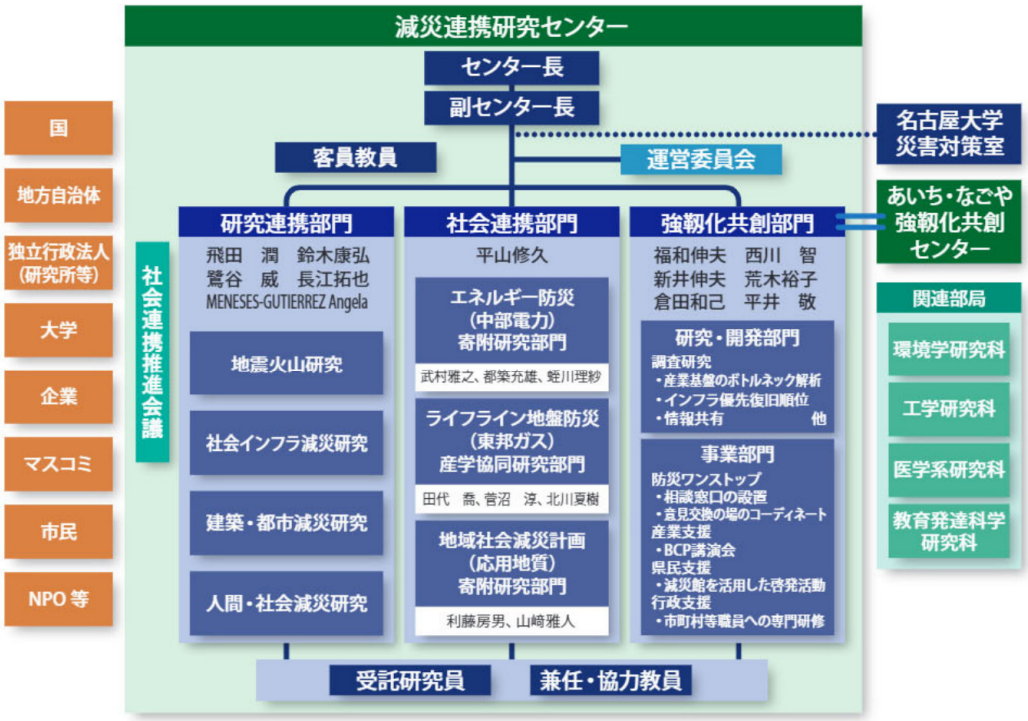
名古屋大学減災連携研究センターは、社会連携部門と研究連携部門および強靭化共創部門の 3 部門を核として、社会連携推進会議や環境学研究科・工学研究科・医学系研究科・教育発達科学研究科などの関連部局と連携をしながら減災課題の研究・普及・啓発を行う。

研究連携部門は地震火山研究、社会インフラ減災研究、建築・都市減災研究、人間・社会減災研究などにおいて減災を実現するための最新の研究成果を生み出す。

社会連携部門にはエネルギー防災、ライフライン地盤防災、地域社会減災計画の各寄附研究部門、産学協同研究部門が、産業・企業の立場から地域の安全・安心を考え、人材育成に貢献する。

強靭化共創部門は、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会経済活動を維持するための研究開発や事業を産官学民の連携のもと戦略的に推進する。

このような場に行政や市民、マスコミ、NPO などが参画し、意見をかわすことで、研究分野や対策主体を越えた真の連携研究が可能となる。



令和３年度のセンターの構成

令和３年度の構成員一覧

令和 4 年 3 月末時点

専任教員	センター長／強靭化共創部門　教授	飛田 潤
	副センター長／研究連携部門　教授	鷺谷 威
	強靭化共創部門　教授	福和 伸夫
	研究連携部門　教授	鈴木 康弘
	強靭化共創部門　教授	西川 智
	研究連携部門　准教授	長江 拓也
	社会連携部門　准教授	平山 修久
	強靭化共創部門　助教	平井 敬
特任教員	強靭化共創部門　特任教授	新井 伸夫
	強靭化共創部門　特任准教授	荒木 裕子
	強靭化共創部門　特任准教授	倉田 和己
	研究連携部門　特任助教	MENESES-GUTIERRES Angela
寄附研究部門教員	社会連携部門　特任教授	武村 雅之
	社会連携部門　特任准教授	都築 充雄
	社会連携部門　特任助教	蛭川 理沙
	社会連携部門　特任教授	利藤 房男
	社会連携部門　特任准教授	山崎 雅人
産学協同研究部門教員	副センター長／社会連携部門　特任教授	田代 喬
	社会連携部門　特任准教授	菅沼 淳
	社会連携部門　特任助教	北川 夏樹
客員教員	防災科学技術研究所　兵庫耐震工学研究センター長	梶原 浩一
	江戸川大学　メディアコミュニケーション学部教授	隈本 邦彦
	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科　教授	阪本 真由美
	国立研究開発法人産業技術総合研究所 海溝型地震履歴研究グループ長	宍倉 正展
	消防大学校消防研究センター研究企画部長	細川 直史
	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所　沿岸水工研究領域 波浪研究グループ長	平山 克也
	東京大学大学院工学系研究科　教授	廣井 悠
	国立研究開発法人防災科学技術研究所　マルチハザードリスク評価部門長	藤原 広行
	清水建設技術研究所　主任研究員	宮腰 淳一

兼任教員	環境学研究科　教授	荒木 慶一
	環境学研究科　教授	飯塚 悟
	環境学研究科　准教授	尾崎 文宣
	環境学研究科　教授	加藤 博和
	未来社会創造機構　教授	河口 信夫
	環境学研究科　教授	熊谷 博之
	教育発達科学研究科　准教授	狐塚 貴博
	環境学研究科　教授	小松 尚
	経済学研究科　教授	齊藤 誠
	生命農学研究科　准教授	田中 隆文
	環境学研究科　教授	谷川 寛樹
	工学研究科　教授	恒川 和久
	宇宙地球環境研究所　教授	坪木 和久
	工学研究科　教授	戸田 祐嗣
	環境学研究科　教授	富田 孝史
	工学研究科　准教授	中井 健太郎
	工学研究科　教授	中野 正樹
	工学研究科　准教授	中村 晋一郎
	工学研究科　教授	中村 光
	環境学研究科　教授	西澤 泰彦
	工学研究科　教授	野田 利弘
	心の発達支援研究実践センター　准教授	野村 あすか
	アジア共創教育研究機構　教授	林 秀弥
	工学研究科　教授	原 進
	環境学研究科　教授	藤田 耕史
	環境学研究科　准教授	堀田 典裕
	医学系研究科　教授	松田 直之
	心の発達支援研究実践センター　教授	松本 真理子
	環境学研究科　教授	丸山 一平
	工学研究科　教授	水谷 法美
	環境学研究科　教授	森 保宏
	災害対策室　教授	護 雅史
	環境学研究科　教授	山岡 耕春
	環境学研究科　准教授	山中 佳子
	工学研究科　准教授	山本 和弘
	工学研究科　講師	LELEITO Emanuel Langat

連携協力員等 （あいち・なごや強靭化共創センター）	あいち・なごや強靭化共創センター 副センター長	木村 吉誠
	あいち・なごや強靭化共創センター センター総括	林 幹雄
	あいち・なごや強靭化共創センター	古賀野 哲也
	あいち・なごや強靭化共創センター	角田 望美
	あいち・なごや強靭化共創センター	浅野 友梨子
	あいち・なごや強靭化共創センター	加藤 拓
	あいち・なごや強靭化共創センター	金原 保夫
	あいち・なごや強靭化共創センター シニアアドバイザー	木全 誠一

研究員	減災連携研究センター	石原 宏
	減災連携研究センター	末松 憲子
	減災連携研究センター	高瀬 邦夫
	減災連携研究センター	武居 信介
	減災連携研究センター	千葉 啓広
	減災連携研究センター	土屋 泰広
	減災連携研究センター	野村 一保
	減災連携研究センター	橋冨 彰吾
	減災連携研究センター	光井 能麻
	減災連携研究センター	山崎 暢

受託研究員	日建設計	朝日 智生
	岡崎市	穴井 英之
	出光興産	阿部 隼人
	ヒラオカ石油	飯阪 真也
	高浜市	福岡 哲也
	幸田町	梅村 健二
	竹中工務店	鶴ケ野 翔平
	半田市	中川 貴王
	碧南市	角谷 智久
	応用地質	加藤 直也
	東海市	宮本 和宏
	愛西市	佐藤 友亮
	スギ薬局	小笠原 和馬
	豊田市	大滝 正和
	コンポン研究所	近藤 斎
	東京海上日動火災保険	塚本 笑子
	ファルコン	坂上 寛之
	日本赤十字社愛知県支部	近藤 祐介
	応用アール・エム・エス	清水 智
	津島市	西尾 吏啓
	豊川市	平松 佳采
	中日本航空	木澤 恵一
	知立市	幸節 静奈
	豊橋市	岡田 恵実
	一条工務店	高橋 武宏

	安城市	石田 洋信
	四日市市	橋本 直也
	みよし市	山口 慎太郎
	ゼンリン	白井 孝樹
	中電シーティーアイ	寺田 華
	CBC テレビ	長谷川 琢也
	玉野総合コンサルタント	長谷川 智則
	清水建設	渡辺 明美
	名古屋第二赤十字病院	藤本 幸士
	稲沢市	飯田 一孝
	メタウォーター	松永 誠弥
	飛島村	三浦 大輝
	中日本高速道路	芹川 武志
	生活協同組合コープあいち	小沢 哲
	名古屋市上下水道局	髙橋 優希
	KYB	中村 悠太
	愛知県企業庁	牧野 真補
	ヒラオカ石油	明道 仁志
	アシストコム	兼松 幸代

２．減災館

（１）概要

平成 26 年（2014 年）3 月に完成した減災館は、名古屋大学東山キャンパス初の免震構造建物であり、減災連携研究センターに関わる研究者が最先端の減災研究を行うとともに、減災に向けた社会連携の拠点にもなっている。また、地下の免震装置と屋上の振動実験室によって建物全体を実際に揺することができるなど、世界初の試みが取り入れられている。免震装置には弾性免震を採用し、十分な設計余裕を設けることで、巨大地震に対して地域で最も安全な建物となっている。

平常時は、減災研究の拠点であるとともに、教育・人材育成の場としても活用している。1 階には長周期地震動を再現できる振動台「BiCURI」や、3D プリンターによる地形模型や床面に設置した名古屋周辺の大型空中写真にハザード情報などをプロジェクションマッピングするビジュアル展示のほか、防災・減災について学ぶパネル、耐震を学ぶための模型、キッズ工作コーナーなどを整備し、来館者に学びの場を提供している。また、コロナ禍においてはオンライン開催となっているが、「防災アカデミー」や「げんさいカフェ」を開催する場所にもなる。2 階は様々な資料や情報システムを閲覧できるライブラリーと、企画展開催スペースとして活用している。

大規模災害発生時には、災害対応や情報発信の拠点にもなる。そのために、水・食糧などの備蓄や、非常用発電装置、電源車との接続端子、プロパンガスを用いた空調設備、太陽光発電装置を備え、1 週間程度の自立運用が可能である。また、リアルタイムでの災害情報の共有を目的とし、自治体衛星通信システムにより愛知県と、長距離無線 LAN により中部地方整備局と結ばれている。

減災館外観

減災ギャラリー

減災ライブラリー

免震ギャラリー

屋上実験室内

自治体衛星通信

（２）令和 3 年度の展示活動について

①展示概要

平成 26 年 5 月 7 日より、減災ギャラリー・減災ホール（1 階）、減災ライブラリー（2 階）、免震ギャラリー（地下）を展示ブースとして一般に公開している。公開時間は火曜日～土曜日の午後 1 時～4 時で、午後 1 時 30 分からは、減災連携研究センターの専任・特任・寄附研究部門・産学協同研究部門教員が日替わりで「ギャラリートーク」を行い、それぞれの専門分野の研究の話を身近に聞くことができる場を提供している。

令和 3 年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症（COVID-19）のため、完全予約による限定公開や閉館を余儀なくされ、原則予約対応での見学受付となった。見学者の安全確保のため、HP 上に予約システムを整備し密を避けての見学が可能となるよう配慮した。このような状況の中、Web 上で減災館を見学できる減災館バーチャルツアーを新たに公開するなど、ホームページを通じたバーチャルコンテンツの充実を図り、With コロナ時代における新しい情報発信を模索した。

減災館　予約 HP

減災館バーチャルツアー

②ギャラリートーク

減災館の目玉企画となっているギャラリートークでは、すべての教員が日替わりで講師を務め、専門分野の内容を分かりやすく伝えているが、令和 3 年度は新型コロナウィルス感染症（COVID-19）の影響ですべてのギャラリートークをオンライン形式とし、いつでもどこでも自由に視聴できるようにした。1 年間での再生回数は延 3,606 回であり、制限下においても市民への情報提供を積極的に行うことが出来た。

【教員等によるギャラリートークの主なタイトル】

タイトル	担当
『音』、それも人には聞こえないくらい低い音の不思議	新井伸夫教授
パパママの備災連携	蛭川理紗助教
活断層と地形と地震	鈴木康弘教授
文明は自然災害を大きくする？	武村雅之教授
検証せよ　災害時の入浴問題	北川夏樹助教
BiCURI のすべて	平井敬助教
南海トラフ巨大地震の経済被害とは	山﨑雅人准教授
暮らしを支えるエネルギー～都市ガス	菅沼淳准教授
3.11 から 10 年で分かったこと	鷺谷威教授
東日本大震災時の避難行動	荒木裕子准教授
多岐にわたる建築耐震	長江拓也准教授
災害ごみを考える	平山修久准教授
南海トラフ地震で電気はどうなる？	都築充雄准教授
砂の不思議？と液状化	野田利弘教授
企業の BCP、何のため？	西川智教授
スペシャルギャラリートーク 第 31 回特別企画展「災と Seeing」	都築充雄准教授

③特別企画展・特別イベント

減災館では、過去に発生した大規模な地震・風水害に関する特別企画展などを定期的に実施しているが、令和 3 年度は、新型コロナウィルス感染症（COVID-19）対応のため、企画を全てオンデマンド配信で実施した。小・中学生向けイベントとして毎年実施している 7～8 月開催の「おうちからアクセス！夏休みスペシャル減災教室」では、動画教材の配信の他、自宅でできる子供向けダウンロード教材を掲載した。特に新たに制作した「げんさいかん体操」と「みんなをまもるうた」の動画は好評を博し、トップページ訪問 1,010 回・動画視聴延 2,026 回を数えた。また、11 月～3 月開催の第 31 回特別企画展「災と Seeing」では トップページ訪問 2,099 回であった。

【企画展・特別イベント開催実績】

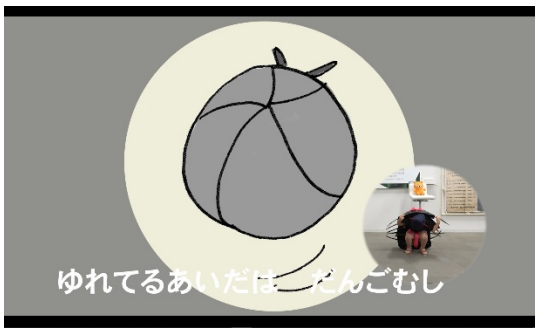
回	期間	タイトル
イベント	7 月 17 日～8 月 31 日	おうちからアクセス！夏休みスペシャル減災教室
第 31 回	11 月 3 日～3 月 31 日	災と Seeing

【企画展・特別イベント写真】

夏休みスペシャル減災教室　チラシ

げんさいかん体操　チラシ

げんさいかん体操　動画



みんなをまもるうた　動画

第 31 回告知用チラシ

第 31 回専用 HP

第 31 回パネル例

第 31 回スペシャルギャラリートークスライド

④減災ライブラリーの活動について

減災館 2 階の減災ライブラリーでは、平成 28 年度に資料管理システムを導入し、蔵書及び収蔵資料を登録・管理している。

令和 3 年度は、図書 632 冊、収蔵資料 4 件を登録した。これにより、令和 3 年度末の検索可能資料数は、図書 13,206 冊、収蔵資料 82 件となった。図書の内訳は、書籍 5,710 冊、雑誌 4,388 冊、その他 3,108 冊で、「その他」には、地域防災計画やハザードマップ、報告書など書店流通していない資料の他、防災学習 DVD などの映像資料等が含まれる。

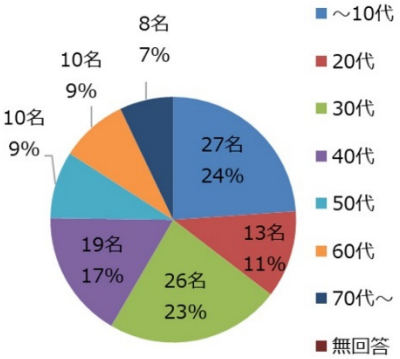
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に伴う臨時休館を利用し、目次データの充実につとめた。特に自治体史の目次入力を進め、開架 321 冊中 237 冊（73.8%）の入力が完了した。

防災専門図書館との連携協力協定締結以降、防災専門図書館蔵「災害かわら版」データの利活用を進めている。令和 2 年度で原寸大複製のライブラリー設置が完了した。令和 3 年度は、減災連携研究センター古文書勉強会と協力し、『かわら版翻刻集 1』を作成した。安政東海・南海地震に関わる 16 点を活字翻刻したものである。

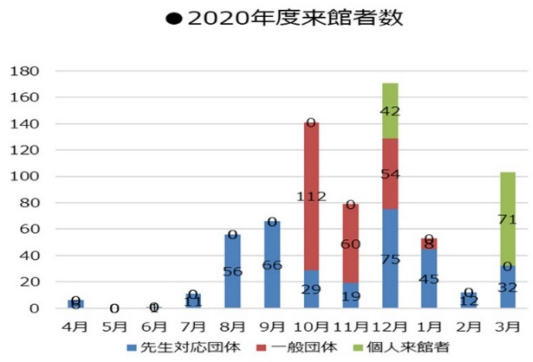
災害かわら版翻刻集 1

⑤来館者の概要

既述のとおり令和 3 年度は新型コロナウイルスの影響のため限られた開館となり、来館者は 359 名であった。他方、HP 上で執り行った特別企画展示等は合わせて 8,000 以上のアクセスがあり、多く閲覧された。



令和 3 年度年齢別来館者数



令和 3 年度月別来館者数

３．研究活動

（１）東海圏減災研究コンソーシアム

【概要】

平成 25 年 3 月に東海地区の 6 国立大学(岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学)が参画して東海圏減災研究コンソーシアムが設立され、連携して東海地域における減災研究を進める基盤ができた。この 6 大学は減災研究を行う組織を有するが、いずれも小規模なものであり、個々の大学では減災に関わる広範な専門分野をカバーしきれない。6 大学が連携することで、地域との密着に連携するとともに、大学間連携で幅広い分野をカバーすることが可能となり、他地域における大規模な大学・研究所に一極集中した減災研究とは異なる、ユニークな研究組織が成立した。また、6 大学で連携して研究を進める目的で、プロジェクト概算要求を行い、名古屋大学を含む 4 大学で平成 27 年度分までの予算が措置された。 その後は各大学の自助努力により連携の取り組みを進めている。

【令和３年度実績】

昨年度に引き続き、6 部会における情報共有や研究推進を行うとともに、幹事会を開催し、各大学の活動状況について意見交換を行った。2021 年 6 月 9 日には三重大学およびオンラインで第８回シンポジウムをハイブリッド開催し「リモートワーク時代における防災教育とフォローアップの新しい展開」というタイトルでパネルディスカッションを行った。2022 年 3 月 1 日には、第９回シンポジウム「防災・減災に向けた技術開発最前線」を名古屋工業大学で開催し、オンライン配信した。コロナウイルスの影響で交流が困難な中、６つの専門部会において、リモートを活用しながら議論や情報交換を継続的に実施した。

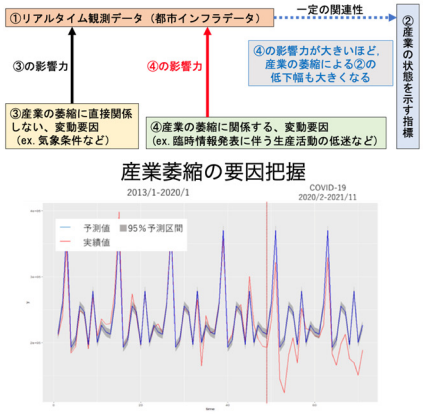
（２）防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト「発災時の企業の事業活動停止を防ぐ」

【概要】

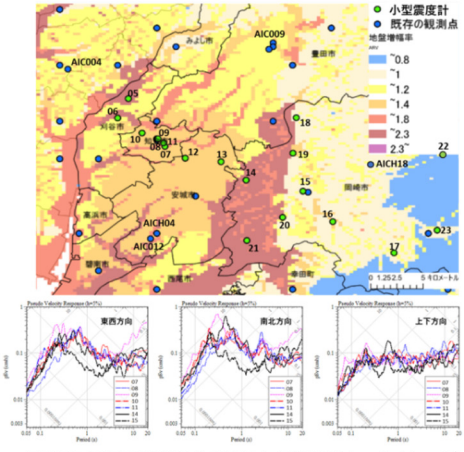
臨時情報発表時に製造業を中心とする地域産業活動が継続するために必要となる要素を構造化し、事前防災対策と事後対応を構成要素とした産業タイムラインモデルを構築し、都市インフラとサプライチェーンの回復力のリスク評価を行う。地域の人流、物流に対して、地震センサー、停電情報や都市インフラのスマートデータ等の減災情報利活用の高度化等を行い、臨時情報発表時の俯瞰的かつ総合的なリアルタイムでの社会様相モニタリング手法を開発する。臨時情報発表時での行動と資源を取り入れた事態想定シミュレーション技法を開発し、社会萎縮回避や事前防災投資のための地域産業回復シナリオを作成し、情報提供できるようにする。

【2021 年度実績】

リアルタイム観測データを用いた産業活動の「萎縮」状態の想定において、産業の活性度を映しだす鏡として、産業に欠かせない電力の需要量（消費量）をモニタリングすることを考案し、その妥当性について時系列データ分析等の統計学的手法を用いて検証した。COVID-19 による産業への影響調査において、状態空間モデルと時系列データを用いて、いくつかの産業における COVID-19 の影響を定量的に把握した。地盤条件や社会状況から見て既存の震度観測の密度が相対的に低い地域があること、このような地域に、無線ネットワーク接続された小型地震計を階層的かつ戦略的に配置する振動モニタリングで、多大なコストを要せずに、事前の対策や発災後の対応に有用な情報が得られる可能性があることを示した。臨時情報に関するワークショップを地域研究会活動として実施し、南海トラフ地震臨時情報に対する被災シナリオについて検討した。臨時情報発表時における地域情報共有連携手法に係るワークショップを、南海トラフ地震臨時情報の認知度及び理解度の向上を目的のひとつとして実施した。



COVID-19による産業への影響評価（自動車産業）



既存の震度計配置を補間する連続モニタリング

南海トラフ地震臨時情報ワークショップ
社会様相のワードクラウド

臨時情報遠隔型ワークショップ
臨時情報発表時に関する地域情報共有連携手法の探求

（３）屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）における重点的な調査観測

【概要】

本事業は当該断層帯の北部（主に恵那山－猿投山北断層帯）について、地震発生長期評価および強震動予測の精度の高度化のための調査を実施する。従前の長期評価において、恵那山－猿投山北断層帯はランク A*、屏風山断層帯はランク A、猿投－高浜断層帯はランク Z などとされるが、活動履歴や断層構造に関するデータは乏しい。また、既存の活断層地図にも活断層の認定に相違があり、活断層相互の連続性は明確ではない。本研究は 1)変動地形調査、2)活動履歴調査、3)地下構造調査を行い、震源断層シナリオ（とくに活動区間）を再検討する。また 4)強震動予測を高度化し、5)予測情報の適切な取扱に関する地域社会と協働した検討を行う。以上により、断層分布が複雑で活動区間の想定が容易でない地域における活断層評価手法・強震動予測手法の提案を目指している。

【令和 3 年度実績】

(1) 震源断層シナリオ評価のための詳細位置形状・変位量調査及び総合解析

ａ．断層トレースの精査：昨年度整備した LiDAR 計測による詳細標高データと、１万分の１の航空写真データベースを用いて変動地形学的調査を実施し、活断層の位置・形状を精査した。これにより詳細な断層トレース図を作成した。当該地域において既に公表されている国土地理院および岐阜県の活断層図を改訂すべき箇所について精査した。

ｂ．累積変位量の計測（精査）：昨年の概査データに加え、上述の断層トレースの見直しに伴い、新たに標高データから地形断面図を作成し、断層変位量計測を行った。

ｃ．地形面の堆積物調査：断層トレース沿いの概査において、自然露頭で地形面の堆積物を観察した。

ｄ．変動地形データベースの整備：活断層評価のための変動地形データのデータベース化を進めるため、サーバー上にデータアーカイブするためのプロトタイプモデルを構築した。

(2) 地震発生予測のための活動履歴調査

ａ．ボーリング調査：次年度に実施するトレンチ掘削位置および調査仕様を決定するため現地踏査を実施。恵那山断層阿木地点の高位段丘面上においてボーリング調査を実施した。採取した試料のローム層部分について次年度に火山灰分析を実施し、段丘面の形成年代を推定することとした。

ｂ．断層破砕帯調査：断層のすべり方向に関する活動履歴情報を取得するため、恵那山断層原地点の断層露頭において、露頭整形、地形計測、条線方向の計測を実施した。また、ドローンを使った地形計測結果から三次元モデルを作成し、それぞれの壁面で観察された断層の位置関係を精査した。条線観察の結果からは、複数の方向を向いた条線が存在することが確認され、最新活動を示す断層面については恵那山断層の南東側隆起を伴う右横ずれ成分が卓越する。次年度にさらに詳細に検討することとした。

(3) 断層の三次元地下形状把握のための調査観測

ａ．浅部反射法探査：昨年度策定した探査仕様に基づき浅部反射法探査を実施した。2021

年 9 月に、恵那山断層と猿投山北断層、猿投山－境川断層における約 5～7 km 長の計３本の測線において探査を実施した。さらに、1999 年に実施された既存の反射法調査のデータの再解析に着手した。

ｂ．過去に発生した地震活動の再解析：恵那山断層の地表トレースがステップしている領域を対象に、Double Difference 法によって微小地震の精密震源再決定を行った。その結果、当該領域の深さ約 11km で発生した地震群は、恵那山断層に平行な面上に分布していること、恵那山断層と猿投山北断層の接合部で発生した地震の面的構造を地表に延長した地点は、地質図上に記載されている断層位置に相当することが判明した。

(4) 断層近傍及び都市域における強震動予測向上のための調査

ａ．地盤モデル検討：地盤モデル高精度化のための地震観測等を断層周辺および都市域の 20 地点で引き続き行うとともに、令和２年度に実施した微動アレイ観測調査結果と、収集した既往地盤情報、および、令和２年度～３年度にかけて観測した地震観測記録等を分析し、浅部・深部統合地盤モデルを修正した。また、重力分布の理論計算により、恵那山―猿投山断層帯の一部では傾斜角３０度の逆断層構造が推定された。

ｂ．震源断層の詳細なモデル化と強震動計算：地震発生層上端深さとしれ以浅の地表変形を含む破壊過程が強震動に及ぼす影響を定量的に評価するため、すべり量、すべり時間関数を変えた複数の震源モデルによる感度解析を実施した。

(5) 不確定性を有する地震予測情報に関する情報発信のあり方に関する調査研究

ａ．長期評価・強震動予測の情報発信方法の検討：情報の利用者側にある日本地震工学会員へのアンケート調査を実施した。さらに愛知県の防災担当者を対象とする聞き取り調査を実施した。また、岐阜県および岐阜県恵那市の関係者らと議論した。それらの結果、地震本部のハザード情報は信頼性が高いものの、難解であり十分な利活用がされていない面が明らかになった。これを踏まえ、ハザード情報の表現を工夫した資料を作成し、従来の情報提供との比較検証を目的として住民向け Web アンケートを実施した。

ｂ．地域住民や行政への情報提供のあり方の検討：地震ハザード情報の受け手側の立場を考慮し、地震ハザードの多様性と不確定性に対する理解促進を図るための基礎資料として「地震ハザードプロファイル」の「市町村版」の改良例を作成した。とくに岐阜県被害想定で採用されている「屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯」の 3 ケースについて、確率論的地震動予測地図で考慮されている「主要活断層帯」、「その他の断層帯」、「震源不特定地震」の多様なケースとの関係を検討した。また震度レベルごとの曝露人口分布に基づいて、想定地震の特徴の分類を行った。さらに清流の国ぎふ防災・減災センターの「げんさい楽座」で「活断層調査を減災・防災に活かすには？」と題する集会を開催し、恵那市の防災担当職員、防災リーダー、防災士を交えて、プロジェクトへの期待や地域における地震防災対策に関する課題などについて意見交換を行った。

４．社会活動

（１）防災アカデミー

平成 16 年度から継続している毎月開催の防災講演会であり、令和 4 年 3 月 17 日には 174 回を数えるまでになった(それ以前は地震防災連続セミナーの名称で10回開催している)。毎回、防災分野をリードする多様な講師がホットな話題を提供しており、今年度は、東日本大震災の教訓、宅地防災、防災の法と政策等に関する内容を、オンラインで 11 回開催した。延べ参加人数は 1,969 名であり、講演の様子はビデオ収録し、講演記録もまとめて災害アーカイブに保管・公開している。

防災アカデミー（オンライン）開催リスト

日付	氏名	所属	タイトル
4 月 13 日	越村 俊一	東北大学災害科学国際研究所教授	東日本大震災の教訓と津波研究の歩み
5 月 12 日	天野 和彦	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授	東日本大震災から１０年　～ふくしまの教訓が訴えかけるもの～
6 月 18 日	室﨑 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長	災害復興の歴史に学ぶ、明日の減災復興への教訓
7 月 6 日	釜井 俊孝	京都大学防災研究所教授	宅地の防災学－未災の地盤－
9 月 6 日	林 秀弥	名古屋大学 アジア共創教育研究機構 教授/減災連携研究センター協力教員	防災の法と政策－地区防災計画制度を中心に－
10 月 25 日	藤井 聡	京都大学大学院工学研究科教授	こうすれば絶対よくなる！日本経済～今求められるMMT、消費税凍結、そして防災～
11 月 24 日	定池 祐季	東北大学災害科学国際研究所助教	北海道胆振東部地震から３年　厚真町の歩みを振り返る
12 月 16 日	蛭間 芳樹	株式会社日本政策投資銀行（DBJ）2050 成長戦略本部 兼　インダストリー本部　兼 産業地域調査本部　調査役	日本社会に適した GREAT RESET（グレート・リセット）　－グローバルリスクへの予防・適応に資する BOSAI（ぼうさい）戦略－
1 月 20 日	高瀬 邦夫	名古屋大学減災研究連携センター研究員／元・名古屋地方気象台長、気象庁予報課長	防災情報を支える気象予測技術
2 月 8 日	利藤 房男	名古屋大学減災研究連携センター寄附研究部門特任教授	熱海の泥流災害から盛土の防災を考える　※ハイブリッド開催
3 月 17 日	新井 伸夫	名古屋大学減災研究連携センター特任教授	『低い音』を用いて自然を知る

第 164 回（4 月 13 日）

第 165 回（5 月 12 日）

第 166 回（6 月 18 日）

第 167 回（7 月 6 日）

第 168 回（9 月 6 日）

第 169 回（10 月 25 日）

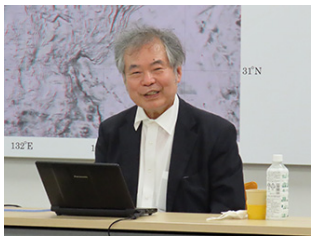
第 170 回（11 月 24 日）

第 171 回（12 月 16 日）

第 172 回（1 月 20 日）

第 173 回（2 月 8 日）

第 174 回（3 月 17 日）



防災アカデミー講演の様子

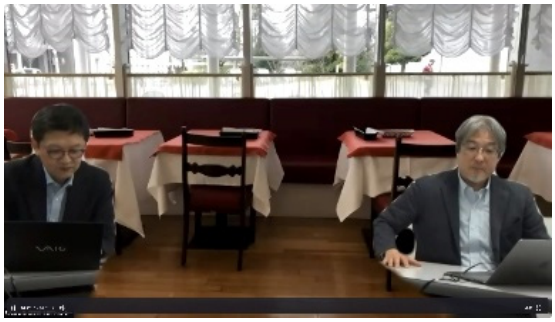
（２）げんさいカフェ

減災の話題を扱うサイエンスカフェで、オンライン及びハイブリッドで 12 回開催された。専門家がファシリテータとのやり取りを通じて分かりやすく参加者に語りかけ、また気軽に質問を受けながら進行することで、一般的な講演会よりも気軽な雰囲気で相互理解が深まる効果がある。ファシリテータは、NHK 時代に科学報道に長く関わられた、サイエンスコミュニケーションの専門家である隈本邦彦氏（江戸川大学教授／減災連携研究センター客員教授）に依頼している。

今年度は名古屋大学減災連携研究センターの専任・兼任・寄附部門教員により、多様な専門の立場から東日本大震災を含めた防災・減災に関するテーマを分かりやすく説明した。延べ参加人数は 2,421 名であった。

げんさいカフェ（オンライン）開催リスト

日付	氏名	専門	タイトル
4 月 7 日	鷺谷 威	地殻変動学者	シリーズ東日本大震災から１０年④「東日本大震災から１０年ー大地震の可能性に気づけなかった意外な要因とは？」
5 月 10 日	宍倉 正展	古地震学者	シリーズ東日本大震災から１０年⑤「古地震・古津波研究から予測する巨大地震」
6 月 9 日	中村　晋一郎	国土デザイン学者	これからの私たちの治水について考えよう
7 月 9 日	平川 一臣	地理学者	災(さい)と Seeing 連携企画　「巨大津波石が教えてくれる南海トラフ地震への備え」
8 月 18 日	武村 雅之	地震学者	関東大震災から９８年 ～復興の歴史からこれからの防災を考える
9 月 10 日	利藤 房男	地震防災学者	豪雨と地震と土砂災害
10 月 13 日	平井 敬	地震学者	災（さい）と Seeing 連携企画　「濃尾地震から１３０年～改めて内陸型地震への備えを考える」
11 月 29 日	山﨑 雅人	経済学者	国土強靭化は「景気」のためか？
12 月 20 日	山岡 耕春	地震学者	世界の火山噴火と「日本沈没」
1 月 17 日	福和 伸夫	地震工学者	阪神淡路大震災から２７年　建物耐震化のパラダイムシフトを！　※ハイブリッド開催
2 月 15 日	荒木 裕子	地域防災学者	大規模な住民避難が必要になったら～伊勢湾台風時の最新研究から
3 月 22 日	真山 仁	小説家	小説家　真山仁さんと語る　「震災から学ぶ～私たちはどう伝え、備えるか」 ※ハイブリッド開催



第 113 回（4 月 7 日）

第 114 回（5 月 10 日）

第 115 回（6 月 9 日）

第 116 回（7 月 9 日）

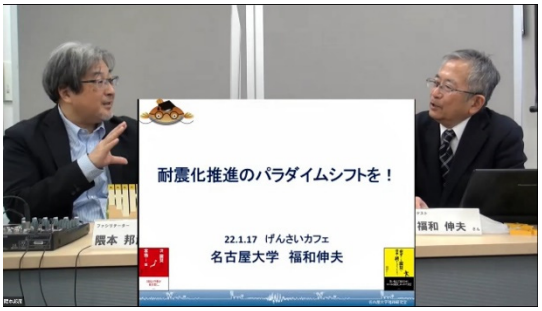
第 117 回（8 月 18 日）

第 118 回（9 月 10 日）

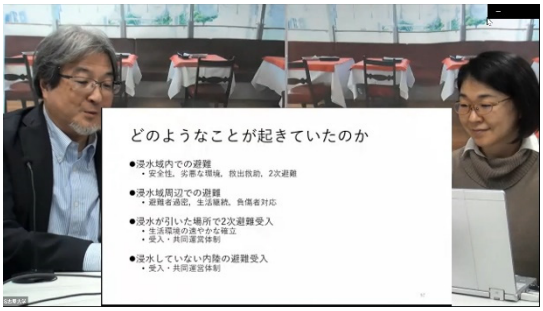
第 119 回（10 月 13 日）

第 120 回（11 月 29 日）

第 121 回（12 月 20 日）



第 122 回（1 月 17 日）



第 123 回（2 月 15 日）

第 124 回（3 月 22 日）

第 116 回（7 月 9 日）

第 121 回（12 月 20 日）

第 123 回（2 月 15 日）

（３）防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」

地域において防災・減災にかかる活動をコアとなって進めている人材の交流と、それによる地域の災害対応力アップをめざした取り組みとして、「防災人材交流シンポジウム『つなぎ舎』」を 2021 年 11 月 14 日（日）に、あいち健康の森公園あいち健康プラザとオンラインを併用して開催した。南海トラフ地震臨時情報が発表された時の対応について、東日本大震災の被災経験を踏まえて意見交換をするパネルディスカッションや、地域で防災・減災活動に取り組む担い手が参加するグループワークを実施した。会場聴講者 120 名、オンライン参加者 50 名、YouTube 視聴者 50 名の計 220 名が参加。

防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」

（4）災と Seeing

令和 2 年度にクラウドファンディング事業として開始した「災（さい）と Seeing」を継続して実施した。これは、減災連携研究センターと（株）CBC テレビ、（株）中日新聞社、（一社）中部地域づくり協会が連携して映像コンテンツを作成するもので、各地に残される自然災害にまつわる石碑や史跡を巡り、過去の災害を実感し、次の災害への備えを促進することを企図したものである。令和 3 年度は、公式ウェブサイトを開設するとともに、12 のテーマについて映像コンテンツを作成した。これらはいずれも CBC テレビの番組「チャント！」内で放映されるとともに、中日新聞紙面にも掲載された。

令和 3 年度に作成した映像コンテンツ

	テーマ	主な取材場所	関連する自然災害
1	清洲越し	清洲城・名古屋城	天正地震 (1586)
2	入鹿切れ	入鹿池・入鹿切れ流石（妙国山興禅寺）	豪雨 (1868)
3	伊賀上野地震	伊賀上野城・法華経塔	伊賀上野地震 (1854)
4	明治29年洪水	大垣市輪中館・大垣市輪中生活館・今福堤防決壊の碑・明治29年大洪水点	豪雨・台風 (1896)
5	濃尾地震	根小谷断層・根小谷地震断層観察館・西光寺	濃尾地震 (1891)
6	安八水害（9.12豪雨災害）	長良川堤防破壊箇所の碑・治水観音尊像	豪雨 (1976)
7	昭和28年台風13号	十三号台風水害記念碑（坂田神社）・西尾市岩瀬文庫・細川樋門付近海岸堤防	高潮 (1953)
8	昭和東南海地震・三河地震	油ヶ淵（油ヶ淵水辺公園）・応仁寺・深溝断層	昭和東南海地震 (1944)・三河地震 (1945)
9	関東大震災と名古屋	関東大震災供養堂・関東大震災横死者追悼之碑・関東大震災惨死者供養塔・関東大震災慰霊碑	関東大震災 (1923)
10	伊勢湾の津波と大湊	灯明台跡・波除堤石垣・志宝屋神社・大湊町津波避難施設（タワー）	明応地震 (1498)・安政東海地震 (1854)・暴風 (1728)
11	昭和東南海地震	殉難学徒之像・追憶之碑・平和祈念碑・「東南海地震被災の地」の碑	昭和東南海地震 (1944)
12	東海豪雨	東海豪雨水害之碑	東海豪雨 (2000)

災と Seeing 公式ウェブサイト（https://www.saitoseeing2020.jp/）

（５）その他人材育成活動

【防災・減災カレッジ】

地域の産学官民が連携・協働して防災人材を育成する取り組みとして、「防災・減災カレッジ」をあいち防災協働社会推進協議会と協力のうえ開催した。これは地域の防災人材育成の底上げをねらうとともに、「正しい」知識の習得を目的としている。オンラインでの開催では、企業防災、防災行政、地域防災、防災ボランティアコーディネーターの各コース及び啓発指導講座、メディア講座の選択講座を実施した（受講者延べ 1,253 名）。

【学生を対象とした講義】

名古屋大学環境学研究科の大学院生向け講義「総合防災論 2（減災編）」を 15 回実施した。地震を始めとする自然災害に対して安全・安心な都市を作るための具体的な減災の取組みを、減災連携研究センター教員および外部講師を招聘して行った。

【中部圏防災推進ネットワークの設立・運営協力】

内閣府、経済産業省中部経済産業局、日本損害保険協会、名古屋都市センターとともに業界団体間の共助の促進、および産業界と行政の連携を目指し 2020 年 7 月に設立した。月に 1 度のペースでそれぞれの業界の実態を理解し合う勉強会を開催し、顔の見える関係構築に努めるべく、事務局の一翼を担っている。

【防災ワークショップ 2022 中部を主催】

南海トラフ地震対策中部圏戦略会議と共に「防災ワークショップ 2022 中部」を主催（2022 年 2 月 25 日に開催）。愛知県体育館を会場とし、南海トラフ地震臨時情報発表時の事態想定を学び、その際にとるべき行動や事前準備について考えることを目的としたワークショップを実施。学習パートでは南海トラフ地震とその被害想定について、巨大地図によるプロジェクションマッピングを用いて解説。その後、臨時情報発表時を想定した演習パートで実演を行い、参加機関の対応を確認する討論パートを実施した。当日会場参加者約 70 名、YouTube によるライブ配信も実施し、最大同時接続数 461 であった。

【防災ワンストップ相談窓口の解説・対応】

防災ワンストップ相談窓口：相談実績 13 件、講師紹介依頼 11 件、その他：2 件（耐震他）／専門家による BCP 個別相談窓口：相談実績 3 件、BCP を支える施設強靭化個別相談窓口実績 3 件であった。

【減災連携研究センターの受託研究員】

自治体や民間企業からの 44 名の受託研究員とともに，防災や減災に関する研究・活動を進めた。オンラインを利用し，研究・活動計画発表会（7 月 2 日），研究・活動成果発表会（1 月 7 日）を実施した。

受託研究員の内訳

自治体	市・町・村	19 名	岡崎市, みよし市, 稲沢市, 安城市, 幸田町, 半田市, 知立市, 名古屋市上下水道, 碧南市, 津島市, 豊川市, 豊田市, 豊橋市, 四日市市, 東海市, 高浜市, 飛島村, 愛西市, 蒲郡市
	愛知県	1 名	愛知県企業庁
民間	建築系	5 名	日建設計, 一条工務店, 竹中工務店, KYB, 清水建設
	土木コンサル系	3 名	応用地質, メタウォーター, 玉野総合
	地図・測量	3 名	ゼンリン, 中日本航空, ファルコン
	医薬	3 名	スギ薬局, 日本赤十字, 名古屋第二赤十字病院
	石油	2 名	出光興産, ヒラオカ石油
	損保	1 名	損保ジャパン, 東京海上日動
	その他	7 名	コンポン研, 応用 RMS, 中電シーティーアイ, コープあいち, CBC テレビ, 中日本高速, アシストコム
合計		44 名	

研究・活動成果発表会での発表内容

	発表者（本務先）	発表タイトル
1	幸節 静奈（知立市）	知立市受援計画の策定と組織間の連携について
2	石田 洋信（安城市）	ＳＮＳ等を通じた災害時の情報収集について
3	福岡 哲也（高浜市）	災害対応初動マニュアルについて ～地域防災計画の隙間を埋める工夫～
4	角谷 智久（碧南市）	避難所開設の実効性を高めるために～ＦＭＢの推進～
5	梅村 健二（幸田町）	幸田町での取組み紹介
6	山口 慎太郎（みよし市）	防災における地域と中学生との連携事業
7	寺田 華（株式会社中電シーティーアイ）	おすすめ防災調査結果＋α
8	牧野 真補（愛知県企業庁）	愛知県企業庁における事業強靭化に向けた取組について
9	西尾 吏啓（津島市）	今年度の活動について
10	三浦 大輝（飛島村）	飛島村個別避難計画について
11	小沢 哲（生活協同組合コープあいち）	2021 年度防災訓練の取り組みと今後の課題について
12	加藤 直也（応用地質株式会社）	令和 2 年 7 月豪雨の浸水により曝露した資本ストックの試算
13	兼松 幸代（有限会社アシストコム）	幼児期を対象に，防災教育について自然と印象付けられるような遊びと手法の検討
14	坂上 寛之（株式会社ファルコン）	身近な機器で取得できる GPS の精度について
15	髙橋 優希（名古屋市上下水道局）	応急復旧優先路線図を用いた復旧計画の整理
16	長谷川 琢也（株式会社 CBC テレビ）	報道番組の力で減災は可能か
17	長谷川 智則（玉野総合コンサルタント株式会社）	地理情報の少ない地域での地理学からみた防災啓発資料作成の取り組み
18	塚本 笑子（東京海上日動火災保険株式会社）	防災・減災に対する意識向上に向けた取り組み
19	小笠原 和馬（株式会社スギ薬局）	スギ薬局の災害対策の取り組みについて
20	近藤 佑介（日本赤十字社愛知県支部）	赤十字の災害救護活動における，乳幼児とその子育てを行っている世帯への支援
21	白井 孝樹（株式会社ゼンリン）	地図情報を活用した防災・減災の取り組みについて
22	芹川 武志（中日本高速道路株式会社）	通常地震時のオペレーション及び南海トラフ地震への検討状況
23	藤本 幸士（名古屋第二赤十字病院）	災害時の医療継続のためのインフラ調査と課題 −電気・ガス・水道じゃない医療の世界−
24	阿部 隼人（出光興産株式会社）	製油所 BCP の実効性向上活動
25	飯阪 真也（ヒラオカ石油株式会社）	石油取り扱い設備における BCP の向上取り組み
26	佐藤 友亮（愛西市）	コロナ禍における防災訓練について
27	中川 貴王（半田市）	誰でも理解しやすい避難所開設マニュアルの検討
28	天野 秀俊（蒲郡市）	蒲郡市における事前避難対象地域の検討について
29	穴井 英之（岡崎市）	車中泊避難に関する考察
30	飯田 一孝（稲沢市）	地域減災まちづくり協働事業について
31	大滝 正和（豊田市）	逃げ遅れゼロを目指したマイ・タイムラインの取組み
32	宮本 和宏（東海市）	災害時におけるトイレ問題
33	岡田 恵実（豊橋市）	豊橋市役所における横のつながりを考える研修
34	平松 佳采（豊川市）	防災センターの効果的な活用事例
35	橋本 直也（四日市市）	南海トラフ地震臨時情報発表時における自治体の対応方針と課題について
36	木澤 恵一（中日本航空株式会社）	航空レーザ測量における Open3D の活用
37	鶴ヶ野 翔平（株式会社竹中工務店）	1 年間の活動報告とその成果
38	中村 悠太（KYB 株式会社）	免震オイルダンパの詳細モデル検討
39	朝日 智生（株式会社日建設計）	構造設計者が成すべき減災

40	渡辺 明美（清水建設株式会社）	防災診断の提案は改修につながったのか？
41	清水 智（応用アール・エム･エス株式会社）	東日本台風の浸水による資本ストック被害の推計
42	浅井 彰規（メタウォーター株式会社）	水道事業における事業継続力評価 ～官民連携の効果検証～
43	近藤 斎（株式会社コンポン研究所）	製造業の減災・早期復旧研究 ～本音の会の活動を振り返って～
44	高橋 武宏（株式会社一条工務店）	総合免災害住宅の社会実装

【各種の研究会の活動】

1	自治体研究会 （平山准教授）	減災館での対面，オンライン，またはそれらの併用により 11 回の研究集会を実施した。南海トラフ地震臨時情報や COVID-19 対応などについて議論し，自治体間で情報共有を行った。また，研究会内に 3 つのグループを設置し，それぞれ防災啓発ゲームの開発，災害時の備えを幼児に分かりやすく伝える方法の検討，ハザードマップの現状と課題についての調査および啓発動画の作成を行った。
2	減災情報利活用研究会 （倉田特任准教授）	Web 会議ツールやオンライン共有ツールを活用しながら年間 5 回の研究会を実施した。技術的なテーマとしては、自治体などでの DX 推進といったトレンドを踏まえ、オープンデータ利活用の実態調査や、基盤図を作成するための調査業務に関する事例紹介などを行った。また、自治体研究会と合同で GIS 研修を実施し、オープンソースのデスクトップ GIS ソフトウェアを用いて基礎的な操作の実習を行った。
3	古文書勉強会 （平井助教）	オンラインにて 24 回の勉強会を実施し，1854 年安政東海・南海地震に関する記録「大沢家本願寺関係文書」を解読した。全 6 分冊のうち，令和 3 年度は第 1 分冊の翻刻と史料目録の作成を終えた。また，資料「防災専門図書館所蔵　災害かわら版翻刻集 1　安政東海・南海地震編」を印刷するとともに，一般向けの解説書「すごろくで学ぶ安政の大地震」（風媒社）を出版した。
4	GM 減災まちづくり研究会 （石原研究員）	研究会を 2 回実施した。モデル地区の活動を地域主体にシフトする中で、地区間交流の推進がプラスになると考え、5 つの地区防災カルテモデル地区にコロナ禍でも可能なスマホアプリを活用した交流の参加を呼びかた。全ての地区及び研究会メンバーの参加で利用を始めたが書き込みが進まず、12 月に集まり交流会を開催した。
5	ESPER （蛭川特任助教・都築特任准教授）	例年では全員参加型のセミナーと並行して，より詳細な内容を勉強する場として分科会を設置して取り組んでいたが，2021 年度も新型コロナの影響で分科会を進めることが難しい状況であったため，全てを「全員参加型セミナー」とし，全国から講師の方をお招きしたオンラインセミナーを開催した。12 回開催し，延べ 217 名が参加した。
6	啓発コミュニケーション研究会 （北川特任助教）	2021 年度は「物語（narrative）型」啓発コミュニケーションに着目，その有効性について検証した。調査では，同じ災害の体験談でありながら語り口が対照的（楽観的・悲観的）な 2 つの物語をそれぞれ被験者に提示，統制群（物語の提示なし）を含めた 3 つのグループにおける防災意識の変化について検証した。結果，物語を読了した 2 グループでは，その前後で発災時行動の準備計画度の自己評価が統計的有意に向上し，物語による防災啓発効果が確認できた。今後はサンプルサイズを増やしたさらなる検証で，物語の種類による啓発効果の違いについても検証したい。
7	パパママ防災研究会 （蛭川特任助教）	保育園や子どもを介して，楽しく防災について考えられるような啓発ツールの開発や子育て世代向けの防災啓発について検討している。2021 年度は「げんさいかん体操」を制作し，メディアを通じて発信した。また，カルタやカードゲームなどの防災教材の開発を進めている。

【減災連携研究センター地域減災研究ワークショップ】

地域減災研究ワークショップは，減災連携研究センターに関わる研究者，実務者，学生が，産官学民連携により，南海トラフ地震など災害による地域の被害を軽減していくための理学，工学，人文・社会学，医学を基礎とする「地域減災研究」における研究成果の発表を通して，情報交換し議論することにより，地域減災研究の体系化に資すること目的に開催している。2021 年度は，2021 年 8 月 30 日に，減災ホールおよびオンライン発表でのハイブリッド形式で開催され，事業継続・地域防災力，活断層・地震断層，水災害軽減と耐震建築，災害環境マネジメントと防災教育手法に関する 4 つのセッションにおいて 13 編の研究発表がなされた。名古屋大学修士課程学生や若手研究員による発表がなされるとともに，40 名以上の参加者に

より，Zoom のチャットも活用されつつ，地域減災に求められる実践的研究に関連する活発な質疑がなされた。

【古文書勉強会（大沢家文書研究会）】

減災連携研究センター古文書勉強会は，歴史上の災害記録を収集調査するために必要となる古文書解読の技能を身につけるための勉強会である。平成 25 年 7 月の発足以来，古文書解読の人材育成と並行して，折に触れて新出史料の解読と調査も行ってきた。令和 2 年度からは 1854 年安政東海・南海地震に関するまとまった量の新出史料「大沢家本願寺関係文書」の解読と調査を始め，会の別称として「大沢家文書研究会」を設定した。講師としてお招きしている大学院人文学研究科・石川寛准教授ほか，35 名の構成員で活動を行っている。参加者の所属は減災連携研究センターのみにとどまらず，大学院人文学研究科，大学院生命農学研究科，地震火山研究センター，さらに学外の名古屋市図書館や鉄道総合技術研究所等，多岐にわたっている。令和 3 年度は，以下の活動を行った。

かわら版翻刻集

すごろくで学ぶ安政の大地震

- オンラインにて 24 回の勉強会を実施
- 夏休みスペシャル減災教室への教材の出展
- 歴史地震研究会の年次大会（9 月 2 日，オンライン開催）での研究発表
- 書籍「すごろくで学ぶ安政の大地震」（風媒社, 132 ページ）の出版
- 資料「防災専門図書館所蔵災害かわら版翻刻集 1　安政東海・南海地震編」の印刷

【若手技術者セミナーESPER】

若手技術者を対象に、中部地方の安全・安心を技術面で支える防災リーダーの育成を目的として、平成 24 年度から実施されている。例年では全員参加型のセミナーと並行して、より詳細な内容を勉強する場として分科会を設置し、取り組んでいたが、今年度は新型コロナの影響で分科会を進めることが難しい状況であったため、全てを「全員参加型セミナー」とし、全国から講師の方をお招きし、オンラインセミナーを開催した。

ESPER 開催実績

日付	講師	内容
4/23	―	今年度に実施したい分科会について
5/28	西川智 （減災連携研究センター）	自治体ＢＣＰについて
7/1	長谷川高士 （チーム・トイレの自由）	災害時のトイレについて
7/30	高橋真里 （香川大学）	H30 年度西日本豪雨における愛媛県西予市の 災害ボランティアセンター運営について
8/27	武村雅之 （減災連携研究センター）	関東大震災が東京郊外に多くの寺町をつくった!? ーお寺大移動の真相究明
9/24	飛田潤 （減災連携研究センター）	地震災害に学んだ大学の防災力向上
10/22	北脇慎也 （中部電力パワーグリッド）	西部幹線の雪害故障について
12/2	―	中部電力安倍川水力建設現場視察
12/23	―	災害食を作って食べよう
1/21	上園智美（日本ミクニヤ）	酒蔵の防災
2/18	都築充雄 （減災連携研究センター）	災害を受け入れる ～幸田露伴と口永良部島とディアナ号～
3/10	―	2021 年度分科会報告

ESPER オンラインセミナー

現地見学会

（１）飛田 潤

研究連携部門　教授

1989 年東北大学大学院工学研究科博士課程後期課程修了。東北大学工学部助手、名古屋大学工学部助教授、同大学院環境学研究科准教授、同災害対策室教授・室長を経て 2021 年 4 月より現職。専門は建築構造学、地震工学。工学博士、構造設計一級建築士。

【自己紹介】

大学院では建築物・地盤の地震観測や振動計測を扱い、その関係で、キャンパスでの環境振動対策の役割で 1996 年に名古屋大学に着任し、都市高速道路トンネルや地下鉄工事の振動対策を行いました。その後は災害対策室に所属し、2011 年からは室長として名古屋大学の防災体制構築および周辺国立大学との連携推進に取り組みました。このような実務的な活動をベースとして、建築構造分野の研究・教育を継続しています。2021 年度から本センター所属となり、運営活動を中心としながらも、観測・実験に基づく地震工学分野の研究･教育に取り組み､社会の安全性向上に貢献できるよう活動しています。

【令和 3 年度活動実績】

（１）実構造物の地震観測・振動計測に基づく動的挙動解明

建築構造物･地盤等における高密度の計測体制を検討し､地震観測などの実測と分析を通じて、多様な構造物の動的特性の解明を行う研究に継続的に取り組んでいる。またそのための機材やシステムの検討も含めて、災害時の挙動把握や被災度モニタリングにむけて、設計者や建物ユーザーとの連携も含めた観測体制と情報利用の在り方の検討を進めている。

（２）免震構造物と免震装置の実験・実測研究

上記の実測研究の一環として、減災館を含む複数の免震建物での地震観測、振動実験、常時微動観測を実施し、記録を蓄積している。この結果として、建物や環境条件等の影響、長期稼働時の変化、免震装置の挙動を明確にするモニタリング手法などの成果を得ている。関連して、建物に設置されていた免震装置（オイルダンパー）の単体での性能試験を企業の協力を得て実施し、詳細な性能評価手法の検討と特性把握を行った。以上から、免震建物の設計とメンテナンスに資する成果を得ている。これらは令和 4 年度採択の科研費研究につながっている。

（３）多様なセンサの性能検証と小型地震計による地域高密度地震モニタリング

地震時の地域状況モニタリングや多数の構造物の被災度把握などに向けて､低コストのセンサや地震計の性能把握を行った。また地域の震度観測網を補完する高密度観測体制を計画し、機材を準備・開発したうえで、ライフライン企業や自治体と連携して一部を試行した。複数の地震観測記録から予想以上に多様な地震動分布の可能性を明らかにしている。このほか車載センサの活用に向けた実験・実測検討なども実施した。

（４）地震災害時のエレベータ停止と閉じ込めの分析

地震災害時のエレベータの停止と閉じ込めについて、これまでの被害発生状況の文献調査、建物・エレベータロープ・エレベータかごのモデル構築と応答解析などを通じて、建物や地震動、エレベータの状態などによる被害発生予測につながる結果を得た。都市域での多数の建物の同時被災において、安全性と機能性の確保の検討に資する成果と言える。

（２）鷺谷　威

研究連携部門　教授

1990 年東京大学大学院理学系研究科地球物理学専攻博士課程中退。国土地理院を経て 2003 年 4 月名古屋大学大学院環境学研究科助教授。2008 年 1 月同教授を経て 2012 年 1 月より現職。専門は地殻変動学。博士（理学）。

【自己紹介】

大地震はプレート運動で蓄積された地殻のひずみによって起きるもので、発生までには長い準備期間があります。私はこれまで、測地学的手法を用いて地殻変動を解明することを通して大地震の準備過程を研究してきました。こうした研究をベースに長期および短期の地震発生予測がどこまで可能かを追求しています。人間社会は地球という自然の上に成り立っています。自然科学の知見を広めて人間社会と自然の間の橋渡しすることで、減災に貢献できればと考えています。

【令和３年度活動実績】

（１）島弧地殻の変形メカニズムに関する研究

科学研究費補助金基盤研究（Ｂ）「東日本の島弧地殻における非弾性変形マッピング」により、日本列島内部における非弾性変形の分布を解明することを目指した研究を行っている。地殻は基本的に弾性的に振る舞うと考えられるが、我々は 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震前、地震時および地震後における地殻変動を比較することで、島弧地殻において非弾性変形が生じ長期的に累積していることが明らかになっており、こうした非弾性変形の分布の検討をより広い地域について行い、島弧地殻の変形に対する理解を深めることを目指している。

令和３年度は、前年度から継続して、GNSS データから非弾性変形を抽出するための複数の手法開発を進め、弾性変形による寄与を境界条件から内挿して分離することにより非弾性変形成分を抽出する手法を新たに開発し、試験的な解析を実施した。また、新潟県長岡平野周辺の稠密 GNSS 観測から、長岡平野西縁断層の浅部が非弾性的なクリープ運動していることを示すデータを得て解析を進めた。

（２）コロンビアの地殻変動研究

日本学術振興会二国間共同研究「コロンビア・カリブ海沿岸地域の地震・津波ポテンシャル評価」を実施中だが、予定していた現地調査はコロナウイルス感染拡大のため実現しなかったが、航空写真等に基づき候補地の選定を行った。また、地震サイクルとマントルの粘性を考慮した GPS 観測データのモデル化を試み、従来のモデルでは説明できなかった上下成分も含めて再現することに成功した。

（３）不確実性を有する地震予測情報に関する情報発信のあり方に関する調査研究

文部科学省受託研究「屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯における重点的な調査観測」（R2～R4 年度）の一環として、大きな不確実性を有する将来の地震ハザードに関する予測情報を発信・利用する上での問題点を多面的に検討することを目的とした研究調査を実施している。令和３年度は、活断層の長期評価の方法や情報発信に関して日本地震工学会を対象とした専門家向けアンケート、情報発信の改良例を用いた住民向けアンケート、自治体防災担当者への聞き取りを実施し、地震ハザード情報の発信方法のあり方について検討した。

（３）鈴木康弘

研究連携部門　教授
東京大学大学院理学系研究科地理学専攻博士課程修了。1991 年名古屋大学助手。1993 年から愛知県立大学。2004 年 3 月から名古屋大学環境学研究科教授・災害対策室長。2012 年から現職。総長補佐を歴任。日本学術会議連携会員、地震調査研究推進本部専門委員。専門は、地理学、変動地形学。博士（理学）。

【自己紹介】

自然地理学および変動地形学の立場から、活断層をはじめとする自然災害ハザードを、不確実性も含めてできるだけ正しく評価することを目指しています。東日本大震災や熊本地震等が起きる度、災害予測の不十分さと、それにうまく対応できない防災対策の問題が浮き彫りになります。対策上の「不都合な真実」から目を遠ざける社会構造にも問題があり、克服する鍵を握る学校教育カリキュラムや教員養成の課題に取り組んでいます。またモンゴルにおける活断層調査と防災協働事業にも携わり、国際協働のあり方も検討しています。

【令和 3 年度活動実績】

（１）活断層の長期評価・強震動評価・防災教育に関する総合的研究

①科学技術基礎調査等委託事業「屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）における重点的な調査観測」の２年目を実施。②科研費（基盤 A：一般）「熊本地震から学ぶ活断層ハザードと防災教育」の成果を放送大学の番組「熊本地震６年目の真実と教訓」に取り纏め、書籍刊行も準備した。③「災害軽減に貢献するため地震・火山噴観測研究計画（第 2 次：2019 年度から 5 ヶ年）」に対して全国の大学および防災科学技術研究所の研究者と話し合い、「変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討」と「地表地震断層の特性を重視した断層近傍の強震動ハザード評価」の２つのテーマを推進。④自治体有志による活断層自治体連携会議の世話人として連携の輪を広げる。

（２）レジリエンス共同研究センターを活用したモンゴルとの国際協働

モンゴル国立大学・名古屋大学レジリエンス共同研究センターをベースに、①令和 3 年度から科研費基盤研究(A)「ウランバートルの総合的地震危険度評価とモンゴルの広域活断層図作成」を開始した。また JSPS 二国間共同研究も令和 2 年度からモンゴル非常事態庁およびモンゴル科学アカデミーと実施。②放送大学・モンゴル国立大学・非常事態庁と共同で、モンゴル西部ホブド県において JICA 草の根支援技術協力事業を実施。自治体や市民主導の地域防災モデルを日本の地域防災の経験を活かして創出するため、県内の災害状況調査、防災教育コンテンツを作成。とくにモンゴルの子供たちと一緒に防災カルタを作成し、モンゴルの全国放送や朝日新聞で採りあげられるなど高評価を得た。③アジアサテライトキャンパス事業（ASC）において、モンゴル非常事態庁幹部を博士課程に受け入れ、指導中。

（３）日本学術会議や学協会における地球人間圏科学・防災地理教育の振興、国際発信

①国際地理学連合（IGU）日本委員会委員長として日本の地理学に関する国際発信を行い、国際連携により地球環境問題や国際紛争問題にも意見表明等を行った。②日本地球惑星科学連合の地球人間圏セクションプレジデントとして、研究振興とコミュニティーの活性化に注力した。③2022 年度から高等学校の「地理総合」が「持続可能な社会づくりに貢献するための科目」として必修化されるにあたり、防災教育の課題について多くの論文等をまとめ、シンポジウムをオーガナイズした。

（４）西川智

強靭化共創部門　教授

東京大学工学系大学院都市工学専攻修士課程修了後、国土庁、国連人道問題局、東京都庁、アジア防災センター、内閣府防災、国土交通省、水資源機構等を経て 2018 年 4 月より現職。専門は、防災行政、企業防災と BCP、国際防災協力。博士（工学）。

【自己紹介】

様々な立場で防災の実務に関わってきました。1989 年から国土庁防災局に勤務、1991 年防災白書では、政府として初めて企業防災と業務継続への取組の必要性を提言。雲仙普賢岳大火砕流への対応にも苦労しました。1992 年から国連人道問題局で災害緊急援助の国際調整に携わり、阪神・淡路大震災も担当。全く役に立たなかった災害救助犬など国際緊急援助のミスマッチについて国連報告書を公表。2001 年からアジア防災センターで各国防災部局間の国際協力を推進。2004 年から内閣府防災で災害予防・広報・国際防災協力の参事官として「災害被害を軽減する国民運動」を各方面に呼びかけ、新潟県中越地震での政府現地対応、インド洋津波への日本の協力を取り纏め、第 2 回国連防災世界会議のホスト役と成果文書交渉、インドネシアとの防災協力等を進め、中央防災会議の BCP ガイドラインを作成、日本政策投資銀行の防災格付(BCM 格付)融資制度を創設。佐呂間町の竜巻を受け政府の竜巻災害対策を取り纏め、個人の災害経験談を抽出する「一日前プロジェクト」も開始しました。この他、地域安全学会や事業継続推進機構 BCAO の理事、第 3 回国連防災世界会議の国連諮問委員、JICA 防災プログラムへのアドバイスなどもやってきております。いかにして事前の対策で人的・経済的被害を減らすことが出来るか、防災への事前投資を促せるか、に焦点を当てて取り組んで参りたいと思います。

【令和 3 年度活動実績】

（１）中小・零細企業の被害軽減のためのリアルタイム災害情報の有効活用手法の研究

防災科学技術研究所の社会的期待発見研究の新たな研究公募を獲得し、愛知県内各青年会議所や愛知県中小企業家同友会とのつながりをもとに、現在一部の大企業で活用が試行されているリアルタイム地震被害推定情報を中小･零細企業が被害軽減のために有効活用するために必要な事項を調査した。

（２）企業防災 BCP の普及と病院に着目した地域ぐるみ BCP の提案

愛知県内の青年会議所や中小企業家同友会での BCP についての対話、名古屋地域 BCP 勉強会の世話役などを通じて、地域での事業継続の取組みの促進を図った。JST の新しい日米 SICORP 防災研究協力の公募を獲得し、広域災害時の病院の機能維持に着目した地域ぐるみのレジリエンス評価手法の研究に着手した。

ブルガリアでの報道

（３）国際防災協力の実践

日本の在外公館の求めに応じ、ネパールやカリフォルニア州等に対してオンライン講演を行ったほか、日本・ブルガリア両政府共催の西バルカン諸国を対象とする国際防災セミナーの基調講演を行い非 ODA 対象国へのさらなる協力の形を開発した。国際学術会議 ISC が国連での Major Group として行う今後の防災研究と実践のあり方に関する検討会の座長に就任し、2022 年 5 月に国連とインドネシア政府の共催で開催される GP2022 会議で ISC が発表する提言書のとりまとめを行った。

（４）防災意識啓発・知識普及の推進

個人の災害体験談を基にした「一日前プロジェクト」の様々な活用と普及に努めた。

（５）長江拓也

研究連携部門　准教授

2002 年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。東京工業大学、スタンフォード大学、京都大学防災研究所にて博士研究員。2006 年より防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターにおいてＥ－ディフェンスを用いた調査開発研究に従事。2014 年より現職。専門は建築耐震構造。博士（工学）。
国立研究開発法人防災科学技術研究所客員研究員。

【自己紹介】

大学院生、研究員として所属した大学において、鉄筋コンクリート造建物、鋼構造建物、基礎構造に関する実験、数値解析に取り組みました。防災科学技術研究所では、Ｅ－ディフェンス（実大三次元震動破壊実験施設）に基づく超高層建物の調査開発研究、高耐震コンクリート系建物の調査開発研究に従事しました。施工性・経済性に優れた高耐震建築の開発と設計法の構築、および超高層建物に対する耐震性評価と補強対策を主要なテーマとし、分野間・社会・国際連携を大切にしつつ、社会に役立つ耐震工学研究に取り組んで参ります。

【令和 2 年度活動実績】

（１）基礎構造に着目する高耐震構法の提案と実験実施

一般建物群への展開を見据え経済性を重視した高耐震構法として、大地震時において地震入力エネルギーを一定量遮断する基礎を掲げ、長年開発研究に取り組んできた。これをテーマとする 10 層鉄筋コンクリート造骨組実験（2015 年度、2018 年度）、3 層木造住宅実験（2018 年度）の分析を推し進めるとともに、2021 年度 10 月に台湾 South NCREE Lab にて基礎滑り実験を実施した。

（２）南海トラフ地震時における超高層建物の崩壊余裕度

南海トラフ地震時において長周期地震動を受ける超高層鋼構造建物は、設計時に検討されたレベル 2 の制限値を超える骨組塑性変形を多数回繰り返し受ける。他大学と協働し接合部破壊実験を実施し、実験データに基づく数値解析評価に取り組んだ。

（３）鉄筋コンクリート造建物の崩壊限界

鉄筋コンクリート造建物の数値解析技術向上に米国、中国、トルコ、NZ 等 10 ヶ国と継続的に取り組んでいる。中国清華大学と世界最大容量の 1 万トン試験機でコア壁実験を計画した。

（４）一戸建て木造住宅のレジリエンス能力と崩壊限界

文科省首都圏レジリエンス PJ から住宅密集地域検証を継続的に推し進めている。免震構造、地盤上直接基礎構造、上部強度、終局破壊条件の観点から木造住宅実験の分析に取り組み、再現解析精度を検証した。地震ハザードから崩壊限界までを一貫した統計処理により積分する確率論的耐震性評価手法を提案し、条件の異なる木造住宅を対象に検証を継続している。

（５）二次部材性能・コスト評価およびセンシング技術を通した有機的広範連携

日本建築学会 WG（二次部材性能・コスト評価）を主査として主導した。建物全体評価の外壁センサリング・照明表示技術開発（特許）に取り組んだ。設備機器実験を台湾 South NCREE Lab で実施し、編集委員の日本建築センターの新ガイドラインとも連携した。FEMA P58 のコスト評価を骨子とする、スイス工科大等 7 ヶ国と研究共同体を構築し国際ワークショップを継続運営している。SATREP ではペルーリマ市へのエクスパートシステム（センシングに基づく避難誘導技術）実装に係り，Group 4 責任者として技術普及啓発の手法，システム作成に取り組んでいる。

（６）平山修久

社会連携部門　准教授

2004 年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）取得。人と防災未来センター主任研究員、京都大学大学院特定准教授、国立環境研究所主任研究員を経て、2016 年名古屋大学減災連携研究センターに着任。専門は、衛生工学、環境工学、災害環境工学。

【自己紹介】

災害と環境の視点から、災害時の人命・健康・環境に対する影響を低減するための社会システムをデザイン・管理するための技法に関する体系に取り組み、災害と環境に関する減災のための「知」を探究します。「持続可能な社会」が、災害時においても「安全・安心な社会」であるという仮説のもと、産官学民や地域との階層的連携による実践的な災害環境や防災・減災学の研究教育を行い、名古屋をはじめ、東海地域や中部圏の減災連携の確立に貢献します。

【令和 3 年度活動実績】

（１）水道システムにおける災害レジリエンス評価手法の検討

名古屋大学で開発した離散的水道管路被害予測モデルを用いて，震度分布から地震時の水道管路被害を推定し，減災館床面地図を用いた応急復旧戦略ワークショップを実施した。災害拠点病院，指定避難所等の応急復旧戦略策定に求められる情報を把握するとともに，復旧における優先事項を抽出し，復旧過程での建物被害，電力復旧を考慮した経済活動復旧モデルを構築した。

（２）災害拠点病院における応急給水確保に関する検討

給水拠点，給水所，道路情報を GIS 上の地域メッシュデータとして，セルオートマトン法による災害時の給水車シミュレーションモデルを用いて，南海トラフ地震時の災害拠点病院への応急給水解析を実施し，南海トラフ地震臨時情報発表時の社会様相把握に関する検討を進めた。

（３）人口減少社会における地域の消防力確保に関する検討

将来の人口減少社会における地域の消防力確保のあり方について探索する。水道分野と消防分野において産官学での分野横断的に，将来の地域の消防力について議論，検討するための「場」を，総務省消防庁，消防研究センター，厚生労働省等と協働して「Fire Water Project」研究会を主宰した。

（４）事前防災投資からみた災害廃棄物 3R の推進に関する検討

国勢調査や住宅・土地統計調査を用いて，地域メッシュ別に災害廃棄物量を算出するモデル（特許第 6894622 号）を構築している。このモデルを用いて，巨大災害時の 2005 年から 2018 年における災害廃棄物量の経時的変化を明らかにした。その結果，住家の建て替えにより災害廃棄物量が低減している一方，浸水地域の人口増により津波や浸水に伴う災害廃棄物量が低減していないことを示した。

（５）災害廃棄物処理の高効率化に関する検討

セルオートマトン法による災害廃棄物収集運搬モデルを用いて，被災地から仮置場，処理までの災害廃棄物フローに関する数値解析を実施した。災害廃棄物の専用運搬道路整備や隊列走行などの自動運転技術の実装による復旧・復興期における被災地域の復旧の質，QoR（Quality of Reconstruction）を提案した。

（６）防災 DX を活用した災害エスノグラフィによる人材育成コンテンツの開発

名古屋市上下水道局，仙台市水道局と連携し、オフライン/オンラインのハイブリッド型での災害エスノグラフィに基づく人材育成手法の開発を行った。名古屋市上下水道局，愛知県企業庁と連携し，ウェラブルカメラ等を活用した技術継承手法や遠隔型施設見学システム開発を行った。

（７）新井伸夫

強靭化共創部門　特任教授

神戸大学大学院理学研究科地球科学専攻修士課程修了後、建設会社の技術研究所、シンクタンク、気象情報提供会社を経て 2014 年 4 月より現職。専門は、地震防災、地域防災、自然災害科学。博士（環境学）。

【自己紹介】

地震という現象に興味を持ったことを発端に研究活動をスタートし、地震災害をキーワードに、いろいろな組織で様々な仕事をしてきました。現象の解明にとどまらず、被害軽減策の検討から対策の推進を支える社会制度の設計まで、減災に関わることであれば、すべてに興味を持って研究の対象にしてきたつもりです。また、啓発活動にも力を入れてきました。最近は、地震や津波などの地学現象が励起する長周期の音（微小な気圧変動）の研究にも取り組んでいます。これからも様々な視点から減災に関わる研究に取り組んでいきたいと思っており、そのためにも、研究分野間の連携、地域との連携、社会との連携を意識して活動したいと考えています。さらに、このセンターに籍を置かせていただくからには、研究で得られた成果を社会へ還元するということについても、意識的に取り組んでいきたいと考えています。

【令和３年度活動実績】

（１）道路啓開を疑似体験するゲームのオンライン化ツールの開発

道路啓開をテーマにした啓発用のボードゲームについて、コロナ禍でも実施可能とするよう、また、地域の様々な活動拠点などを格納している GIS データベースと連動し、リアルな道路啓開訓練をも可能とすることを目指し、仮想空間にてボードを共有しゲームを実施できるようなツールの開発をスタートした。

（２）連携の促進を目指した研修プログラムの開発

昨年度開発した、組織内・組織間連携を促進することを目指した研修プログラムについて、基礎自治体のいくつかで試行的に実施し、プログラムのブラッシュアップを図った。

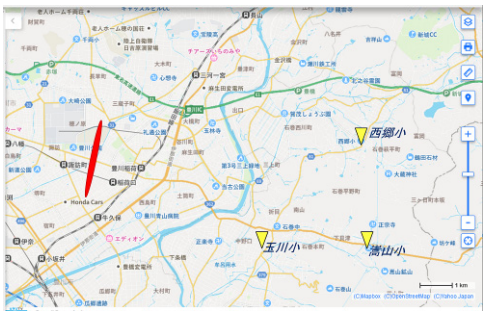
（３）幼児向け防災啓発教材の開発

就学前の幼児を対象とした防災啓発教材として、絵本の開発を行った。ねらいを整理し、構成・内容をかため、１つのシーンについて、試作を行った。2022 年度（令和４年度）は、その完成に向けて取り組みを進めていく。

地震時に危険があるところに、その危険を象徴する「妖怪」を潜ませた絵本のうち「海辺のシーン」➔

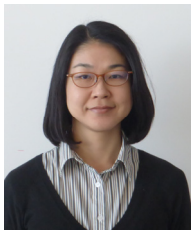
（４）竜巻をターゲットにした長周期音波の観測の実施

豊橋市内の３つの小学校に協力いただき、６月より連続観測を開始した。８月に豊川市で竜巻被害が発生したことから、その竜巻由来のシグナルを観測し得たかどうかの分析を行い、発達した積乱雲が発する音に混在する形で竜巻由来のシグナルが存在する可能性を確認した。



アレイ観測点と８月に発生した竜巻の被災エリア➔

（８）荒木裕子



強靭化共創部門　特任准教授

2015 年神戸大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程修了。建築設計事務所、災害支援 NGO 等を経て、2015 年人と防災未来センター主任研究員。2018 年 1 月より現職。専門は地域防災、被災者支援。博士（学術）。一級建築士。

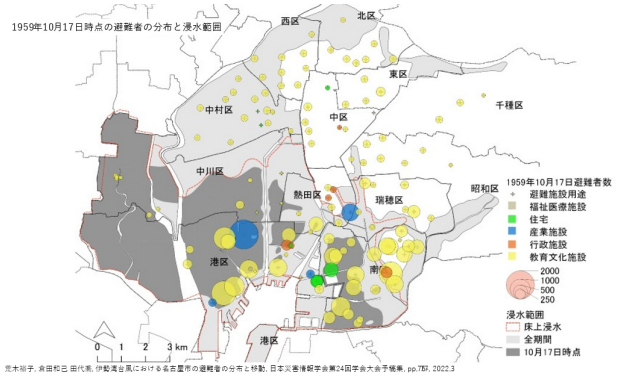
【自己紹介】

自然災害が多発する社会においても一人ひとりの人命が確保され、生きがいを持った生活が継続できることを目指し、安全と暮らしの両立という視点から災害対応の研究をしています。これまで被災地での地域組織や行政機関での支援活動を通じ現場から多くを学んできました。住民、行政、支援者が相互補完的に弱点を補い合い、強みを引き出し、災害に対応できるよう、研究成果により行政制度や教育、社会の仕組み、災害への意識に働きかけ、また将来の被災者に具体的な提案をできるよう取り組んでいます。

【令和元年度活動実績】

（１）避難者支援マネジメント研究

大規模災害時には事前に指定された場所を含め多数の避難が行われ，これら避難者に対して支援が届く仕組みの構築が必要となる。今年度は引き続き伊勢湾台風時の避難について当時の記録資料を用いて分析を行い，発災 20 日後における避難者の分布と避難者の移動，避難先の施設用途について明らかにし学会で報告した。.



伊勢湾台風による浸水範囲と避難者分布

（２）大規模災害時の災害対応に関する研究

2020 年度の愛知県下の基礎自治体の研修実施・派遣状況の分析及び，名古屋大学も参画しているあいち・なごや強靭化共創センターが行っている行政人材育成研修の役割の考察に基づき，組織間連携を目的とした防災研修プログラムの開発プロセスについて学会発表を行った．また，特に基礎自治体での段階的研修実施を繰り返し，開発及び実装の試行を継続した。

災害対応における目標像の検討結果

また研修プログラムについて，県，基礎自治体と共に暫定的な人材育成計画を作成し，研修プログラムの体系化を行うと共に，共創センターが求められる研修内容を示した．

（３）復興まちづくりとリスクマネジメント研究

被災後の災害対策を考える際、災害対策の方法が安全側に寄与することは当然として、採用された方法や手段によって災害で被災した被災者の生活再建に妨げを生じず、むしろ被災した地域の再建に寄与することが望まれる。今年度は被災後の住まいの再建の連関の構造化を行い，学会発表を行った。

（９）倉田和己

強靭化共創部門　特任准教授

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻修士課程修了後、ソフトウェア開発会社を経て 2012 年 4 月より減災連携研究センター寄付研究部門助教、2017 年 4 月より現職。専門は地震防災、災害情報。博士（工学）。

【自己紹介】

名古屋大学で建築学を学んでいた際、過去の地震災害の悲惨さと現代社会のリスクの大きさにショックを受け、自分に出来ることを求めて防災・減災の世界に足を踏み入れました。民間企業で行政防災情報システムや、市民の減災行動誘発システムの開発を行う中で、災害情報にまつわる専門的な知見や社会における利用者との繋がりの必要性を感じ、学び舎に戻ってきた次第です。現在は、地域を構成する産官学民が連携した災害情報の共有・利活用による被害軽減を目指し、様々なプロジェクトに関わりながら研究を行っています。また、地域拠点である減災館のさらなる充実と利活用の促進にも日々取り組んでいます。減災連携研究センターで得られた研究成果を広く社会に実装する事で、安全な地域の実現に貢献していきたいと考えております。

【令和 3 年度活動実績】

（１）ビッグデータを用いた社会インフラ強靭化のための合意形成手法構築

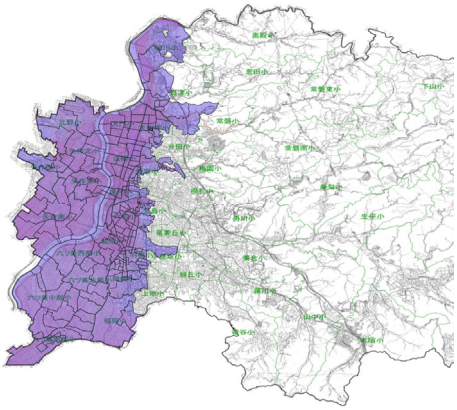
人口・経済が縮小する社会において、各種社会インフラを災害に備え強靭化しておくためには全体最適の視点に基づく戦略が必要であり、それを創出するための社会合意が求められる。本研究では、通常時の車両動態を示すビッグデータを分析することで、道路上のボトルネックを抽出し、対策優先順位のジレンマを提示することで合意形成を促す手法を検討している。（災害情報の技術研究）

（２）災害情報の可視化と博物館施設等への適用

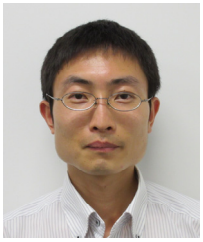
各種災害への被害想定やそれを裏付ける基礎データ、あるいは過去の災害の詳細な記録や教訓などが整備・蓄積される一方、それらを防災力向上へとつなげるための展示方法論は十分に確立されていない。本研究では、地理情報システムを基盤に災害情報を可視化し、それらを博物館施設等の現場で有効に活用するための方法論の構築と検証を行っている。（災害情報の活用研究）

（３）災害情報の市民受容と提供手段に関する検討

頻発する水害に対する予報警報や南海トラフ地震に関する臨時情報など、新たな災害情報が提示される中、それらが実効性を持つためには「伝える」だけでなく「伝わる」ための工夫が求められる。本研究では、各地域での調査データをもとに、新たな災害情報を市民がどのように受容しているか、どのような情報提供手段が適切なのかを検討している。（災害情報の受容研究）



（１０）平井敬



減災研究連携領域　助教

2013 年名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻博士後期課程修了。名古屋大学大学院環境学研究科助教を経て 2020 年 10 月より現職。専門は地震学、地震工学、歴史地震。博士（工学）。

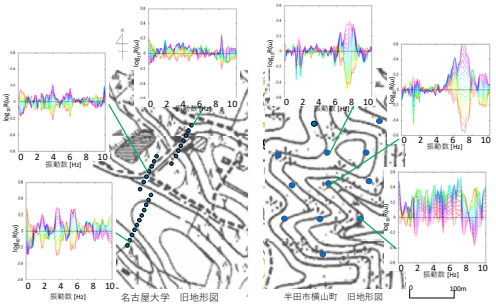
【自己紹介】

大学院在学中に東北地方太平洋沖地震とそれに起因する東日本大震災が発生し、普段は豊かな恵みをもたらしてくれる自然がひとたび牙をむいたときの恐ろしさを目のあたりにして、わが国における防災・減災の重要性を痛感しました。現在の取り組みとしては、地震による強震動の分析や予測、揺れを増幅させる地下構造の探査にかかわる研究、さらに建築振動論の教材開発や一般向けの視聴覚擬似地震体験システムの開発などを行っています。そのかたわら、人文科学分野の研究者と連携しながら地域に残る歴史記録を解読し、地震・津波をはじめ過去の災害による被害を調査するとともに、歴史記録解読の人材育成にたずさわっています。こうした取り組みを通して、安全な社会の実現へ向けて貢献していきたいと考えています。

【令和３年度活動実績】

（１）常時微動の水平上下スペクトル比を利用した不整形地下構造検出の試み

地下構造を簡便に把握するための手段のひとつに常時微動の水平上下スペクトル比があるが、その方位依存性に着目した。これまでに、愛知県半田市における微動観測記録の分析と、3 次元有限差分法を用いた数値解析の両面から検討を行い、地下の基盤傾斜や溝状の構造と水平上下スペクトル比の方位依存性との間に一定の関係が認められた。



名古屋大学・半田市横山町の
不整形性評価結果

（２）高密度地震観測を指向した自動車振動特性の把握

自動車を用いて地震観測を行うことの可能性について検討を行った。振動台を用いた加振実験により車両の振動特性を把握するとともに、車内で測定された加速度記録による車上および地上の計測震度の推定を行った。その結果、一般的な自動車は建物に近い振動特性を有していること、車上震度は地上震度とほぼ線形関係となることが分かった。

（３）歴史上の地震災害の調査と史料解読の人材育成

減災連携研究センター内で古文書勉強会を主催し、災害に関する歴史資料を調査するとともに解読のための人材育成を行っている。令和 3 年度は、防災専門図書館（東京都）所蔵の災害かわら版のうち 1854 年安政東海・南海地震に関するものの翻刻集を作成した。特に、すごろく形式の「諸国大地震大津波末代噺」についてはその内容を詳細に調査し、解説書「すごろくで学ぶ安政の大地震」として出版した。

かわら版翻刻集

すごろくで学ぶ安政の大地震

（１１）Meneses-Gutierrez　Angela

Institute for Advanced Research, Designated Assistant Professor

Meneses-Gutierrez is from Venezuela. She earned her bachelor's degree in Geophysical Engineering at the Simón Bolívar University, Venezuela in 2010. She finished her doctorate course at the Department of Earth and Environmental Science, Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University in 2017. Before moving to her current post in April 2019, she was a Program-Specific Researcher at the Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University. Her specialty is geophysics. Doctor of science.

【自己紹介】

I study crustal deformation using geodetic data (angle measurements, distance changes, Global Navigation Satellite System (GNSS), etc.), focusing on the analysis of earthquake-related processes. I am interested in solving the inconsistencies among different geodetic data sets, and their conformity with long-term deformation. I hope to deepen my understanding of strain accumulation in the crust and contribute to seismic hazard evaluation through this research.

【Annual report】

（１）Stability of long-term deformation in Northeast Japan

The strain accumulation rate between large earthquakes has been generally believed to be constant. However, recent studies using GPS observations from 1996 to 2010 showed a different situation before the 2011 Tohoku-oki earthquake, where a decreasing rate of strain accumulation was revealed. We investigated strain accumulation in Northeast Japan through an integrated analysis of conventional geodetic data (angle measurements and distance changes) with GPS data over 120 years. We found relatively stable strain accumulation from 1894 to 1984, which implies that the deceleration preceding the 2011 earthquake was no longer than several decades. This study provided an integrated view of the late stage of the earthquake cycle in NE Japan. These results have been published as a peer-reviewed article.

（２）Rheology of the mantle in inland Japan

Understanding the rheological properties of inland regions is essential in our comprehension of strain localization in inland regions and the mechanical evolution of geomorphological structures in the crust and the mantle. We analyzed GPS observations in NE Japan following large earthquakes and found a high level of similarity in the time-dependent postseismic deformation in Japan for different earthquakes, independent of their magnitude and the tectonic backgrounds. Our results suggest the universality of temporal changes following the earthquakes which appear to contradict the idea of nonlinear rheology which is often used to explain geodetic observations.

（３）Outreach events

I participated in science outreach activities to empower Latin American women in Geoscience. Through this work, I hope to contribute to inspiring the next generation of geoscientists.

（１２）エネルギー防災（中部電力）寄附研究部門

寄附研究部門特任教授　武村　雅之
1981 年東北大学大学院理学研究科博士課程修了後、建設会社技術研究所入所、同社小堀研究室を経て 2010 年から小堀鐸二研究所副所長。2012 年 4 月から現職。この間、日本地震学会理事、日本地震工学会副会長、歴史地震研究会会長などを務める。専門は地震学。理学博士。

寄附研究部門特任准教授　都築　充雄
1986 年早稲田大学大学院理工学研究科修了。電力会社勤務を経て現職。専門は建築耐震工学。工学修士。一級建築士。

寄附研究部門特任助教　蛭川　理紗
2010 年名古屋大学大学院工学研究科修了。電力会社勤務を経て 2019 年 8 月より現職。専門はコンクリート工学。修士（工学）。保育士。

【寄附研究部門紹介】

エネルギー防災寄附研究部門では、エネルギーの安定・安全な供給を通して地域防災力の向上に資することを目的とし、以下の個別研究テーマを推進します。
（１）南海トラフ巨大地震による地震動および津波規模の推定の高度化
（２）南海トラフ巨大地震発生時におけるエネルギー供給設備の被害想定の高度化
（３）地域の連携を活用した発災時の施設機能維持に向けた事前対策および早期復旧対策の検討
　このような寄附研究部門での研究活動を通じて、エネルギー供給における災害対応力を向上させるための検討を進めていきます。また、過去に起こった地震・津波に関する被害や復興についての調査・研究を進めるとともに、将来の減災研究・減災教育を担う人材を育成し、産学官民の連携や地域社会に向けた情報発信を推進します。

【令和３年度活動実績】

（１）　歴史地震に関する調査研究について

　10 年目となる中部『歴史地震』研究懇談会を主催し地域の歴史地震に関する情報をとりまとめた中部『歴史地震』研究年報第 10 号を発刊した。過去の震災による愛知県内の寺院の被害を現地調査によって明らかにする“お寺プロジェクト”を実施した。

（２）　簡易地震計による高密度な地震動モニタリングの検討

　観測記録の分析から得られる被害分布からは、地震による被害が大きくなる地域を確認することでハザードマップをはじめとした防災対応をより詳細・適切なものとすることができるが、地震計の設置と管理に必要なコストは高額であり、高密度な観測網を展開することが難しい。そこで安価な MEMS 地震計を設置することによる観測網の高密度化を、西三河地域を例として検討した。将来的には MEMS 地震計のように多数設置できる地震計と、従来の高精度の地震計を組み合わせた高密度観測網の展開が期待できる。

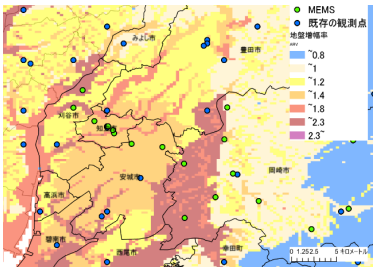


図　西三河地域の MEMS 地震計設置場所

（３）　子育て世代向け防災啓発について

　多くの子育て世代がハザードエリアに住まいを構えている現在、子育て世代の防災意識が非常に低いことが問題となっている。 そこで子育て世帯向けのワークショップ手法を検討した。また、子どもたちが防災を学ぶことで親世代にも浸透するように、歌・体操・かるたなどの保育園向けの防災啓発教材を開発した。

図　子育て世代向け防災啓発教材
（げんさいかん体操、かるた）

（１３）ライフライン地盤防災（東邦ガス）産学協同研究部門

特任教授　　田代　喬

2004 年名古屋大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。土木研究所専門研究員、名古屋大学大学院工学研究科助手・助教、同大学院環境学研究科准教授、同減災連携研究センターライフライン地盤防災（東邦ガス）寄附研究部門准教授を経て 2017 年 4 月より現職。専門は河川水理学、流域保全学、応用生態工学、水防災学。

特任准教授　菅沼　淳

1992 年京都大学大学院工学研究科修了。ガス会社でパイプラインに関わる技術開発、耐震設計に従事。2016 年名古屋大学減災連携研究センター受託研究員を経て 2017 年 4 月に着任。2022 年 3 月に満期退職、博士（工学）取得。専門はパイプライン耐震設計。

特任助教　　北川　夏樹

2012 年京都大学大学院工学研究科修了。ガス会社でパイプラインの設計・施工管理に従事した後、2017 年 4 月に着任。2022 年 3 月に満期退職、博士（工学）取得。専門は土木計画学。

【産学協同研究部門紹介】

地震や風水害などの自然災害に対する被害想定および防災体制の見直しが進められている中、水道、ガス、電力等のライフラインは社会全体に影響を及ぼす重要社会基盤インフラであり、被害を最小限にとどめ、災害後の早期復旧を図ることは、社会機能および経済活動を維持する上で、非常に重要です。

本研究部門では、過去の自然災害による被害の検証と共に、被災したライフラインが社会構造に及ぼす影響を分析し、都市・地域の防災・減災を実現するため、以下の個別研究テーマを推進しています。

① 巨大地震に対する構造物の耐震性評価を通じたライフラインの強靭化
② 河川氾濫、高潮等の浸水現象に対するライフラインの被害想定
③ ライフラインの被災による日常の利便性低下が及ぼす社会的影響評価

【令和３年度活動実績】

（１）流域治水のための雨水貯留による浸水低減対策の検討

浸水被害常襲地域に対し、地形・土地利用・建物配置に基づく“氾濫原”と、排水路・樋門・排水機などの実状を反映した“排水系統”を組込んだ、再現性の高い内外水氾濫解析モデルを構築できた。

令和元年東日本台風襲来時の浸水状況（図 1）のみならず、流域各所への雨水貯留によるその低減効果も可視化、定量化できることから、流域治水の計画立案に際して有効なツールとして寄与しうる可能性を確認した。

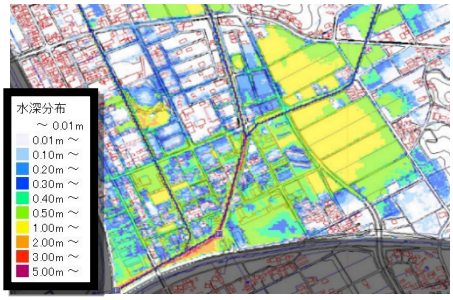


図 1　浸水被害の再現解析における最大浸水深分布
（五大開発株式会社、X-Okabe/AFREL による）

（２）局部変形（デント）を有する鋼管の耐震安全性の解明

引き続き軸圧縮座屈特性の研究を進めた。鋼管杭の耐震設計の考え方を参考にして、軸圧縮座屈解析モデルの妥当な長さについて検討した。解析モデル長さが管径の 20 倍（20D）あれば（図 2）理論上十分な長さを確保した解析結果とほぼ一致することを見出した。そして昨年度までに実施した軸圧縮座屈パラメータスタディを全て再試行し、局部座屈開始ひずみを求め、耐震性を判定し直した（表 1）。

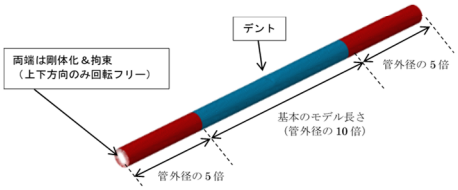


図 2　解析モデル（長さ：20D）

表 1　耐震性評価結果の総括

鋼管	呼び径	管厚	埋設深さ	デント管の耐震性
SGP	400A	7.9 ㎜	1.2m	デント 3%超で不足
API　L415	400A	11.9 ㎜	1.2m	あり
API　L360	600A	10.3 ㎜	1.8m	デント 6%超で不足
API　L450	600A	15.1 ㎜	1.8m	あり

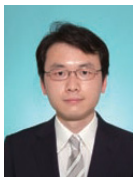
（３）被災者入浴支援事業の供給能力の推定

災害時に自宅で入浴のできない人々に対し、官民様々な主体による入浴支援事業が実施されてきた。しかし、これらの多くは発災後に応急的に実施されたもので、発生した入浴困難者を十分にサポートできなかった事例も散見される。本研究では被災地内で実現可能な入浴支援能力を推計し、入浴需要に対し不足する支援量を明らかにすることを目指した。はじめに、入浴支援に参画可能な地域内施設について洗い出しを行い、「公的な施設」、「民間施設（公衆浴場・宿泊施設）」が支援事業の主力となり得ることを確認した。その後、長野県長野市を対象としたケーススタディの中で、これらの施設を活用した場合に受け入れ可能となる避難者数をシミュレーションした。さらに、支援能力の多くを占める民間施設に対してヒアリングを行う中で、彼らが支援に参画する際の懸念事項についても抽出し、これらを解消する対策について提言した。

（１４）地域社会減災計画（応用地質）寄附研究部門

特任教授　利藤　房男

1981 年愛媛大学工学部卒業。2002 年愛媛大学にて博士（工学）を取得。1981 年より 37 年間にわたり、地質調査会社に勤務。2003 年東京支社技術部長、2014 年参与技師長室室長、2016 年理事技師長を経て現職。専門は地盤工学。博士（工学）、技術士（建設部門、総合技術監理部門）。



特任准教授　山崎　雅人

2010 年上智大学大学院地球環境学研究科地球環境学専攻博士後期課程修了。独立行政法人産業技術総合研究所安全科学研究部門特別研究員、立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構ポストドクトラルフェロー、名古屋大学減災連携研究センター寄附研究部門助教を経て現職。専門は経済シミュレーション分析。博士（環境学）。

【寄附研究部門紹介】

当部門では、南海トラフ巨大地震をはじめとする自然の猛威によるダメージの最小化と、そこからすみやかな回復を遂げることのできる「しなやかな」地域社会の構築への貢献を目指した一連の研究を実施している。東日本大震災の教訓から徹底的に学び、人命最優先を前提としつつ、自然災害に伴う経済被害を指標として有効かつ効果的な減災対策の評価および優先順位づけを行う。さらには、ソフトとハード対策を効果的に組合せた減災対策の提案や提言を目指した研究も進めている。当部門では、自然災害の発生直後から復旧・復興期、さらにその先までの長期的な時間軸を視野に入れ、繰り返しやってくる自然災害に賢く備えることを目標とし、継続的に研究を展開した。

【令和 3 年度活動実績】

（１）経済被害予測モデルの高度化研究

2021 年度は経済モデルおよび統計モデルを用いて、東日本大震災の再現研究の高度化ならびに新型コロナウイルス感染症の経済影響の定量評価に関わる研究を行った。

具体的には下記の通りである。

1) 応用一般均衡モデルを改良し、東日本大震災の経済影響の再現研究を深めた。設備点検等による工場稼働率の低下や港湾等インフラ設備の損傷を想定すると、東日本大震災の各地域での経済影響がより再現できることが明らかとなった。
2) 統計モデルである状態空間モデルを用いて、新型コロナウイルスの各産業への影響を定量的に把握した。宿泊業や観光業等に甚大な影響が出ている一方で、自動車販売台数や半導体の生産量への影響はわずかであるか統計的に確認できない程度であり、業種偏重的な影響を確認した。今後は長期的影響を多様な要因により定量評価できる統計モデルの開発が課題である。

（２）熱海の投棄残土の流動化に関する調査、研究

1) 2021 年 7 月 3 日 10 時 30 分頃に静岡県熱海市伊豆山地区で泥流災害が発生した。災害後、静岡県交通基盤部河川砂防局では、2021 年 7 月 27 日に現地で採取した試料を基に土質試験（物理試験等）を実施し公開した。応用地質寄附研究部門では、この土質試験結果を基に、投棄された残土が何故流動化したかついて調査、研究した。
2) 調査、研究結果から、今回の泥流が発生、流下したメカニズムは、以下のように推察された。
   ・投棄残土の粒径からは難透水性を示すものと推定されるが、締固めがほとんどされておらず、緩い状態であったため比較的投棄残土内に雨水等が入りやすい状態にあった。
   ・投棄残土は不飽和な状態ではサクションにより強度を保っているが、投棄残土内に水が入り飽和化することによりサクションが失われ極端な強度低下を生じた。
   ・投棄残土が崩壊するには何かインパクトが必要である。河川堤防の浸透破壊などから想定するに、法尻部が浸食を受け、これにより投棄残土が不安定化し崩壊したものと考えられる。崩壊は 8 回程度にわたって続いたとの事であるので、投棄残土の崩壊による不安定化が進行的に継続した。
   ・投棄残土は過去に発生した泥流と、中間土である事、粒度配合が良いことなど共通点がある。中間土でシルト分、粘土分の含有量が多いことから含水比も高いこともあり、崩壊後流動化した。

６．構成員研究業績

（１）概要

減災連携研究センターでは、大地震を始めとする自然災害と、それに伴い都市や人間社会に生じる様々な被害の予測と軽減対策に関する研究を実施している。これらの多くは既存の研究分野で行われていたが、分野横断的な連携による新たな災害学理の追求と成果の社会実装を強く意識した研究が進められている。

① 論文および学会発表・講演・受賞等

専任教員・特任教員および寄附研究部門教員による令和 3 年度の研究業績は、著書 9 編、査読付き論文 37 編（うち欧文 6 編、和文 31 編）、査読無し論文 41 編、発表・講演 299 件となっている。その他、学会での研究成果報告および講演等を多数行っている。学術研究についても従来の専門領域に閉じたもののみならず、社会に対する様々な提言型の研究成果が多いことも本センターの特徴として特筆される。また令和 3 年度中には 2 つの賞を受賞し、研究レベルは全国的に見ても高い。

② 研究成果の社会実装および国際連携

論文等の執筆以外でも、国や地方自治体の災害予測・被害想定・政策立案等の取り組みに多くの教員が中核的に参画することで研究成果の社会実装が進められている。また、各種の防災人材育成企画において、現場の技術者や一般市民に向けて最新の研究成果を含む知見を分かり易い形で提供している。また、平成 26 年度から東海圏減災研究コンソーシアム、平成 27 年度から SIP（戦略的イノベーション創造プロジェクト）による「地域協働と情報連携による地域密着型減災シンクタンク構想」、平成 30 年度から SIP 第 2 期「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」を進め、さらに令和 2 年度からは「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」および「屏風山・ 恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）における重点的な調 査観測」を開始し、防災・減災に関する産学官民の連携活動が推進されている。平成 27 年度に設置したモンゴル国立大学・名古屋大学レジリエンス共同研究センターを拠点として、平成 29 年度から JICA 草の根技術協力事業による防災啓発プロジェクトを、モンゴル非常事態庁と共同で実施している。令和 2 年度には台湾の国立成功大学の工学部および理学部と学術交流協定を締結した。このような国際展開も特筆される。

③ 報道等

上記の名古屋大学の取り組みは社会的にも大きな注目を集め、令和元年度に本センターおよび所属教員に関する報道件数は 178 回に及んだ。以上のように研究活動は順調に行われている。

教員の発表論文・著書一覧

（注）・記載する論文・著書は、本学において行った研究に関する成果をまとめたものに限る
・2021年度中に公表されたものであること（″in press″ 或いは「掲載決定」は原則として登録しない）
・″in press″或いは「掲載決定」の論文で学会誌等が刊行前に電子版で公開されている場合は、学会誌等が刊行した時点で記載する
・論文は、学会誌、学術雑誌に投稿し掲載、または執筆依頼に基づき学会誌、学術雑誌、権威ある一般雑誌に掲載されたものであること
・CD-ROMによる発表でページ付けのないものは、「ページ」欄に「CD-ROM」と記載すること
・著者の人数が多い場合は、全著者欄に主な著者数名を記載して、最後に「・・・他」と記載しても良い

1 研究連携部門 2 社会連携部門 3 強靱化共創部門 4 寄附部門 5 産学連携部門 4 研究員など	本センターの教員名				著書の場合は空欄			1 論文 2 著書 3 総説・解説 4 作品 5 国際会議プロシーディングス 6 その他	1 査読有 2 査読無
部門	**氏名**	**全著者**	**題目**	**掲載誌名/出版社**	**巻（号）**	**ページ**	**発行年月**	**分類**	**査読**
1	鷺谷　威	Angela Meneses-Gutierrez, Paul Segall, Takeshi Sagiya	How steady is interseismic crustal deformation in Northeast Japan? Evidence from an integrated analysis of centennial geodetic data	Journal of Geophyscial Research Solid Earth	127	e2021JB023100	20220200	1	1
1	鷺谷　威	鷺谷　威	M9地震の可能性に気付けなかった意外な要因	地震ジャーナル	vol.72	26-33	20211220	1	2
1	鷺谷　威	Sindy Carolina Lizarazo, Takeshi Sagiya, H?ctor Mora-P?ez	Interplate coupling along the Caribbean coast of Colombia and its implications forseismic/tsunami hazards	Journal of South American Earth Sciences	110	103332	20210421	1	1
1	鷺谷　威	末次大輔・寿楽浩太・金嶋聰・鷺谷　威	日本の原子力発電と地球科学ー9年間の「原発セッション」における議論を踏まえて	科学	vol.91	1082-1091	20211101		2
1	鈴木　康弘	鈴木康弘	ボスフォラスを越えてー激動のバルカン・トルコ地理紀行	風媒社		217（総ページ）	20211205	2	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘	「想定外」の落とし穴ーレジリエンスを喪失させるもの．稲村哲也ほか編『レジリエンス人類史』	京都大学学術出版会			2022年3月	2	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘	持続可能な社会づくりを担う「地理総合」と防災教育（巻頭言）	科学	91	417	2021年5月	3	2
1	鈴木康弘	須貝俊彦・鈴木康弘	自然の恵みと災いをどう教えるか	科学	91	461-464	2021年5月	3	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘	自然地理学の存在意義を考える（巻頭言）	科学	91	961	2021年10月	3	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘	「地理総合」における防災	Estrela	332	18－23	2021年9月	3	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘	いまなぜ、災害地理学か	地理	66(9)	2-7	2021年9月	3	2
1	鈴木康弘	田中靖・八反地剛・鈴木康弘	東日本大震災10年-防災概念の変革期における地理学ー	E-journal GEO	16	187	2021年6月	6	2
1	鈴木康弘	松多信尚・澤　祥・鈴木康弘・中埜貴元・廣内大助	1:25,000活断層図「諏訪（改訂版）」	国土地理院			2021年9月	6	2
1	鈴木康弘	鈴木・石井祥子・ナラマンダハ・バトトルガ・稲村哲也・奈良由美子	DRR Card Game 2021 created in Khovd, Mongolia by JICA Team	JICA			2021年10月	4	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘・奈良由美子・竹内裕希子	「熊本地震 6年目の真実と教訓」（前編・後編）	放送大学			2021年12月	4	2
1	飛田潤	飛田潤	特集：免震・制振技術変遷と新たな進展ー地震動観測の展開	建築技術/建築技術	865	134-137	2022年1月	3	2

1	飛田潤	飛田潤、福和伸夫、平井敬	シリーズ「新・強震観測の最新情報」第21回地域と連携した強震観測の展開	地震学会ニュースレター	74(NL3)	NL-3-20～23	2021年9月	3	2
1	長江　拓也	Yenidogan Cem, Nishi Ryota, Uwadan Seiya, Nagae Takuya, Isoda Hiroshi, Tsuchimoto Takahiro, Inoue Takahiro, Kajiwara Koichi	Full-scale shake table tests of P&B type of Japanese three-story wood dwellings for the collapse characterization	SOIL DYNAMICS AND EARTHQUAKE ENGINEERING	vol.150		20211100	1	1
1	長江　拓也	Koichi Kajiwara, Yusuke Tosauchi, Jae-Do Kang, Kunio Fukuyama, Eiji Sato, Takahito Inoue, Toshimi Kabeyasawa, Hitoshi Shiohara, Takuya Nagae, Toshikazu Kabeyasawa, Hiroshi Fukuyama, Tomohisa Mukai	Shaking-table tests of a full-scale ten-story reinforced-concrete building (FY2015). Phase I: Free-standing system with base sliding and uplifting	Engineering Structures	vol.233		20210400	1	1
1	長江拓也	編集委員会19名	建築設備耐震設計・施工指針2014年版Q&A集，建築設備耐震設計・施工指針における実務上のポイント	一般財団法人日本建築センター			202108	2	2
1	長江拓也	TERAMOTO Takayuki, KAWASW Takaharu, NAGAE Takuya	Guidelines for Seismic Design and Construction of Building Equipment 2014 Edition, Main Text Translated in English (Draft)	一般財団法人日本建築センター			20210927	2	2
2	山﨑雅人	Kai Liu, Masato Yamazaki, Atsushi Koike, Yueying Mu	Corn trade simulations of China: reduction in tariffs versus expansion in tariff-rate quotas	Journal of Economic Studies	印刷中	印刷中	2021年11月	1	1
2	平山　修久	亀田一平，平山修久	共分散構造モデルによる災害廃棄物対策に対する自治体職員の当事者意識の要因分析	土木学会論文集G(環境)	vol.77, No.2	22-30	20210520	1	1
2	平山　修久	亀田一平，平山修久	自治体における職員の当事者意識と災害廃棄物対策の実効性評価の関係に関する研究	廃棄物資源循環学会論文誌	vol.32	99-112	20211020	1	1
2	平山　修久	平山修久，福和伸夫	旧耐震基準の住宅棟数減少と南海トラフ地震における災害廃棄物低減量に関する検討	地域安全学会論文集	No.39	245-253	20211100	1	1
2	平山　修久	平瀬敏志，岡藤郁夫，木作尚子，平山修久	全国自治体の災害時食物アレルギー疾患対策に関する地域防災計画のまとめ	日本災害医学会雑誌	26巻2号	50-54	20211200	1	1
2	平山　修久	平山修久，永田尚人，葛畑秀亮，河田惠昭	災害廃棄物3Rの推進に関する検討	第32回廃棄物資源循環学会研究発表会講演原稿2021		111-112	20211000	1	2
2	平山　修久	玉井丈太郎，平山修久，光田豊	離散的被害推定手法を用いた上水道の実践的な災害対応検討手法について	環境衛生工学研究	vol.35, No.3	115-117	20210710	1	2
2	平山　修久	平山修久	東日本大震災を振り返る―災害エスノグラフィの視点から―	ダクタイル鉄管	No.109	pp.4-5	20211100	3	2
2	平山　修久	平山修久	災害廃棄物から考える我が国の災害対策	消防防災の科学	第146号（2021年秋季号）	pp.12-16	20211100	3	2
2	平山修久	平山修久	減災の研究・対応・備えの拠点！名古屋大学減災館	AQUA BOOK	第24号 Vol.6/SEASON.4	pp.3-4	20220100	3	2
2	平山　修久	平山修久，市岡宗詢	南海トラフ地震時の災害拠点病院への応急給水数値解析モデル構築	環境衛生工学研究	vol.35, No.3	112-114	20210710	1	2
2	平山修久	玉井丈太郎，平山修久，光田豊	離散的被害推定手法を用いた上水道の実践的な災害対応検討手法について	環境衛生工学研究	vol.35, No.3	pp.115-117	20210710	1	2

2	平山修久	平山修久，木全誠一，細川直史	近年の建物火災に対する消防水利に関する分析	日本災害情報学会第23回学会大会予稿集		pp.107-108	20211100	1	2
2	平山修久	平山修久，市岡宗詢	災害拠点病院への応急給水からみた災害対策	令和3年度全国会議（水道研究発表会）講演集		pp.704-705	20211200	1	2
2	平山修久	渡辺慧，野本成幸，小原信次，清塚雅彦，平山修久，安藤茂	海底送・配水管の維持管理・更新に関する研究（A-MARINEプロジェクト）	令和3年度全国会議（水道研究発表会）講演集		pp.422-423	20211200	1	2
2	平山修久	牧野真輔，平山修久，長尾浩二	ウェラブルカメラを用いた浄水場における技術継承に係る取り組み	令和3年度全国会議（水道研究発表会）講演集		pp.572-573	20211200	1	2
3	福和伸夫	福和伸夫	巨大地震に備えて	月刊技術士	2021 No.4	p.3	2021年4月	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	必ず来る地震に備え災い転じて福と為す	RE	No.210	pp.22-25	2021年4月	3	2
3	福和伸夫	寺島芳洋，福和伸夫	震源域におけるグリーン関数の空間分布と強震動生成域の配置に関する研究	日本建築学会構造系論文集	第86巻 第783号	pp.696-705	2021年5月	1	1
3	福和伸夫	福和伸夫	温故知新で未来を拓く	BELCA NEWS	176号	p.1	2021年7月	3	2
3	福和伸夫	千葉啓広、新井伸夫、倉田和己、荒木裕子、福和伸夫	広域大規模災害への連携対応を目的とした社会基盤情報整理－重層的管理を伴う上水の早期復旧を対象とした試み－	災害情報	No.19-2	pp.109-120	2021年7月	1	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ来たる大震災への対策	安全工学シンポジウム			2021年7月	1	2
3	福和伸夫	荒木裕子、新井伸夫、倉田和己、千葉啓広、福和伸夫	組織間連携構築のための「住」をテーマとした防災研修プログラムの開発	日本建築学会学術講演梗概集		pp.361-362	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	杉浦崚介、飛田潤、福和伸夫	地震時被害予測のためのエレベーターロープの応答解析手法の検討、日本建築学会学術講演梗概集	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.183-184	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	吉岡優樹、杉山充樹、平井敬、福和伸夫	微動源の特性と配置が分散曲線推定結果に及ぼす影響　常時微動シミュレーションに基づく検討	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.327-328	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	前田理沙、金子直人、中村悠太、飛田潤、福和伸夫	加振試験に基づく免震オイルダンパーの減衰特性と性能評価法の検討	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.497-498	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	吉原明里、藤井智規、平井敬、福和伸夫、飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その1（常時微動計測及び加振実験結果に基づく補修前後の比較）	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.883-884	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	藤井智規、吉原明里、平井敬、福和伸夫、飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その2（構造モデルによる検討）	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.885-886	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	吉岡優樹、平井敬、飛田潤、福和伸夫	自動車を用いた高密度地震観測のための車両振動計測	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.897-898	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	高井和巳、佐藤龍汰、飛田潤、福和伸夫	多様な振動観測に基づく免震建物の振動特性評価　その1　微動・強震観測記録に基づく振動特性の評価	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp. 923-924	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	佐藤龍汰、高井和巳、飛田潤、福和伸夫	多様な振動観測に基づく免震建物の振動特性評価　その2　自由振動実験に基づく振動特性の評価	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.925-926	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	金子直人、前田理沙、飛田潤、福和伸夫	オイルダンパーの交換に伴う免震建物の減衰特性とオイルダンパー特性の計測	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.929-930	2021年9月	1	2

3	福和伸夫	大田川駿也、平井敬、福和伸夫	多様なセンサーに対応した総合的波形分析・可視化システムの開発　その1：時系列データのオブジェクト指向分析と波形処理 Web システムの設計	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.993-994	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	平井敬、福和伸夫	多様なセンサーに対応した総合的波形分析・可視化システムの開発　その2　センサーの性能評価とリアルタイム波形処理	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.995-996	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	小澤摩納、朝日智生、福和伸夫	人間の動作による加振力を低減するための大質量・低剛性防振架構の振動特性	日本建築学会大会学術講演梗概集		pp.425-426	2021年9月	1	2
3	福和伸夫	福和伸夫	災害と住宅	住宅	Vol.70	pp.3-5	2021年9月	3	1
3	福和伸夫	福和伸夫	歴史に学び来たる災禍を乗り越え未来を拓く	日本鉄道施設協会誌	Vol.59	p.2	2021年9月	3	1
3	福和伸夫	飛田潤、福和伸夫、平井　敬	地域と連携した強震観測の展開	日本地震学会ニュースレター	第 74 巻 第NL3号	pp.20-23	2021年9月	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	「彼を知り己を知れば百戦殆からず」で南海トラフ地震を乗り越え「災い転じて福となす」	マッセ	Vol.187	pp.8-9	2021年9月	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び未来を拓くまちを作る	アーバンアドバンス	No.76	pp.16-26	2021年9月	3	2
3	福和伸夫	荒木裕子、新井伸夫、倉田和己、千葉啓広、野村一保、荒川由貴、高橋拓也、角田望美、加藤拓、福和伸夫	組織間連携構築のための「住」をテーマとした防災研修プログラムの開発プロセス	地域安全学会論文集	No.39		2021年11月	1	1
3	福和伸夫	福和伸夫	近代国家として形が整ったときの大地震「濃尾地震」から130年	日本地震学会ニュースレター	第74 巻 第NL5号	pp.19-20	2022年1月	3	2
3	福和伸夫	和木洋、高橋武宏、及川孝則、品川恭一、平野茂、福和伸夫	大型水槽を用いた実大戸建住宅の浸水試験システムの提案	日本建築学会技術報告集	Vol.27、No.68		2022年2月	1	1
3	福和伸夫	千葉啓広、新井伸夫、倉田和己、荒木裕子、福和伸夫	広域大規模災害時の物資輸送の連携対応の確立に向けた検討過程の整理－市町村境界を越えた3次緊急輸送道路の接続に向けた試み－	地域安全学会論文集	No.40		2022年3月	1	1
3	福和伸夫	福和伸夫	見直された富士山ハザードマップ、影響範囲は広域に	Yahooニュース			2021.4.5	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	熊本地震から5年、南海トラフ地震を彷彿とさせる地震の連動・豪雨・噴火の複合災害	Yahooニュース			2021.4.12	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	「ビッグヒストリー」から考える「諦める災害」と「乗り越える災害」	Yahooニュース			2021.5.10	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	「耐震だから大丈夫」って本当？　新耐震から40年を迎えて	Yahooニュース			2021.5.17	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震の「発生シナリオ」を考えてみる―【その1】地震の発生まで	Yahooニュース			2021.6.1	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震の「発生シナリオ」を考えてみる―【その2】地震の発生直後	Yahooニュース			2021.6.7	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震の「発生シナリオ」を考えてみる―【その3】発生後の応急期	Yahooニュース			2021.6.14	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震の「発生シナリオ」を考えてみる―【その4】災害後の復旧期	Yahooニュース			2021.7.1	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震の「発生シナリオ」を考えてみる―【その5】より良い復興で日本再生	Yahooニュース			2021.7.5	3	2

3	福和伸夫	福和伸夫	熊本豪雨1年、熊本地震5年、雲仙火砕流30年を迎え、火山地域の防災を考える	Yahooニュース			2021.7.12	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	夏に発生した南海トラフ地震から660年　夏ならではの大きな課題とは	Yahooニュース			2021.8. 2	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	関東地震から98年、寺田寅彦の「震災日記より」を読む	Yahooニュース			2021.9. 1	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	WTCビル崩壊から20年　命を守る建築構造の基本とは	Yahooニュース			2021.9.8	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	繰り返す千葉県北西部の地震、これまでと比べ首都圏の被害に変化はあったのか？	Yahooニュース			2021.10.10	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	死者7273人　観測史上最大の内陸地震・濃尾地震から130年	Yahooニュース			2021.10.18	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	新型コロナ禍や千葉県北西部の地震を教訓に東京を小さくしませんか	Yahooニュース			2021.10.25	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	世界一危険と評された東京の災害危険度を考える(その1)ハザード	Yahooニュース			2021.11.1	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	世界一危険と評された東京の災害危険度を考える(その2)バルネラビリティ(脆弱性)	Yahooニュース			2021.11. 8	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	世界一危険と評された東京の災害危険度を考える(その3)エクスポージャ(一極集中の怖さ)	Yahooニュース			2021.11.15	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	ドキッとした先週の地震、明日12月7日は東南海地震から77年	Yahooニュース			2021.12.6	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	77年前、東南海地震6日後に名古屋空襲と猛獣射殺。今、地震が起きたら社会はどうなる？	Yahooニュース			2021.12.13	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	南海地震から75年の日に、北海道・東北の津波被害想定公表　最悪の場合、東日本大震災の10倍	Yahooニュース			2021.12.22	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	2022年に周年を迎える災禍、事故や災害が多発、大地震にも変わらず備えを	Yahooニュース			2022.1.1	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	東南海地震の37日後に起きた三河地震から77年、今起きたらどうなるか	Yahooニュース			2022.1.11	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	阪神・淡路大震災から27年、盲点は繁華街のビルの耐震化　3大都市の現状を見る	Yahooニュース			2022.1.17	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[46] 120年前の未来を予測する力	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.4.15	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[47] 新耐震設計法の導入から40年、事業継続を担保する設計法に脱皮を	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.5.5	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[48] 東海地震の震源域見直しから20年、南海トラフ地震対策の進展	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.5.24	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[49] 大阪府北部の地震から3年、教訓を首都直下地震対策に活かしたい	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.6.19	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[50] 南海トラフ地震に対する事前避難対象地域指定をきっかけにその時をイメージする	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.8.2	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[51]「大いなる田舎」名古屋が語る防災の知恵「お国自慢」を通して、これからの日本を考える	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.9.9	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[52]くらしと産業に不可欠 な「水 」の複雑な仕組み	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.10.25	3	2
3	福和伸夫	福和伸夫	[53] 繰り返す千葉北部の地震、変わらぬ首都圏の弱さ	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2021.11.18	3	2

3	福和伸夫	福和伸夫	[54] この100年をひも解き、災害と社会を考える	WEBRONZA連載「減災社会をめざして」			2022.1. 1	3	2
3	平井敬	平井敬	すごろくで学ぶ安政の大地震	風媒社		132	2021年11月	2	2
3	武村雅之	久永哲也・内田篤貴・小川典芳・佐々木哲朗・椋代大暉・浦谷裕明・武村雅之・都築充雄	1498年明応東海地震における伊豆半島西岸の戸田および仁科の津波痕跡	歴史地震	第36号	221-233	2021	1	1
3	武村雅之	武村雅之	1923年関東大震災における復興初期段階の被災者動向-東京市の公設バラックは市内残留家屋喪失者の何割を収容できたか？	中部「歴史地震」研究年報	第9号	49-59	2021	1	2
3	武村雅之	武村雅之	関東大震災から学ぶ防災哲学の重要性	首都防災ウィーク記念資料集	第9回	70-73	2021	1	2
3	武村雅之	武村雅之	過去の巨大地震災害を教訓にした防災哲学の構築に向けて	基礎工（特集巨大地震による災害への備えの新たな展開）	11月号	11-16	2021	1	2
3	武村雅之	H. Nakai, M. Takemura , M. Sakamoto	Re-Evaluation of Seismic Intensity Distribution and Damage Characteristics of the 1945 Mikawa Earthquake	17th World Conference on Earthquake Engineering	17WCEE	C000326	2021	1	2
3	武村雅之	武村雅之	東京都における関東大震災の慰霊碑・記念碑・遺構　その3　郊外各区と移転寺院	名古屋大学減災連携研究センター		214pp	2021	2	2
3	武村雅之	武村雅之	東日本大震災の教訓は生かされてきたか？－10年前と現在	名古屋大学減災連携研究センター	それぞれの3.11	3-5	2021	3	2
3	武村雅之	武村雅之	連載コラム　その24　2011年3月11日	日本地震工学会ニュースレター	Vol.10No.1	13-14	2021	3	2
3	武村雅之	武村雅之	連載コラム　その25　“未曾有”をなくすために	日本地震工学会ニュースレター	Vol.10No.2	11-12	2021	3	2
3	武村雅之	武村雅之	連載コラム　その26　震災と女性の社会的地位向上	日本地震工学会ニュースレター	Vol.10No.3	11-12	2021	3	2
3	倉田和己	倉田和己，荒木裕子，末松憲子，田代喬	旧版地図を用いた災害リスク学習支援ツールの開発と博物館展示における利用評価　-1959年伊勢湾台風に関する企画展示への適用-	自然災害科学	40巻（特別号）	pp.31-44	2021年9月	1	1
3	倉田和己	倉田和己，穴井英之，荒木裕子，新井伸夫	南海トラフ地震臨時情報に関する住民意識の現状と防災対応検討ガイドラインとのギャップに関する考察	災害情報	20巻（1）	pp.63-73	2022年2月	1	1
3	倉田和己	千葉啓広，新井伸夫，倉田和己，荒木裕子，福和伸夫	広域大規模災害への連携対応を目的とした社会基盤情報整理－重層的管理を伴う上水の早期復旧を対象とした試み－	災害情報	19巻（2）	pp.109-120	2021年7月	1	1
3	倉田　和己	荒木裕子，新井伸夫，倉田和己，千葉啓広，野村一保，荒川由貴，高橋拓也，角田望美，加藤拓，福和伸夫	組織間連携を目的とした防災研修プログラムの開発プロセスと枠組みに関する考察	地域安全学会論文集	vol.39	335-342	20211100	1	1
3	西川智	日本自然災害学会編	2005 兵庫行動枠組の採択	自然災害科学・防災の百科事典/丸善		672-673	2022年2月	2	1
3	西川智	西川智	防災への取組みを他人事から我が事にするために「一日前プロジェクト」	地域開発/日本地域開発センター	639	47-51	2021年11月	2	1
3	西川智	西川智	さまざまな職業人の災害経験から学ぶ「一日前プロジェクト」	安全と健康/中央労働災害防止協会	vol23, No.3	85-87	2022年3月	2	2

3	西川智	清水智, 西川智	事業者の水害対策の効果に対する認識の現状と課題	地域安全学会梗概集	No.48	105-108	2021年5月	1	2
3	西川智	山崎暢、西川智	道路インフラ復旧優先順位判断支援の定性的評価手法の一提案	地域安全学会梗概集	No.48	147-150	2021年5月	1	2
3	西川智	北川夏樹、蛭川理紗、西川智	「一日前プロジェクト」体験談の読了による 防災意識の変容に関する一考察	地域安全学会梗概集	No.48	69-72	2021年5月	1	2
3	西川智	西川智	Ichi-Nichi-Mae(The Day before the Disaster) Project for Landslide Awareness and Risk Communication	Proceedings of the Fifth World Landslide Forum	Online		2021年11月		
3	西川　智	西川智	防災への取組みを他人事から我が事にするために?「一日前プロジェクト」?	地域開発			20211209	1	2
3	西川　智	Satoru Nishikawa	Ichi-Nichi-Mae(The Day before the Disaster) Project for Landslide Awareness and Risk Communication	Proceedings of the Fifth World Landslide Forum			20211102	1	2
3	西川　智	山崎暢、西川智	道路インフラ復旧優先順位判断支援の定性的評価手法の一提案	地域安全学会梗概集 No.48		147-150	20210514	1	2
3	西川　智	北川 夏樹 , 蛭川 理紗 , 西川 智	「一日前プロジェクト」体験談の読了による 防災意識の変容に関する一考察	地域安全学会梗概集 No.48		69-72	20210514	1	2
3	西川　智	清水 智, 西川 智	事業者の水害対策の効果に対する認識の現状と課題	地域安全学会梗概集 No.48		105-108	20210514	1	2
3	西川　智	西川智	第九回首都防災ウィーク記念資料集 陸域と海域をまたがる新たな資源循環で一石四鳥の win-win-win-winを！	首都防災ウィーク実行委員会			20211200	2	2
3	新井　伸夫	千葉啓広, 新井伸夫, 倉田和己, 荒木裕子, 福和伸夫	広域大規模災害への連携対応を目的とした社会基盤情報整理 ?重層的管理を伴う上水の早期復旧を対象とした試み?	災害情報	vol.19, No.2	109-120	20210700	1	1
3	新井　伸夫	荒木裕子, 新井伸夫, 倉田和己, 千葉啓広, 野村一保, 荒川由貴, 高橋拓也, 角田望美, 加藤拓, 福和伸夫	組織間連携を目的とした防災研修プログラムの開発プロセスと枠組みに関する考察	地域安全学会論文集	vol.39	335-342	20211100	1	1
3	荒木　裕子	荒木裕子, 新井伸夫, 倉田和己, 千葉啓広, 野村一保, 荒川由貴, 高橋拓也, 角田望美, 加藤拓, 福和伸夫	組織間連携を目的とした防災研修プログラムの開発プロセスと枠組みに関する考察	地域安全学会論文集	vol.39	335-342	20211100	1	1
3	荒木　裕子	倉田和己, 荒木裕子, 末松憲子, 田代喬	旧版地図を用いた災害リスク学習支援ツールの開発と博物館展示における利用評価　-1959年伊勢湾台風に関する企画展示への適用-	自然災害科学	vol.40, 特別	31-44	20210900	1	1
3	荒木　裕子	千葉啓広, 新井伸夫, 倉田和己, 荒木裕子, 福和伸夫	広域大規模災害への連携対応を目的とした社会基盤情報整理 ?重層的管理を伴う上水の早期復旧を対象とした試み?	災害情報	vol.19, No.2	109-120	20210700	1	1
3	Yuko ARAKI	Nobuhito Ohtsu, Akihiko Hokugo, Ana Maria Cruz, Yukari Sato, Yuko Araki, Hyejeong Park	Evacuation of vulnerable people during a Natech: a case study of a flood and factory explosion in Japan	Journal of Disaster Resilience in the Built Environment,		Online First	20211006	1	1
3	荒木裕子	倉田和己, 穴井英之, 荒木裕子, 新井伸夫	南海トラフ地震臨時情報に関する住民意識の現状と防災対応検討ガイドラインとのギャップに関する考察	災害情報	vol.20, No.1	In Press		1	1

3	荒木裕子	平山修久, 市岡宗詢, 荒木裕子	セルオートマトン法を用いた災害時の応急給水数値解析モデルの構築	災害情報	vol.20, No.1	In Press		1	1
3	荒木裕子	千葉啓広, 倉田和己, 新井伸夫, 荒木裕子, 幸節静奈, 福和伸夫	広域大規模災害時の物資輸送の連携対応の確立に向けた検討過程の整理－市町村境界を越えた第3次緊急輸送道路の接続に向けた試み－	地域安全学会論文集	vol.40	In Press		1	1
3	荒木裕子	荒木裕子, 新井伸夫, 倉田和己, 千葉啓広, 福和伸夫	組織間連携構築のための「住」をテーマとした防災研修プログラムの開発	日本建築学会大会学術講演梗概集		361-362	20210910	1	2
3	荒木裕子	荒木裕子, 鳥居朱里, 福和伸夫	「住まい」をテーマとした構成要素の構造化と災害による変化を表現する試み	第48回地域安全学会研究発表会（春季）梗概集		169-172	20210521	1	2
3	荒木裕子	岡田恵実, 高橋拓也, 荒木裕子, 新井伸夫	豊橋市役所における横のつながりを考える研修	地域安全学会第49回研究発表会（秋季）梗概集		51-54	20211031	1	2
3	荒木裕子	穴井英之, 倉田和己, 新井伸夫, 荒木裕子, 平山修久	中核市自治体における住民の避難意向に関する調査　その1　河川氾濫における避難について	第48回地域安全学会研究発表会（春季）梗概集		123-126	20210521	1	2
3	荒木裕子	倉田和己, 穴井英之, 荒木裕子, 新井伸夫, 平山修久	中核市自治体における住民の避難意向に関する調査　その2　南海トラフ臨時情報について	第48回地域安全学会研究発表会（春季）梗概集		89-92	20210521	1	2
3	平井　敬	平井敬	すごろくで学ぶ安政の大地震	風媒社		132（総ページ）	20211130	2	2
4	都築　充雄	久永哲也,内田篤貴,小川典芳,佐々木哲朗,椋代大暉,浦谷裕明,武村雅之,都築充雄	1498年明応東海地震における伊豆半島西岸の戸田および仁科の津波痕跡	歴史地震第36号	No.36	221-233	20210730	1	1
4	利藤　房男	門田浩一　芳賀則人　利藤房男　山縣滋	傾斜地災害対策と土地評価	不動産鑑定			20211001	2	2
5	北川　夏樹	北川夏樹, 吉森 和城, 山本俊行	民間施設を活用した災害時入浴支援の効果推計とその課題の抽出	地域安全学会論文集	vol.39	11-20	20211100	1	1
5	菅沼淳	伊奈孝, 小沢裕治, 舘石和雄	局部変形を有する埋設パイプラインの軸圧縮変形特性と耐震安全性	土木学会論文集	2021年77巻3号	p369-383	2021年9月	1	1
5	菅沼淳	北川夏樹, 蛭川理紗, 都築充雄	COVID-19感染症蔓延に伴う「緊急事態宣言」発出による電力需要への影響分析	第12回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム	講演集	P19-24	2022年1月	1	2
5	田代喬	田代　喬, 片貝武史	小規模扇状地群の扇端部を横断する河川の流況に関する現地観測	河川技術論文集	27	229-234	2021年6月	1	1
5	田代喬	溝口裕太, 宇佐美将平, 小野田幸生, 田代　喬, 宮川幸雄, 中村圭吾	UAV による低水路河床の砂被度把握とそれを用いたアユの生息場適性評価モデルの精緻化	河川技術論文集	27	305-310	2021年6月	1	1
5	田代喬	宮川幸雄, 溝口裕太, 田代喬, 中村圭吾	礫床河川における付着藻類現存量の迅速な定量化を目的とした携帯式計測機器の適用可能性	河川技術論文集	27	317-322	2021年6月	1	1
5	田代喬	宇佐見亜希子, 田代　喬, 野崎健太郎, 松本嘉孝, 八木明彦, 岩月栄治	火山麓における強酸性河川の流下藻類への影響評価：御嶽山南麓の王滝川水系の現地観測より	河川技術論文集	27	363-368	2021年6月	1	1
5	田代喬	倉田和己, 荒木裕子, 末松憲子, 田代　喬	旧版地図を用いた災害リスク学習支援ツールの開発と博物館展示における利用評価―1959年伊勢湾台風に関する企画展示への適用―	自然災害科学	40	31-44	2021年9月	1	1

5	田代喬	溝口裕太，宇佐美将平，八木澤順治，小野田幸生，田代　喬，宮川幸雄，中村圭吾	アユの採餌環境を対象とした河床環境数値予測モジュールの開発	土木学会論文集B1（水工学）	77(2)	I_559-I_564	2021年12月	1	1
5	田代喬	田代　喬	減災連携研究センターの設立と現況	土木系教室60周年記念誌/名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻，名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻持続発展学系，名古屋大学工学部環境土木・建築学科環境土木工学プログラム		5-8	2021年10月	6	2

教員の発表・講演一覧

（注）・2021年度中の成果
・「開催地」は大学等の会場名でも可
・日本国内で開催された国際会議は、種別を「国際」とする
・本人が発表したものに限る

1 研究連携部門 2 社会連携部門 3 強靭化共創部門 4 寄附部門 5 産学連携部門 4 研究員など	本センターの教員名				大学等会場名でも可		1国際 2国内	1 基調・招待講演 2 口頭発表 3 ポスター発表 4 その他
部門	**氏名**	**全発表者**	**発表題目**	**会議等名称**	**開催地**	**発表年月**	**国際/国内**	**発表種類**
1	鈴木康弘	Suzuki, Y.	Tectonic Geomorphology for Disaster Risk Reduction in a Quarter-Century Since the 1995 Kobe Earthquake in Japan	International Geographical Conference	Istanbul (On line)	2021年8月	1	2
1	鈴木康弘	前田洋介・森田匡俊・大西宏治・井田仁康・鈴木康弘	シンポジウム「災害・防災ついて地理学は何を教えるのか —小・中・高の防災教育リレーを考える—」	日本地理学会	東京大学（オンライン）	2022/03/01	2	1
1	鈴木康弘	鈴木康弘	国際地理学連合(IGU)の成果と展望：学術会議を通した国際活動の推進, 日本地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合ユニオンセッション	横浜（オンライン）	2021/06/03	2	1
1	鈴木康弘	鈴木康弘・屏風山・恵那山断層帯重点調査研究グループ	屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）の長期評価の課題（変動地形グループの初年度（令和2年度）検討結果）	日本地球惑星科学連合	横浜（オンライン）	2021/06/05	2	2
1	鈴木康弘	Suzuki, Y.	Contributions of tectonic geomorphology to disaster risk reduction in Japan and Mongolia,	First International Symposium of ASC Mongolia	Ulaanbaatar	2021/10/25	1	2
1	鈴木康弘	藤原広行・鈴木康弘	地表地震断層の特性を考慮した断層近傍の強震動ハザード評価(NGY_05)	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）の成果報告シンポジウム	オンライン	2022/03/02	2	2
1	鈴木康弘	松多信尚・鈴木康弘	変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討（NGY_03）	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）の成果報告シンポジウム	オンライン	2022/03/03	2	2
1	鈴木康弘	藤原広行・鈴木康弘	地表地震断層の特性を考慮した断層近傍の強震動ハザード評価(NGY_05)	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）災害誘因部会	オンライン	2022/02/08	2	2
1	鈴木康弘	松多信尚・鈴木康弘	変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討（NGY_03）	災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）長期評価部会	オンライン	2022/02/18	2	2
1	鈴木康弘	鈴木康弘	地震のハザードとメカニズム	みえ防災塾	オンライン	2021/06/26	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	地形と災害	高校生防災セミナー	オンライン	2021/07/27	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	地形と活断層	あいち防災・減災カレッジ	オンライン	2021/07/17	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	地形と活断層	あいち防災・減災カレッジ	オンライン	2021/10/23	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	閉会挨拶	日本学術会議主催公開シンポジウム「「水」と「水循環」の研究最前線―21世紀の多分野協創研究にむけて」	オンライン	2021/09/18	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	原発と活断層	朝日カルチャースクール	オンライン	2021/10/25	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	趣旨説明	日本学術会議主催学術フォーラム「地球環境変動と人間活動―地球規模の環境変化にどう対応したらよいか―」	オンライン	2021/12/05	2	4
1	鈴木康弘	鈴木康弘	総合 司会	日本学術会議主催公開ワークショップ「Future Earth 持続可能な社会の創り手を育てる学び～海の学び、ESD／SDGsの学びを豊かに～」	オンライン	2021/12/19	2	4
1	飛田潤	飛田潤	地震被害から見る建築物の耐震性	四日市高校SSH	オンライン	2021/06/18	2	4
1	飛田潤	飛田潤	みんなで考える家族と地域の防災安全	刈谷市元刈谷防災講演会	刈谷市	2021/07/17	2	1
1	飛田潤	飛田潤、護雅史、倉田和己	減災館ツアー	高大連携高校生防災セミナー	オンライン	2021/07/26	2	4
1	飛田潤	飛田潤	災害情報	防災・減災カレッジ 市民防災コース	オンライン	2021/7/31 2021/10/30	2	2
1	飛田潤	飛田潤	学校と生徒と地域の防災・減災	東海地区国立大学附属学校	名古屋大学附属学校／オンライン	2021/08/20	2	1
1	飛田潤	J. Tobita and N. Fukuwa	Long-Term Vibration Experiment of a Base-isolated Building	17th World Conference on Earthquake Engineering	Sendai, Japan	2021/09/30	1	3

1	飛田潤	飛田潤	次世代に伝えたい「防災・減災」	名古屋東ロータリークラブ	名古屋市	2021/11/09	2	1
1	飛田潤	飛田潤	建築防災論	愛知県消防学校消防職員教育	名古屋大学減災館	2021/12/03	2	2
1	飛田潤	飛田潤	自主防災組織の役割	安城市自主防災リーダー養成研修	安城市	2021/12/04	2	1
1	飛田潤	飛田潤	建設技術者と社会の防災・減災	中部の社会資本整備の重要性に関するシンポンポジウム	名古屋／オンライン	2022/02/04	2	1
1	飛田潤	飛田潤	地域の将来に向けたそれぞれの立場での防災・減災活動	津島市防災講演会	津島市／オンライン	2022/02/11	2	1
1	飛田潤	前田理沙、金子直人、中村悠太、飛田潤、福和伸夫	加振試験に基づく免震オイルダンパーの減衰特性と性能評価法の検討	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/07	2	2
1	飛田潤	杉浦崚介、飛田潤、福和伸夫	地震時被害予測のためのエレベーターロープの応答解析手法の検討	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/09	2	2
1	飛田潤	高井和巳、佐藤龍汰、飛田潤、福和伸夫	多様な振動観測に基づく免震建物の振動特性評価　その1　微動・強震観測記録に基づく振動特性の評価	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	飛田潤	佐藤龍汰、高井和巳、飛田潤、福和伸夫	多様な振動観測に基づく免震建物の振動特性評価　その2　自由振動実験に基づく振動特性の評価	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	飛田潤	金子直人、前田理沙、飛田潤、福和伸夫	オイルダンパーの交換に伴う免震建物の減衰特性とオイルダンパー特性の計測	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	飛田潤	吉岡優樹、平井敬、飛田潤、福和伸夫	自動車を用いた高密度地震観測のための車両振動計測	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	飛田潤	吉原明里、藤井智規、平井敬、福和伸夫、飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その1(常時微動計測及び加振実験結果に基づく補修前後の比較)	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	飛田潤	藤内繁明、河合良道、小橋知季、金森愛咲美、護雅史、飛田潤	多数の観測記録に基づくスチールハウスの地震時応答性状分析　その1:対象建物および地震観測概要	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	飛田潤	金森愛咲美、護雅史、飛田潤、藤内繁明、河合良道、小橋知季	多数の観測記録に基づくスチールハウスの地震時応答性状分析　その2:地震観測記録に基づく建物応答性状の分析	日本建築学会大会	名古屋工業大学／オンライン	2021/09/10	2	2
1	長江拓也	後藤航, 小林俊夫, 石原直, 梅田尚子, 岡野創, 八百山太郎, 浅井竜也, 長江拓也, 貞本美和, 小林祐亮, 林徹, 神崎喜和, 梶原浩一, 岸田明子, 藤原淳	2 次部材の耐震性能に関する実験研究の進展と評価技術の現状	シンポジウム「大振幅地震動に対する耐震性能評価」－実験データに基づく建築物の損傷予測:部材フラジリティと修復コストのDB化を目指して ＜主催＞日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 大地震時耐震性能評価小委員会	建築会館(オンライン)	20211203	2	2
1	長江拓也	浅井 健志郎, 谷口佳代, 長江拓也, 岡崎太一郎, 松宮智央, 高橋 典之, 中澤博志, 松井良太, 梶原浩一	鋼構造骨組に対する地震応答解析の精度検証の振動台実験　第2報　解析方法と解析結果	日本建築学会北海道支部研究報告集	釧路工業高等専門学校(オンライン)	20210626	2	2

1	長江拓也	高谷和樹，長江拓也，高橋武宏，井上貴仁	実大3層木造免震住宅の震動台実験と数値解析／すべり支承免震へのオイルダンパ導入	日本建築学会北海道支部研究報告集	釧路工業高等専門学校（オンライン）	20210626	2	2
1	長江拓也	外山寛太郎，松田良介，岡崎太一郎，長江拓也，神崎善和，福井隆浩，飯嶋俊比古，桐山義郎	軽量鋼材によるユニットハウスの柱梁接合部の耐震性能を検証する繰返し載荷実験	日本建築学会北海道支部研究報告集	釧路工業高等専門学校（オンライン）	20210626	2	2
1	長江拓也	松田良介，岡崎太一郎，長江拓也，松宮智央，高橋典之，梶原浩一，神崎喜和，福井隆浩，日高和幸，飯嶋俊比古桐山義郎，中澤博志	ユニットハウスの耐震性能を検証する振動台実験　5坪製品の振動台実験	日本建築学会北海道支部研究報告集	釧路工業高等専門学校（オンライン）	20210626	2	2
1	長江拓也	岩田久弥，高谷和樹，長江拓也，日高和幸，槙田剛，五十田博	地中配管設備等の非構造部材を含む3 階建て住宅の機能を検証するE－ディフェンス実験（首都圏レジリエンスプロジェクト） その29. 耐力壁切り出し振動台実験	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	高谷和樹，岩田久弥，長江拓也，高橋武宏，奥祥平，山田祥平，柏 尚稔，林和宏，五十田博，井上貴仁	地中配管設備等の非構造部材を含む3 階建て住宅の機能を検証するE－ディフェンス実験（首都圏レジリエンスプロジェクト） その30. 割線剛性の包括評価	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	梅林舞，高橋典之，千田紘之，長江拓也，岡崎太一郎，松宮智央，梶原浩一，中澤博志，神崎喜和，福井隆浩，桐山義郎	大型振動台による軽量鉄骨下地間仕切壁の損傷評価実験における架構層間変形角と間仕切壁傾斜角の関係	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	外山寛太郎，松田良介，岡崎太一郎，長江拓也，神崎喜和，福井隆浩，飯嶋俊比古，桐山義郎	軽量鋼材によるユニットハウスの柱梁接合部の耐震性能を検証する実験	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	松田良介，岡崎太一郎，長江拓也，松宮智央，高橋典之，梶原浩一，神崎喜和，福井隆浩，日高和幸，飯嶋俊比古，桐山義郎，中澤博志	ユニットハウスの建築耐震性に関する振動台実験　その3. 5坪製品の振動台実験	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2

1	長江拓也	谷口佳代, 浅井健志郎, 長江拓也, 岡崎太一郎, 松宮智央, 高橋典之, 中澤博志, 松井良太, 梶原浩一	鋼構造骨組に対する地震応答解析の精度検証の振動台実験 その1 設計と実験概要	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	浅井健志郎, 谷口佳代, 長江拓也, 岡崎太一郎, 松宮智央, 高橋典之, 中澤博志, 松井良太, 梶原 浩一	鋼構造骨組に対する地震応答解析の精度検証の振動台実験 その2 解析方法と解析結果	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	吉川拳人, 勅使川原正臣, 楠浩一, 稲井栄一, 長江拓也, 迫田丈志, 浅井竜也, 諏訪田晴彦, 中村 聡宏	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その25 等価1自由度系縮約	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	長江拓也, 勅使川原正臣, 楠浩一, 稲井栄一, 尾畑 徹, 浅井竜也, 吉川拳人, 諏訪田晴彦, 坂下 雅信	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その26 履歴減衰定数	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	浅井竜也, 勅使川原正臣, 楠浩一, 稲井栄一, 長江拓也, 高橋愛, 吉川拳人, 諏訪田晴彦, 向井智久	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その27 降伏変形評価手法の提案	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	中村緋奈美, 稲井栄一, 勅使川原 正臣, 楠浩一, 長江拓也, 迫田丈志, 太田勤, 諏訪田晴彦, 有木克良	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その28 高次モード成分を含む層せん断力の検討	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	太田勤, 勅使川原正臣, 楠浩一, 稲井栄一, 長江拓也, 丸山一平, 梶原浩一, 諏訪田晴彦, 福山洋	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その29 設計への提案	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
1	長江拓也	青木崇, 梶原浩一, 勅使川原正臣, 長江拓也	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その38: MEMSセンサを用いた試験体の付加計測について	日本建築学会大会学術講演梗概集	名古屋工業大学（オンライン）	20210900	2	2
2	山﨑雅人	山﨑雅人	カーボンプライシングと国際貿易	環境経済・政策学会 2021 年大会	オンライン	2021年9月	2	2

2	山﨑雅人	Masato Yamazaki, Atsushi Koike	Estimation of Freight Travel Time Savings through an Applied General Equilibrium Model	European Regional Science Association (ERSA) 60th ERSA Congress	オンライン	2021年8月	1	2
2	平山　修久	平山修久	災害廃棄物から考える我が国の災害対策	令和3年度第1回地方公共団体の危機管理に関する研究会	福岡市	20210511	2	1
2	平山　修久	平山修久，福和伸夫	旧耐震基準の住宅棟数減少と南海トラフ地震における災害廃棄物量低減量に関する検討	第49回（2021年度）地域安全学会研究発表会（秋季）	オンライン	20211031	2	2
2	Nagahisa Hirayama	Nagahisa Hirayama, Taiki Okano, and Jotaro Tamai	Emergency Restoration Strategy for Water Distribution System from the Viewpoint of Disaster Resilience Curves	Lifelines 2021-2022 Conference	online	2022.1.31-2.11	1	2
2	平山修久	平山修久	応急給水活動からみた災害拠点病院の災害時の水対策	第27回日本災害医学会総会・学術集会	広島市	2022.3.3-5	2	2
2	Nagahisa Hirayama	Nagahisa Hirayama, Hisato Nagata, Hideaki Kuzuhata, and Yoshiaki Kawata	Proposals for the 3Rs of Disaster Debris	The 8th 3R International Scientific Conference 3RINCs 2022	Online	2022.3.14-18	1	2
2	平山修久	平山修久	南海トラフ地震での災害拠点病院への応急給水解析	第26回名古屋大学−防災科学技術研究所　研究交流会	オンライン	2021.6.17	2	4
2	平山修久	平山修久	ポストコロナ時代における水道の危機管理を考える	愛知水と緑の公社　令和3年度第1回講演会	名古屋市	2021.8.4	2	1
2	平山修久	平山修久，市岡宗詢	南海トラフ地震時の災害拠点病院への応急給水数値解析モデル構築	第43回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム	オンライン	2021.7.30	2	2
2	平山修久	平山修久	発災時の企業の事業活動停止を防ぐ	防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト令和3年度全体会議	オンライン	2021.9.30	2	4
2	平山修久	平山修久	南海トラフ地震臨時情報	クボタ防災・危機管理講座	オンライン	2021.9.7	2	1
2	平山修久	平山修久	発災時の企業の事業活動停止を防ぐために	令和3年度情報発信検討会（事業継続）	オンライン	2021.10.8	2	4
2	平山修久	平山修久	住まいの安全と防災まちづくり	2021年度前期　防災・減災カレッジ（防災人材育成研修）	オンライン	2021.10.30	2	4
2	平山修久	平山修久	目標管理型での災害対応～災害時のリーダーの役割	広島市水道局企業経営管理セミナー	オンライン	2021.11.24	2	1
2	平山修久	平山修久，木全誠一，細川直史	近年の建物火災に対する消防水利に関する分析	日本災害情報学会第23回学会大会	オンライン	2021.11.27	2	2
2	平山修久	平山修久	都市災害論	愛知県消防学校令和3年度　地震防災科第16期	オンライン	2021.12.2	2	1
2	平山修久	平山修久	災害廃棄物について	新潟大学事業継続計画(BCP)に係る防災訓練	新潟大学	2021.12.10	2	1
2	平山修久	平山修久，市岡宗詢	災害拠点病院への応急給水からみた災害対策	令和3年度全国会議（水道研究発表会）	オンライン	2022.2.1	2	2
2	平山修久	平山修久	3.11の経験を活かし，これからの水道文化を考える	2021年度日本ダクタイル鉄管協会セミナー	オンライン	2022.2.18	2	1
2	平山修久	平山修久	臨時情報と災害拠点病院への応急給水確保について	令和3年度情報発信検討会（事業継続）	オンライン	2022.2.17	2	1
2	平山修久	平山修久	水道に求められる連携とは	日本水道協会中部地方支部　特別講演会	名古屋大学	2022.2.24	2	1
2	平山修久	平山修久	住まいの安全と防災まちづくり	2021年度前期　防災・減災カレッジ（防災人材育成研修）	オンライン	2021.7.31	2	4
2	平山　修久	平山修久，永田尚人，葛畑秀亮，河田惠昭	災害廃棄物3Rの推進に関する検討	第32回廃棄物資源循環学会研究発表会	岡山市	20211025	2	2
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍と現代社会を学び来たる大災害を乗り越える	愛知県消防学校初任科研修	愛知	2021.4.15	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の教訓を活かした防災・減災	全国市町村国際文化研修所	滋賀	2021.4.22	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	必ずくる大規模災害を乗り越える	沖縄県国際交流・人材育成財団	Web	2021.5.16	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	ホンネとホンキで大規模災害を凌ぐ	椙山女学園大学	愛知	2021.5.22	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	必ずくる大規模災害を乗り越える	四日市市防災士養成講座	Web	2021.6.5	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	災害史と社会	人と防災未来センター	兵庫	2021.6.8	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	近年の災害に学ぶ＆来たる災害を乗り越え災い転じて福となす	石油連盟	Web	2021.6.10	2	1

3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び現代を点検し将来の大災害に備える	未来創造講演会	Web	2021.6.12	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び来る大災害に備える	日本赤十字看護学会学術集会	Web	2021.6.15	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	防災概論	あいち防災減災カレッジ	Web	2021.6.17	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	必ず来る大震災、本当に必要な準備とは	みつばち会	Web	2021.6.18	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	近年の主な自然災害、耐震診断と補強	防災士研修	愛知	2021.6.19	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	研究分野を超え産官民と連携し国難災害を未然に防ぎ未来を拓く	イノベーション・ジャパン2021～大学見本市	Web	2021.6.22	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震に備えて～事前復興と防災産業育成～	減災連携シンポジウム	Web	2021.6.25	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	首都の防災対策	東京商工会議所災害対策委員会	東京	2021.7.5	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震臨時情報と緊急地震速報	緊急地震速報利用者協議会	Web	2021.7.6	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	必ずくる震災を乗り越えるために	2020年度赤十字血液シンポジウム	Web	2021.7.10	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	災害大国日本～過去に学び未来に備える～	J-Win Next Stage	Web	2021.7.20	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	日本文化と災害―歴史（地名等）、過去の被害―	高校生防災セミナー	Web	2021.7.26	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び児童生徒を守り生きる力を育み未来を拓く	新任校長研修防災講話	愛知	2021.7.26	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	地震防災教育：体感教材を通して耐震化を進める	JICA中南米研修	Web	2021.7.27	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	大震災で土木・建築職員が果たす役割	愛知県土木・建築技術系職員向け研修	愛知	2021.7.30	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学びその時に備える	春日井安全アカデミー	愛知	2021.8.2	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び生徒の生きる力を育み未来を拓く	愛知県教育委員会防災教育基礎研修	愛知	2021.8.6	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震や風水害から児童生徒を守るには	名古屋市校務主任研修	愛知	2021.8.19	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	地域主体で足元から備え複合する災禍を乗り越える	震災対策技術展	大阪	2021.8.20	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	必ずくる震災を乗り越えるため本音を語り本気で実践する、専門家から学ぶ地震の防災知識	守山生涯学習センター	愛知	2021.8.24	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去に学び生きる力を育み災禍を乗り越え未来を拓く	名古屋市教員免許更新講習	Web	2021.9.3	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び本当のことを話して必ずくる大災害を乗り越える	静岡県防災士養成講座	Web	2021.9.7	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ巨大地震に対する産業界の取り組みについて～本音を語り本気で実践し災禍を凌ぐ～	関西経済同友会	Web	2021.9.9	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	耐震安全性を視える化しよう！	日本建築センター	Web	2021.9.14	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び事業の継続を図る	名古屋青年会議所	Web	2021.9.18	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び本当のことを話して必ずくる大災害を乗り越える	名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座	Web	2021.9.26	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び本当のことを話して必ずくる大災害を乗り越える	豊川市役所	愛知	2021.9.27	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び来たる大災害から製造業を守る	中部IE協会	Web	2021.9.28	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震に備える	港区神宮寺小学校区	愛知	2021.10.3	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び来たる大災害に備える	東海北陸6県生協連合会	愛知	2021.10.8	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	防災概論	あいち防災減災カレッジ	Web	2021.10.9	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ今後の防災・減災	愛知県トップセミナー幹部級	愛知	2021.10.13	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍と現代社会を学び来たる大災害を乗り越える	愛知県消防学校初任科研修	愛知	2021.10.14	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	地震防災教育：体感教材を通して耐震化を進める	JICA中南米研修	Web	2021.10.26	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び来たる大災害で医療を継続する	藤田医大	愛知	2021.10.26	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震と防災・減災への対応	愛知県高圧ガス保安大会	愛知	2021.10.28	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	市民を守る自治体への提起、「共創」が新しい公助のカタチ。	防災推進国民大会	岩手	2021.11.7	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ南海トラフ地震への備え	昭和生涯学習センター	愛知	2021.11.11	2	1

3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ大規模災害への備え～主として都市、産業、構造物の立場から～	芦屋市防災士養成講座	兵庫	2021.11.13	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震臨時情報	つなぎ舎	愛知	2021.11.14	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍と現代社会を知ることで転禍為福～知彼知己者百戦不殆に倣って～	日本の進化を考える会	Web	2021.11.19	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ今後の防災・減災	愛知県トップセミナー課長級	愛知	2021.11.22	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ南海トラフ地震への備え	愛知県消防学校地震防災科	愛知	2021.12.2	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	耐震化推進のパラダイムシフトを！	耐震化アドバイザー養成講座	愛知	2021.12.4	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	防災・減災と地域生活圏	国土技術研究センター	Web	2021.12.6	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	温故知新で災害と付き合う建築	西山卯三記念すまい・まちづくり文庫	大阪	2021.12.11	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	歴史と現状の点検を通して今後の災禍を考える	内外情勢調査会京都支部	京都	2021.12.13	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ防災・減災まちづくり	災害に強いまちづくりセミナー	Web	2021.12.23	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震と防災・減災への対応	海部郡町村議会議長会議員研修会	愛知	2021.12.23	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び事業継続を考える	日本電機工業会(JEMA)名古屋支部	Web	2021.12.27	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ大震災への備え～食品業界の事業継続のために～	食品産業文化振興会	Web	2022.1.19	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	今年の話題と南海トラフ地震対策	NSL	Web	2022.1.20	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ大規模災害への備え～主として都市、産業、構造物の立場から～	ひょうご防災リーダー講座	兵庫	2022.1.22	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	必ず来る南海トラフ地震に備え今何をすべきか？	愛知県防災対策有識者懇談会委員防災勉強会	Web	2022.1.24	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ今後の大災害への備え	豊田足助地区コミュニティ会議	愛知	2022.1.29	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び本当のことを話して必ずくる大災害を乗り越える	名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座	愛知	2022.2.5	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学ぶ今後の大災害への備え	市町村アカデミー	千葉	2022.2.7	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	大地震を前に待ったなしの耐震化	4県3市の「住宅・建築物耐震関係担当者情報交換会」	Web	2022.2.9	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	温故知新と転禍為福で未来を拓く	日本商工会議所	東京	2022.2.17	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	過去の災禍に学び大規模災害に備える	阿久比町防災講演会	愛知	2022.2.19	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	温故知新と転禍為福で大震災を乗り越え未来の夢を描く	建築研究所講演会特別講演	東京	2022.3.4	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	温故知新で大規模災害に備える、	桜台高校	愛知	2022.3.8	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	温故知新で大規模災害に備える、	中京高校	愛知	2022.3.14	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	耐震安全性を視える化しよう！	日本建築センター	Web	2022.3.17	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	南海トラフ地震への備えと地震後の未来を考える	幸田町防災シンポジウム	愛知	2022.3.24	2	1
3	福和伸夫	福和伸夫	転禍為福で中部の未来を拓く	中部経済連合会企業防災委員会	愛知	2022.3.28	2	1
3	平井敬	平井敬	大沢家本願寺関係文書に記された安政東海・南海地震	第38回歴史地震研究会（苫小牧大会）	オンライン	Sep-21	2	3
3	平井敬	高橋広人, 平井敬, 護雅史, 鈴木晴彦	微動記録を用いた地震波干渉法による地下構造探査の試み	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	西山紗代, 平井敬, 護雅史	微動水平上下スペクトル比の異方性に着目した不整形地盤検出手法に関する研究	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	石川舞花, 平井敬, 高橋広人, 福和伸夫	微動源の特性と配置が分散曲線推定結果に及ぼす影響　常時微動シミュレーションに基づく検討	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	吉原明里, 藤井智規, 平井敬, 福和伸夫, 飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その1（常時微動計測及び加振実験結果に基づく補修前後の比較）	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	藤井智規, 吉原明里, 平井敬, 福和伸夫, 飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その2（構造モデルによる検討）	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	吉岡優樹, 平井敬, 飛田潤, 福和伸夫	自動車を用いた高密度地震観測のための車両振動計測	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	大田川駿也, 平井敬, 福和伸夫	多様なセンサーに対応した総合的波形分析・可視化システムの開発　その1：時系列データのオブジェクト指向分析と波形処理 Web システムの設計	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2

3	平井敬	平井敬, 福和伸夫	多様なセンサーに対応した総合的波形分析・可視化システムの開発　その2　センサーの性能評価とリアルタイム波形処理	日本建築学会2021年度大会	オンライン	Sep-21	2	2
3	平井敬	平井敬	災とSeeing連携企画「濃尾地震から130年～改めて内陸型地震への備えを考える」	第119回げんさいカフェ	オンライン	Oct-21	2	1
3	平井敬	平井敬, 吉岡優樹	低周波数サンプリングの加速度記録に適用可能なリアルタイム震度演算法	日本地震学会2021年度秋季大会	オンライン	Oct-21	2	3
3	平井　敬	平井敬, 吉岡優樹	低周波数サンプリングの加速度記録に適用可能なリアルタイム震度演算法	日本地震学会2021年度秋季大会	オンライン	20211015	2	2
3	武村雅之	H. Nakai, M. Takemura ,M. Sakamoto	Re-Evaluation of Seismic Intensity Distribution and Damage Characteristics of the 1945 Mikawa Earthquake	17th World Conference on Earthquake Engineering（第17回世界地震工学会議）	仙台国際センター	2021年9月	1	3
3	武村雅之	武村雅之	生誕150周年記念、今村明恒と関東大震災	第11回震災予防講演会（日本地震工学会）	パシフィコ横浜・アネックスホール	2021年3月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	復興百年誌―現代に生きる関東大震災	かわさき市民アカデミー	新百合21ﾋﾞﾙ多目的ホール	2021年6月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	関東大震災から98年-復興の歴史からこれからの防災を考える	減災カフェ	名古屋大学減災館	2021年8月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	関東大震災から学ぶ防災哲学の重要性	第9回首都防災ウィーク講演会（パネルDS）	東京都慰霊堂	2021年9月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	「首都直下地震への備え」(2)関東大震災からの教訓	日本記者クラブ記者会見	遠隔（日本記者クラブ）	2021年9月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	復興百年誌―現代に生きる関東大震災	連続講演会3.11東日本大震災10年目の課題と21世紀の災害に備えて-関東大震災百年の節目と「災害の世紀」の防災・減災戦略	遠隔（神奈川大学）	2021年11月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	大正12年関東大震災後の帝都復興事業に学ぶ	第12回震災予防講演会（日本地震工学会）	パシフィコ横浜・アネックスホール	2022年2月	2	1
3	武村雅之	武村雅之	関東大震災と東京ー寺院移転の実態と現状	第 38回歴史地震研究会	遠隔開催	2021年9月	2	2
3	武村雅之	武村雅之	1923（大正12）年関東大震災後の帝都復興事業に学ぶ-現代東京はなぜ首都直下地震に怯えなければならないのか？	日本地震工学会・大会2021	遠隔開催	2021年11月	2	2
3	武村雅之	武村雅之	大正12(1923)年関東大震災での東京における寺院移転の実態と現状	第21回日本災害情報学会	遠隔開催	2021年11月	2	2
3	武村雅之	武村雅之	大正12年関東大震災後の東京における寺院大移動の実態	第15回中部「歴史地震」研究懇談会	名古屋大学	2021年12月	2	2
3	武村雅之	久永哲也・内田篤貴・椋代大暉・佐々木哲朗・小川典芳・浦谷裕明・武村雅之・都築充雄	東海地における南海トラフ沿いの歴史地震津波に関する現地調査結果について（その3）	第 37回歴史地震研究会	遠隔開催	2021年9月	2	3
3	武村雅之	武村雅之	(講義)「災害史に学ぶ」(地震防災)	全学共通講義（大学教育センター）	遠隔（静岡大学）	2021年5月	2	4
3	武村雅之	武村雅之	(講義)歴史地震学に学ぶ防災論	全学教養科目「切迫する自然災害に備えて」	遠隔（名古屋大学）	2021年7月	2	4
3	武村雅之	武村雅之	(講義)防災概論：国家存亡の機を招いた惟一の震災	令和3年度防災・減災カレッジ（前期）	遠隔	2021年6月	2	4
3	武村雅之	武村雅之	(講義)：震災・防災概論：国家存亡の機を招いた唯一の震災	総合看護実習	一ノ宮研伸大学	2021年9月	2	4
3	武村雅之	武村雅之	(講義)防災概論：国家存亡の機を招いた惟一の震災	令和3年度防災・減災カレッジ（後期）	遠隔	2021年10月	2	4
3	武村雅之	武村雅之	(講義)「災害史に学ぶ」(地震防災)	全学共通講義（大学教育センター）	遠隔（静岡大学）	2021年12月	2	4
3	武村雅之	武村雅之	(講義)強震動・地震災害史	ふじのくに防災フェロー養成講座	静岡大学	2021年12月	2	4
3	倉田和己	穴井英之, 倉田和己, 荒木裕子, 新井伸夫, 平山修久	中核市自治体における住民の避難意向に関する調査　その1～河川氾濫における避難について	第48回　地域安全学会研究発表会（春季）	オンライン	2021年5月	2	2
3	倉田和己	倉田和己, 穴井英之, 荒木裕子, 新井伸夫, 平山修久	中核市自治体における住民の避難意向に関する調査　その2～南海トラフ臨時情報について	第48回　地域安全学会研究発表会（春季）	オンライン	2021年5月	2	2

3	倉田和己	倉田和己, 高橋広人	「表層地盤モデル」という概念的データの可視化による地震災害リスクコミュニケーションツールの開発	日本建築学会大会学術講演会	オンライン	2021年9月	2	2
3	倉田和己	佐多宏太, 浪越圭一, 井下大輔, 倉田和己, 新井伸夫	車両動態データを用いた災害発生72時間以降の道路復旧指針導出法	日本災害情報学会 第23回学会大会	オンライン	2021年11月	2	2
3	倉田和己	倉田和己	今と昔の地形を比べて豊川の防災を考える	豊川市ファミリー防災講座	豊川市	2021年8月	2	1
3	倉田和己	倉田和己	情報技術を活用した防災・減災	四日市市防災講座	四日市市	2021年7月	2	1
3	西川智	西川智	首都直下地震・南海トラフ地震など広域巨大災害にどう備える？企業のBCP	大手町・丸の内・有楽町防災隣組	東京都千代田区大手町	2021/05/24	2	1
3	西川智	西川智	首都直下地震・南海トラフ地震など広域巨大災害にどう備える？企業のBCPとコロナウィルス禍	財団法人都市防災研究所SHIP研究会	東京都千代田区丸の内	2021/05/24	2	1
3	西川智	西川智	Investing in Disaster Risk Reduction for a Resilient Society	ADRC online DRR Seminar	オンライン	2021/06/15	1	1
3	西川智	西川智	日本の防災行政の変遷	防災・減災カレッジ	オンライン	2021/07/09	2	1
3	西川智	西川智	El progreso de las políticas de prevención de desastres de Japón	JICA – Curso de Difusión y Mejora de las Técnicas Edilicias Antisísmicas de América Central y Sur	オンライン, JICA	2021./07/21	1	1
3	西川智	西川智	Investing in Disaster Risk Reduction for Resilient Infrastructure	ananta aspen centre India-Japan Partnership Perspectives A special session on “Disaster Management and Building Resilient Infrastructure”	オンライン, India	2021/07/29	1	1
3	西川智	西川智	企業の事業継続(BC):何のため？	名古屋商工会議所オンラインセミナー	オンライン、名古屋	2021/08/26	2	1
3	西川智	西川智	Institutional Development of Earthquake Disaster Reduction and Fostering the Culture of Prevention	Webinar on Earthquake Disaster Prevention and Mitigation in California	オンライン、サンフランシスコ日本総領事館	2021/09/01	1	1
3	西川智	西川智	California and Japan share a history of natural disaster assistance research collaboration to save lives	California Governor's Office of Emergency Services podcast	オンライン、カリフォルニア州	2021/09/09	1	1
3	西川智	西川智	Institutional Development of Disaster Reduction Administration and Enlargement of Scope & Participation in Disaster Reduction	ICU-NOHA online course	オンライン、ICU NOHA course	2021/09/08	1	1
3	西川智	西川智	陸域と海域をまたがる新たな資源循環で一石四鳥のwin-win-win-winを！	首都防災ウィーク防災フォーラム	東京都墨田区	2021/09/04	2	1
3	西川智	西川智	巨大広域災害：南海トラフ地震に企業はどう備える？	グローバル・コンパクト・ジャパンDRR分科会	オンライン	2021/09/07	2	1
3	西川智	西川智	地震でもコロナウィルス禍でも生き残るため：企業のBCP	あいちサイエンスフェティバル2021 サイエンストーク	オンライン、名古屋大学	2021/10/01	2	1
3	西川智	西川智、橋冨彰吾、野村一保、清水智、荒木裕子	Identification of Bottlenecks of Business Recovery from Wide-Area Earthquake & Flood Disaster	17WCEE	仙台国際会議場	2021/09/28	1	1
3	西川智	長谷川浩一、Abaseyev、加藤孝明、西川智	METHODOLOGY FOR DRR CITY PLANNING BASED ON SEISMIC HAZARD ASSESSMENT AND MONITORING SYSTEM IN ASHGABAT	17WCEE	オンライン	2021/09/28	1	2
3	西川智	倉田和己、千葉啓広、橋冨彰吾、新井伸夫、西川智	IDENTIFICATION OF IMPORTANT ROADS FOR SWIFT ECONOMIC RECOVERY AND SUSTAINABILITY OF LOCAL INDUSTRIES AFTER EARTHQUAKES	17WCEE	オンライン	2021/09/28	1	2
3	西川智	西川智	首都直下地震・南海トラフ地震など広域巨大災害にどう備える？企業のBCP	日本建設業連合会	東京都中央区	2021/10/05	2	1
3	西川智	西川智	巨大広域災害：南海トラフ地震にどう備える？　企業のBCP	マル卉会東海地区会BCP研修会	オンライン	2021/10/22	2	1
3	西川智	西川智	Ichi-Nichi-Mae (the Day before the Disaster) Project for landslide Awareness and Risk Communication	5th World Landslide Forum	京都国際会議場	2021/11/04	1	2
3	西川智	西川智	陸域と海域をまたがる新たな資源循環の合意で一石四鳥のwin-win-win-winを！	ぼうさい国大 震災廃棄物(コンクリート構造物を大割で解体したブロック(シティコンと呼ぶ))を利用した海の食料増産	オンライン	2021/11/06	2	2
3	西川智	西川智	個社単独のBCPは成立するか？	ぼうさい国大 これからの事業継続に必要な要素	オンライン	2021/11/07	2	2

3	西川智	西川智	Identification of Risks to enable Preventive Investment	Bulgaria-Japan-Western Balkans Workshop on Seismic Risk Challenges	オンライン、ブルガリア	2021/11/09	1	1
3	西川智	西川智	Institutional Development of Earthquake Disaster Reduction and Fostering the Culture of Prevention	Bulgaria-Japan-Western Balkans Workshop on Seismic Risk Challenges	オンライン、ブルガリア	2021/11/11	1	1
3	西川智	西川智	もし、あの災害の一日前に戻れたなら～800人余の証言から～	豊川市防災講演会	愛知県豊川市	2021/12/11	2	1
3	西川智	西川智	中小企業向け風水害・土砂災害、大雪、竜巻・風害の知識と対策	BCAO中小企業普及啓発セミナー	オンライン	2021/11/30	2	1
3	西川智	西川智	震災発生時のリスクに備える～様々な状況を想定して～	「新しい生活様式」で見直す防災	名古屋市西生涯学習センター	2022/01/15	2	1
3	西川智	西川智	巨大広域災害：南海トラフ地震にどう備える？　企業のBCP	災害の時代に企業に何が求められるのか？～22ビジョンに向けた学習会愛知中小企業家同友会	オンライン、名古屋市	2022/01/18	2	1
3	西川智	西川智	企業のBCP：コロナ禍を乗り越え、南海トラフに備えるために	清須市商工会事業継続に関する集団講習会	愛知県清須市	2022/01/19	2	1
3	西川智	西川智	中有小企業向け地震・津波、噴火、火災の知識と対策	BCAO中小企業普及啓発セミナー	オンライン	2022/01/31	2	1
3	西川智	西川智	企業のBCP：コロナ禍を乗り越え、今後の大災害に備えるために	「事業継続力強化計画」策定講座	福井県敦賀市	2022/02/03	2	1
3	西川智	西川智	Identification of Risks to enable Preventive Investment – the Japanese Experience –	The 4th Spatial Planning Platform Meeting	オンライン	2022/02/09	1	1
3	西川智	西川智、小野裕一、奥村誠	科学的知見を防災・減災（DRR）政策へつなげる。−災害統計のこれから−	東北大学災害科学国際研究所 鼎談	東北大学災害科学国際研究所	2021/12/14	2	1
3	西川智	西川智	日本の防災行政の変遷	防災・減災カレッジ	オンライン	2021/11/26	2	1
3	荒木　裕子	穴井英之，倉田和己，新井伸夫，荒木裕子，平山修久	中核市自治体における住民の避難意向に関する調査　その1　河川氾濫における避難について	地域安全学会第48回研究発表会（春季）	オンライン	20210521	2	2
3	荒木　裕子	倉田和己，穴井英之，荒木裕子，新井伸夫，平山修久	中核市自治体における住民の避難意向に関する調査　その2　南海トラフ臨時情報について	地域安全学会第48回研究発表会（春季）	オンライン	20210521	2	2
3	荒木　裕子	岡田恵実，高橋拓也，荒木裕子，新井伸夫	豊橋市役所における横のつながりを考える研修	地域安全学会第49回研究発表会（秋季）	オンライン	20211031	2	
3	荒木　裕子	荒木裕子，新井伸夫，倉田和己，千葉啓広，野村一保，荒川由貴，高橋拓也，角田望美，加藤拓，福和伸夫	組織間連携を目的とした防災研修プログラムの開発プロセスと枠組みに関する考察	地域安全学会第49回研究発表会（秋季）	オンライン	20211031	2	2
3	荒木　裕子	荒木裕子	被災現場の知見をいかにつないでいくのか?実務者と研究者の共創的 取り組み?	ぼうさいこくたい2021公開シンポジウム「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは～防災統合知の構築戦略～」	岩手県・オンライン	20211106	2	4
3	荒木　裕子	荒木裕子，新井伸夫，倉田和己，千葉啓広，福和伸夫	組織間連携構築のための「住」をテーマとした防災研修プログラムの開発	2021年度日本建築学会大会	オンライン	20210910	2	2
3	荒木　裕子	荒木裕子，鳥居朱里，福和伸夫	「住まい」をテーマとした構成要素の構造化と災害による変化を表現する試み	地域安全学会第48回研究発表会（春季）	オンライン	20210521	2	2
3	荒木　裕子	荒木　裕子	避難生活の実態 －大規模災害の事例から学ぶ―	令和3年度中村生涯学習センター前期講座	名古屋市	20210528	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	名古屋大学における防災人材育成の取り組み～あいち・なごや強靭化共創センターとの連携～	東海圏減災研究コンソーシアムシンポジウム	オンライン	20210602	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	避難所運営－被災後の課題と取り組み－	防災減災カレッジ	オンライン	20210821	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	行政の 災害救助・応急対応	清流の国ぎふ防災リーダー養成講座	オンライン	20210823	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	在宅避難を考える	令和3年度県地区総合防災訓練	四日市市	20211024	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	避難所運営－被災後の課題と取り組み－	防災減災カレッジ	オンライン	20211204	2	1

3	荒木　裕子	荒木　裕子	自治体の災害対応	愛知県消防学校研修	名古屋市	20211203	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	大規模災害時の避難者支援 －市民協働の視点からの防災対策－	小牧市防災講演会	小牧市	20220115	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	大規模な住民避難が必要になったら～伊勢湾台風時の最新研究から～	げんさいカフェ	オンライン	20220215	2	1
3	荒木　裕子	荒木　裕子	災害時の自主防災会の活動について	南知多町地域防災リーダー養成講座	南知多町	20220219	2	1
3	新井　伸夫	新井伸夫、乙津孝之、本橋昌志、岩國真紀子	竜巻をターゲットとしたインフラサウンド観測の試み	日本音響学会騒音振動研究会	岡山市	20211220	2	2
3	新井　伸夫	新井伸夫	道路啓開を担う地場の建設会社の災害対応能力の検討	地域安全学会春季研究発表会	オンライン	20210521	2	2
3	新井　伸夫	新井伸夫	災害時における社会活動のモニタリング	日本建築学会大会学術講演会	オンライン	20210910	2	2
3	新井　伸夫	濱内洋孝、新井伸夫	中小企業の地域防災への貢献の可能性に関する調査	日本災害情報学会第23回学会大会	オンライン	20211127	2	2
3	新井　伸夫	岩國 真紀子, 山本 真行, 齊藤 大晶, Islam HAMAMA, 新井伸夫, 乙津 孝之, 野上 麻美, 村山 貴彦	2020年11月29日未明に飛行した火球に起因する微気圧振動波形	日本地球惑星科学連合大会	オンライン	20210606	2	2
3	新井　伸夫	山本 真行、新井 伸夫、乙津 孝之、西村 竜一、大井 拓磨、中島 健介、上田 英樹、岩國 真紀子、柿並 義宏、日置 幸介、Hamama Islam	全国インフラサウンド観測コンソーシアムによる2021年2月13日福島県沖M7.3地震発生時の多地点微気圧観測結果速報	日本地球惑星科学連合大会	オンライン	20210606	2	2
3	平井　敬	平井敬	災とSeeing連携企画「濃尾地震から130年～改めて内陸型地震への備えを考える」	第119回げんさいカフェ	名古屋大学	20211013	2	1
3	平井　敬	平井敬	大沢家本願寺関係文書に記された安政東海・南海地震	第38回歴史地震研究会（苫小牧大会）	オンライン	20210902	2	3
3	平井　敬	高橋広人, 平井敬, 護雅史, 鈴木晴彦	微動記録を用いた地震波干渉法による地下構造探査の試み	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
3	平井　敬	西山紗代, 平井敬, 護雅史	微動水平上下スペクトル比の異方性に着目した不整形地盤検出手法に関する研究	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
3	平井　敬	石川舞花, 平井敬, 高橋広人, 福和伸夫	微動源の特性と配置が分散曲線推定結果に及ぼす影響　常時微動シミュレーションに基づく検討	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
3	平井　敬	吉原明里, 藤井智規, 平井敬, 福和伸夫, 飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その1（常時微動計測及び加振実験結果に基づく補修前後の比較）	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
3	平井　敬	藤井智規, 吉原明里, 平井敬, 福和伸夫, 飛田潤	文化財茶室・書院建築の振動特性その2（構造モデルによる検討）	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
3	平井　敬	吉岡優樹, 平井敬, 飛田潤, 福和伸夫	自動車を用いた高密度地震観測のための車両振動計測	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
3	平井　敬	大田川駿也, 平井敬, 福和伸夫	多様なセンサーに対応した総合的波形分析・可視化システムの開発　その1：時系列データのオブジェクト指向分析と波形処理 Web システムの設計	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2

3	平井　敬	平井敬, 福和伸夫	多様なセンサーに対応した総合的波形分析・可視化システムの開発　その2　センサーの性能評価とリアルタイム波形処理	日本建築学会2021年度大会		20210910	2	2
4	都築　充雄	都築充雄	三河地震(1945)における三河地方の寺院被害状況の整理	第 38回歴史地震研究会	オンライン苫小牧大会	20210903	2	
4	都築　充雄	都築充雄	安政東海地震(1854)における愛知県の寺院被害状況の整理（その2)西三河地方における寺院被害分布	日本建築学会2021年度大会（東海）	オンライン東海大会	20210909	2	
4	利藤　房男	利藤房男	地震で被害を受けた大規模盛土の物性評価	第56回地盤工学研究発表会	オンライン	20210715	2	2
4	利藤　房男	利藤房男	令和元年東日本台風による神奈川県箱根町の斜面崩壊と関東地震との関連性	令和3年度　土木学会　第76回年次学術講演会	オンライン	20210909	2	2
5	田代喬	田代喬	流域治水の時代の川づくりに対する期待	これからの川づくりを考えるフリートーク＆セッション～研究者×土木研究所×コンサル技術者×中部地整が集う！「多自然川づくりの振り返りと今後の川づくりへのメッセージ」(主催：国土交通省中部地方整備局／後援：応用生態工学会名古屋)	岐阜／オンライン	2021/05/20	2	1
5	田代喬	田代喬	水害版事業継続計画（BCP）の策定・実践のために	令和3年度社会連携部門研究発表会	名古屋大学減災連携研究センター／オンライン	2021/05/25	2	1
5	田代喬	田代喬	伊勢湾台風を教訓に～今後の水害に備える～	令和3年度熱田生涯学習センター前期講座「水害への備え　整っていますか？」	熱田生涯学習センター	2021/05/27	2	1
5	田代喬	田代喬	伊勢湾台風を教訓に～今後の水害に備える～	令和3年度熱田生涯学習センター前期講座「水害への備え，整っていますか？」	熱田生涯学習センター	2021/05/27	2	1
5	田代喬	田代　喬，陀安一郎	濃尾平野西部を流れる揖斐川水系津屋川に生じた過去数十年間における堆積速度の変動	日本地球惑星科学連合（JpGU）2021年大会	オンライン	2021/06/03	2	3
5	田代喬	田代喬	川づくりはコーディネート（パネリスト）	愛知・川の会2021記念講演会「治水と環境との調査―流域治水でその展望をどう拓くの	オンライン	2021/07/02	2	1
5	田代喬	田代喬	風水害について～過去の被災に学び，今後の風水害に備えるために～	四日市市防災大学／四日市市防災・減災女性セミナー（防災士養成研修）	四日市市消防本部	2021/07/03	2	1
5	田代喬	田代喬	近年の水害からの教訓に学び，備えるために	2021年東三河地域問題セミナー第1回公開講座（主催：公益社団法人東三河地域研究センター）	豊橋商工会議所	2021/07/05	2	1
5	田代喬	田代喬	水害と避難	防災人材育成研修「防災・減災カレッジ」市民防災コース（主催：あいち防災協働社会推進協議会，あいち・なごや強靭化共創センター）	オンライン	2021/07/17	2	1
5	田代喬	田代喬	水害を知る	令和3年度高大連携高校生防災セミナー（愛知県教育委員会）	オンライン	2021/07/27	2	1
5	田代喬	Min, A.K. and Tashiro, T.	Evaluating the pluvial flood using monitoring and modelling in a lowland urban area with the drainage system composed of sewer and open channel networks	AOGS2021 Virtual, the 18th Annual Meeting of the Asia Oceania Geosciences Society	Online	2021/08/05	1	2
5	田代喬	Nozaki, K., Matsumoto, Y., Taniguchi, T. and Tashiro, T.	Relationship between propagation of a filamentous green alga, Klebsormidium flaccidum, and DIC concentration in a volcanic acidified spring water at southern part of Mount Ontake, central Japan	SIL 2021, 35th Congress of the International Society of Limnology	Gwangju, Republic of Korea/Online	2021/8/26	1	2
5	田代喬	田代　喬，陀安一郎	堆積速度と災害・改修履歴からみた揖斐川水系津屋川における近年の土砂動態	日本陸水学会第85回大会	オンライン	2021/09/20	2	3
5	田代喬	野崎健太郎, 松本嘉孝, 谷口智雅, 宇佐見亜希子, 田代　喬	火山性無機酸性湧水における糸状緑藻 *Klebsormidium flaccidum* の繁茂と溶存無機態炭素濃度との関係	日本陸水学会第85回大会・課題講演	オンライン	2021/09/21	2	2
5	田代喬	田代 喬	ダム貯水池を有する火山山麓河川の底生動物群集とその時空間的変異	日本陸水学会第85回大会・課題講演	オンライン	2021/09/21	2	2
5	田代喬	宇佐見亜希子，田代　喬，松本嘉孝，江端一徳，谷口智雅，八木明彦，岩月栄治	火山山麓に湧出する二酸化炭素ガスと湧水の影響をうけた河川水の特性	日本陸水学会第85回大会・課題講演	オンライン	2021/09/21	2	2
5	田代喬	田代 喬	火口を集水域に含む河川の底生動物群集	応用生態工学会第24回研究発表会自由集会「2014年御嶽山噴火以降の河川環境の現状と生物の営み」	札幌/オンライン	2021/09/23	2	1

5	田代喬	田代 喬, 溝口裕太, 宮川幸雄	見た目の河床環境を高密度・高精度な水深分布から診断する	応用生態工学会第24回研究発表会	札幌/オンライン	2021/09/24	2	2
5	田代喬	溝口裕太, 宇佐美将平, 小野田幸生, 田代 喬, 宮川幸雄, 中村圭吾	なわばりアユが好む環境とは？：環境因子による工学的評価に関する考察	応用生態工学会第24回研究発表会	札幌/オンライン	2021/09/24	2	2
5	田代喬	宮川幸雄, 溝口裕太, 田代喬, 中村圭吾	付着藻類の現存量に対する礫中間径, 水深, 流速の相対的な重要度	応用生態工学会第24回研究発表会	札幌/オンライン	2021/09/24	2	2
5	田代喬	輪地紗良, 土居秀幸, 田代喬, 原田守啓, 竹門康弘, 片野 泉	ダム下流に生息するシマトビケラ科幼虫の脂質割合における季節変化	応用生態工学会第24回研究発表会	札幌/オンライン	2021/09/24	2	2
5	田代喬	田代喬	近年の風水害に学び, しなやかに備える	岡崎市商工会議所交通部会10月例会	岡崎商工会議所	2021/10/07	2	1
5	田代喬	田代喬	近年の風水害から学ぶ	警備災害専修教養特別講義	愛知県警察本部	2021/11/11	2	1
5	田代喬	田代喬	水害リスクを理解して備える	警備災害専修教養特別講義	愛知県警察本部	2021/11/11	2	1
5	田代喬	田代喬	洪水氾濫の脅威と備え	名古屋大学土木系教室60周年記念オンライン・シンポジウム「変革期の今考える, 中部の未来像～社会インフラの視点から～」	オンライン	2021/11/13	2	1
5	田代喬	田代 喬, 陀安一郎	濃尾平野西縁の近代以降の堆積環境	第42回陸水物理学会大会	名古屋/オンライン	2021/11/20	2	2
5	田代喬	松本嘉孝, 宇佐見亜希子, 野崎健太郎, 田代 喬, 江端一徳, 谷口智雅	御嶽山南麓河川の水質分布と季節変化について	第42回陸水物理学会大会	名古屋/オンライン	2021/11/21	2	2
5	田代喬	宇佐見亜希子, 田代 喬, 松本嘉孝, 江端一徳, 谷口智雅, 坪井秀樹, 青山晃太, 八木明彦, 岩月栄治	火山山麓のダム減水区間における湧水と付随ガスによる水環境の特性	第42回陸水物理学会大会	名古屋/オンライン	2021/11/21	2	2
5	田代喬	野崎健太郎, 松本嘉孝, 谷口智雅, 宇佐見亜希子, 田代 喬	火山性無機酸性湧水における糸状緑藻Klebsormidium flaccidumの繁茂と溶存無機態炭素濃度との関係	第42回陸水物理学会大会	名古屋/オンライン	2021/11/21	2	2
5	田代喬	田代喬	最近の豪雨を巡る状況を考える	水道顧問技師会中部支部・令和3年度秋の研修会	ウィルあいち	2021/12/08	2	1
5	田代喬	田代喬	風水害の特性やそれに対する備え	中部管区警察局・広域緊急援助隊警備指揮専科	中部管区警察学校	2021/12/17	2	1
5	田代喬	田代喬	水害への備え：あふれる川とともに生きる	愛西deカレッジ～市民大学講座～川と共に生きる	佐織公民館	2022/01/23	2	1
5	田代喬	田代喬	豪雨災害の予測と対策	磐田市危険物安全協会保安研修会	オンライン	2022/01/27	2	1
5	田代喬	椿 涼太, 田代	可視化表面流速分布データを利用した河川の水深分布の推定	第24回日本陸水学会東海支部会研究発表会	豊田/オンライン	2022/02/19	2	2
5	田代喬	宇佐見亜希子, 田代 喬, 野崎健太郎, 松本嘉孝, 江端一徳, 谷口智雅, 坪井秀樹, 青山晃太, 八木明彦, 岩月栄治	火山山麓の酸性湧水と付随 CO2 ガスで構成される水圏環境の水質と河床付着物との相互作用	第56回日本水環境学会年会	富山/オンライン	2022/03/16	2	2
5	北川 夏樹	北川 夏樹, 蛭川 理紗, 菅沼淳, 都築 充雄	COVID-19感染症蔓延に伴う「緊急事態宣言」発出による電力需要への影響分析	第12回「インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」	オンライン	20220106	2	

5	北川　夏樹	北川 夏樹，蛭川 理紗，西川 智	「一日前プロジェクト」体験談の読了による防災意識の変容に関する一考察	地域安全学会第48回研究発表会（春季）	オンライン	20210521	2	
5	北川　夏樹	北川　夏樹，山本　俊行	入浴支援システム「EFURO」活用による 官民連携の円滑化に関する試み	第64回　土木計画学研究発表会・秋大会	オンライン	20211205	2	
5	北川　夏樹	北川　夏樹，豊嶋　佳尚	プール水のろ過による災害時の応急水源確保に関する試み	第12回「インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」	オンライン	20220106	2	

教員の論文賞・学会賞等の受賞一覧

（注）
・受賞は、本学において行った研究の成果に対し、2021年度中に学外の団体から授与されたものであること
・第二受賞者以降でも可

1 研究連携部門 2 社会連携部門 3 強靱化共創部門 4 寄附部門 5 産学連携部門 4 研究員など	本センターの教員名				
部門	**氏名**	**受賞者**	**賞の名称**	**授与者名**	**受賞年月**
3	福和伸夫	福和伸夫	兵庫県功労者	兵庫県	2021.5
3	武村雅之	武村雅之	名誉会員認定	日本地震工学会	2021年5月

教員の委員会一覧

（注）
・2021年度中のもの

1 研究連携部門 2 社会連携部門 3 強靱化共創部門 4 寄附部門 5 産学連携部門 4 研究員など	本センターの教員名				
部門	**氏名**	**委員会名**	**立場**	**出資先**	**期間**
1	鷺谷　威	Earth, Planets and Space編集委員会	委員長	日本地震学会、日本測地学会、日本火山学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本惑星科学会	2021～2024年度
1	鈴木康弘	日本地理学会	代議員	日本地理学会	2010年度-
1	鈴木康弘	日本活断層学会	事務局長	日本活断層学会	2007年度-
1	鈴木康弘	都市圏活断層図作成委員会	委員・幹事	国土地理院	1995年度-
1	鈴木康弘	日本学術会議	連携会員	日本学術会議	2011年度-
1	鈴木康弘	地震調査委員会	専門委員	地震調査研究推進本部	1995年度-
1	鈴木康弘	日本地理学会災害対応委員会	委員長	日本地理学会	2019年度－
1	鈴木康弘	日本活断層学会	理事	日本活断層学会	2020年度－
1	鈴木康弘	日本地球惑星科学連合	代議員	日本地球惑星科学連合	2018年度－
1	鈴木康弘	日本地球惑星科学連合地球人間圏セクション	プレジデント	日本地球惑星科学連合	2020年度－
1	鈴木康弘	日本学術会議地理教育分科会	委員	日本学術会議	2020年度－
1	鈴木康弘	日本学術会議地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会	副委員長	日本学術会議	2020年度－
1	鈴木康弘	日本学術会議地球惑星科学委員会IGU分科会	委員長	日本学術会議	2020年度－
1	鈴木康弘	国際地理学連合(IGU)日本委員会	委員長	国際地理学連合	2020年度－
1	鈴木康弘	日本学術会議地球惑星科学委員会IGU分科会地名標準化小委員会	委員	日本学術会議	2020年度－
1	鈴木康弘	日本学術会議防災学術連携委員会	委員	日本学術会議	2020年度－
1	鈴木康弘	活断層自治体連携会議	世話人	活断層自治体連携会議	2016年度－
1	飛田潤	構造性能評価委員会	委員	(株)確認サービス	
1	飛田潤	愛知建築地震災害軽減システム研究協議会幹事会	幹事	愛知建築地震災害軽減システム研究協議会	
1	飛田潤	日本建築学会強震観測小委員会	委員	日本建築学会	
1	飛田潤	大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会	構成員	環境省中部地方環境事務所	
1	飛田潤	耐震診断判定部会並びに耐震改修評定部会委員	委員	愛知県建築住宅センター	
1	長江拓也	日本建築学会 大地震時耐震性能評価小委員会 二次部材性能・コスト評価WG	主査	日本建築学会	202104-202303
1	長江拓也	日本建築学会 大地震時耐震性能評価小委員会	委員	日本建築学会	202104-202303
1	長江拓也	コンクリート系次世代高耐震構法研究開発ワーキング	委員	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	201507-202203

1	長江拓也	基整促S30「鉄筋コンクリート造の限界耐力計算における応答変位の算定精度向上に向けた建築物の振動減衰性状の評価方法の検討」	委員	国土交通省	201804-202203
1	長江拓也	BCP設備耐震設計指針 編集委員会	委員	日本建築センター	202104-202203
1	長江拓也	建築設備耐震設計・施工指針における実務上のポイント 編集委員会	委員	日本建築センター	202104-202203
1	長江拓也	Guidelines for Seismic Design and Construction of Building Equipment 2014 Edition 編集委員会	委員	日本建築センター	202104-202203
3	福和伸夫	日本工学アカデミー	会員		2016年度～
3	福和伸夫	司法支援建築会議	委員	日本建築学会	2001年度～
3	福和伸夫	生産技術研究所	リサーチフェロー	東京大学	1997年度～
3	福和伸夫	防災研究所巨大災害研究センター運営協議会	委員	京都大学	2004年度～
3	福和伸夫	地震研究所協議会	協議員	東京大学	2010年度～
3	福和伸夫	地域防災研究センター評価委員会	委員長	愛知工業大学	2016年度～
3	福和伸夫	最高裁判所建築関係訴訟委員会	委員	最高裁判所	2019年度～
3	福和伸夫	日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ	委員	中央防災会議	2020年度～
3	福和伸夫	政策委員会	委員長	地震調査研究推進本部	2016年度～
3	福和伸夫	防災教育チャレンジプラン実行委員会	委員	内閣府	2014年度～
3	福和伸夫	相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動検討会	委員	内閣府	2015年度～
3	福和伸夫	南海トラフ地震臨時情報に伴う防災対応中部連絡会	委員	内閣府	2019年度～
3	福和伸夫	災害被害を軽減する国民運動	サポーター	内閣府	2010年度～
3	福和伸夫	TEAM防災ジャパン	アドバイザー	内閣府	2015年度～
3	福和伸夫	中部防災推進ネットワーク	会長	内閣府他	2020年度
3	福和伸夫	事前防災・複合災害ワーキンググループ	委員	内閣官房国土強靭化推進室	2020～2021年度
3	福和伸夫	社会資本整備審議会・交通政策審議会 技術部会	臨時委員	国土交通省	2013年度～
3	福和伸夫	国土審議会 計画部会	特別委員	国土交通省	2021年度～
3	福和伸夫	令和2年度燃料安定供給対策に関する調査等事業検討委員会	委員	資源エネルギー庁	2020年度～
3	福和伸夫	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議	委員	中部地方整備局	2011年度～
3	福和伸夫	防災対策有識者懇談会	委員長	愛知県	2003年度～
3	福和伸夫	あいち防災協働社会形成推進協議会	アドバイザー	愛知県	2007年度～
3	福和伸夫	防災局アドバイザー		愛知県	2011年度～
3	福和伸夫	警察本部災害対策アドバイザー		愛知県	2011年度～
3	福和伸夫	後方支援を担う新たな防災拠点の整備に関する検討会	委員長	愛知県	2019年度～
3	福和伸夫	防災・減災対策検討会議	委員	三重県	2012年度～
3	福和伸夫	建築構造専門委員会	委員	岐阜県	2007年度～
3	福和伸夫	防災・原子力学術会議　地震・火山対策分科会	委員	静岡県	2012年度～

3	福和伸夫	静岡県津波防災地域づくり推進アドバイザー		静岡県	2016年度～
3	福和伸夫	震災対策部会	防災会議専門委員	石川県	2011年度～
3	福和伸夫	災害弔慰金等支給審査委員会	委員長	名古屋市	2021年度～
3	福和伸夫	岐阜城天守閣耐震化検討委員会	副委員長	岐阜市	2020年度～
3	福和伸夫	防災会議	専門委員	田原市	2011年度～
3	福和伸夫	総合計画審議会	委員	岡崎市	2017年度～
3	福和伸夫	減災まち作り研究会	顧問	安城市	2013年度～
3	福和伸夫	地域防災計画等のアドバイザー		府中市	2021年度
3	福和伸夫	地方自治先進政策センター・頭脳センター	専門委員	全国知事会	2007年度～
3	福和伸夫	強震観測事業推進連絡会議	委員	(研)防災科学技術研究所	2014年度
3	福和伸夫	第5期中長期計画検討委員会	アドバイザー	(研)防災科学技術研究所	2021年度～
3	福和伸夫	重水素実験安全評価委員会	委員	大学共同利用機関法人自然科学研究機構・核融合科学研究所	2018年度～
3	福和伸夫	科学研究費委員会専門委員、審査・評価第2部会C小委員会II基盤研究(S)	委員	(独)日本学術振興会	2020～2021年度
3	福和伸夫	名古屋都市センター	顧問	(財)名古屋都市整備公社名古屋都市センター	2016年度～
3	福和伸夫	三の丸研究会(防災部会)	委員長	(財)名古屋都市整備公社名古屋都市センター	2021年度～
3	福和伸夫	地球環境問題を踏まえた都市・地域形成における技術政策に関する勉強会	委員	国土技術研究センター	2020年度～
3	福和伸夫	ガス工作物技術基準調査委員会	委員	(一社)日本ガス協会	2013年度～
3	福和伸夫	ガス工作物技術基準調査委員会第3小委員会	委員長	(一社)日本ガス協会	2013年度～
3	福和伸夫	一般社団法人防災教育普及協会	理事	一般社団法人防災教育普及協会	2014年度～
3	福和伸夫	公益財団法人 明治村	評議員	公益財団法人 明治村	2014年度～
3	福和伸夫	明治村国宝茶室「如庵」・重要文化財「旧正伝院書院」修理委員会	委員	名古屋鉄道	2017～2021年度
3	福和伸夫	耐震構造委員会	委員	(財)愛知県建築住宅センター	1995年度～
3	福和伸夫	人と防災未来センター	客員研究員	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構	2021年度～
3	福和伸夫	構造性能評価委員会	副委員長	(株)確認サービス	2004年度～
3	福和伸夫	耐震評定委員会委員	委員	(株)確認サービス	2004年度～
3	福和伸夫	安全保安諮問委員会	委員	出光興産	2021年度～
3	福和伸夫	緊急地震速報利用者協議会	会長	緊急地震速報利用者協議会	2017年度～
3	福和伸夫	西三河防災減災連携研究会	座長	西三河9市1町	2013年度～
3	福和伸夫	東三河地域防災協議会	オブザーバー	東三河5市2町1村	2014年度～
3	福和伸夫		理事	(一社)防災教育普及協会	2014年度～
3	福和伸夫		顧問	NPO法人みえ防災市民会議	2008年度～
3	福和伸夫		顧問	NPO法人コミュニティサポーターほっぷ	2011年度～

3	福和伸夫		評議員	NPO法人レスキューストックヤード	2003年度～
3	福和伸夫		会長	愛知建築地震災害軽減システム研究協議会	2010～2021年度
3	福和伸夫	設計用入力地震動作成検討部会	部会長	愛知県設計用入力地震動研究協議会	2010～2021年度
3	福和伸夫		顧問	木造耐震ネットワーク知多	2007年度～
3	福和伸夫		参与	あいち防災リーダー会	2005年度～
3	福和伸夫	一般社団法人中部圏地域創造ファンド	評議員	一般社団法人中部圏地域創造ファンド	2017年度～
3	福和伸夫	社会資本整備専門委員会	委員	日本商工会議所	2020年度～
3	福和伸夫	地域BCM研究会	委員長	日本商工会議所	2020年度～
3	平井敬	日本地震工学会誌編集委員会	委員		2021/4/1~2022/3/31
3	武村雅之	代議員会	委員	(公社)日本地震学会	2012年度より
3	武村雅之	強震動委員会	委員	(公社)日本地震学会	2012年度より
3	武村雅之	広報委員会	委員	(公社)日本地震学会	2012年度より
3	武村雅之	原子力土木委員会	委員	(公社)土木学会	2013.9より
3	武村雅之	事業企画委員会震災予防講演会部会	委員	(公社)日本地震工学会	2013年度より
3	武村雅之	地震動予測地図高度化ワーキンググループ	専門委員	文部科学省	2005.3より
3	武村雅之	原子力規格委員会耐震設計分科会地震・地震動検討会	副主査	(一社)日本電気協会	2012年度より
3	武村雅之	南海トラフ～琉球海溝の地震・津波に係る研究会	委員	(財)地震予知総合研究振興会	2013.10.18より
3	武村雅之	名古屋産業科学研究所	非常勤所員	(公財)名古屋産業科学研究所	2012年度より
3	武村雅之	静岡大学防災総合センター	客員教授	静岡大学	2012年度より
3	武村雅之	静岡大学防災総合センター	講師	静岡大学	2018.6.1より
3	倉田和己	豊山町ハザードマップ検討会	監修	豊山町	2021年9月～2022年3月
3	倉田和己	四日市市防災教育センターリニューアル検討委員会	委員	四日市市	2021年9月～継続
3	倉田和己	気象災害・防災情報サービスの利活用促進のためのモニター調査委員会	委員長	国立研究開発法人防災科学技術研究所	2020年12月～継続
3	倉田和己	マルチハザードリスク研究会	委員	国立研究開発法人防災科学技術研究所	2019年12月～継続
3	西川智	日本学術会議土木工学・建築学委員会IRDR分科会	特任連携会員	日本学術会議	2021年4月～
3	西川智	ISO-TC268-WG6	Expert	日本規格協会	2020年4月～
3	西川智	ISO-TC268-WG6国内対応委員会	委員	日本規格協会	2020年4月～
3	西川智	ISO-TC268-WG6概念委員会	委員	東北大学	
3	西川智	ISO-TC268-WG6国際連携委員会	委員	東北大学	2020年4月～
3	西川智	災害食ISO委員会	委員	(一財)日本品質保証機構	2020年4月～
3	西川智	災害食ISO委員会分科会	委員	(一財)日本品質保証機構	2021年4月～
3	西川智	防災ISO個別委員会地震計規格委員会	委員	三菱総合研究所	2021年4月～

3	西川智	リスクファイナンス国際標準会規格検討委員会	学術アドバイザー	日本経済研究所	2021年7月～
3	西川智	内閣府事業継続計画策定・運用促進方策に関する検討会	委員	内閣府防災(計画担当)	2021年8月～
3	西川智	日本政策投資銀行BCM格付融資アドバイザー会議	委員	日本政策投資銀行	2021年5月～
3	西川智	アジア防災センター評議委員会	評議員	(一財)アジア防災センター	2021年4月～
3	西川智	地域安全学会理事会	理事	地域安全学会	2021年4月～
3	西川智	防災学術連携体	防災連携委員	(一社)防災学術連携体	2021年4月～
3	西川智	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	理事	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	2021年4月～
3	西川智	事業継続推進機構	理事	NPO法人事業継続推進機構BCAO	2021年4月～
3	西川智	Appraisal and Steering Committee for Research and Knowledge Management Initiatives	Member	Coalition for Disaster Resilient Infrastructure	2021年9月～
3	西川智	Science and Technology Major Group, International Science Council	Member	International Science Council （国際学術会議）	2021年8月～
3	西川智	International Consortium on Landslides	Advisor	NPO法人国際斜面災害研究機構	2021年4月～
3	西川智	日本防災プラットフォーム	顧問	(一社)日本防災プラットフォーム	2021年4月～
3	荒木裕子	津島市都市計画審議会	委員	津島市	201802-
3	荒木裕子	岡崎市防災会議	委員	岡崎市	201812-
3	荒木裕子	関西広域防災計画策定委員会	委員	関西広広域連合	201906-
3	荒木裕子	愛知県固定資産評価審議会	委員	愛知県	202004-
3	荒木裕子	愛知県住生活基本計画有識者検討会議	委員	愛知県	202010-
3	荒木裕子	豊橋市立地適正化計画改定委託業務プロポーザル評価委員会	委員	豊橋市	202103-
3	荒木裕子	名古屋都市センター三の丸研究会(防災部会)	構成員	名古屋市都市センター	202105-
3	荒木裕子	名古屋都市計画審議会立地誘導部会	委員	名古屋市	202106-
3	荒木裕子	犬山市都市計画マスタープラン等策定委員会	委員	犬山市	202108-
3	荒木裕子	豊橋市立地適正化計画改定検討委員会	委員	豊橋市	202108-
3	荒木裕子	名古屋市観光案内所基本構想策定検討懇談会	委員	名古屋市	202110-
3	荒木裕子	日本災害復興学会学会誌編集委員会	委員	日本災害復興学会	201902-
3	荒木裕子	日本建築学会農村計画本委員会	委員	日本建築学会	202004-
3	荒木裕子	日本都市計画学会学術委員会	委員	日本都市計画学会	202104-
3	荒木裕子	減災デザイン＆プランニング・コンペ	審査員	芸術工学会	201601-
3	荒木裕子	関西学院大学災害復興制度研究所	研究員	関西学院大学	202005-
5	田代喬	特別研究員等審査会	専門委員	独立行政法人 日本学術振興会	～2021.6.30
5	田代喬	水工学委員会　水工学論文集編集小委員会	委員	公益社団法人 土木学会	
5	田代喬	水工学委員会　環境水理部会	委員	公益社団法人 土木学会	
5	田代喬	水工学委員会　水害対策小委員会	委員	公益社団法人 土木学会	

5	田代喬	将来構想委員会	委員	応用生態工学会	
5	田代喬	学会誌編集委員会	委員	応用生態工学会	
5	田代喬	「陸の水」論文集編集委員会	委員	日本陸水学会東海支部会	
5	田代喬	東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会	ファシリテーター	国土交通省中部地方整備局河川部	
5	田代喬	中部ブロック多自然川づくりサロン	アドバイザー	国土交通省中部地方整備局河川部	
5	田代喬	櫛田川自然再生推進会議	委員	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所	
5	田代喬	木曽川イタセンパラ事業環境影響検討会	委員	国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所	
5	田代喬	内水面漁場管理委員会	委員	愛知県農林水産部水産課	
5	田代喬	警察本部	災害対策アドバイザー	愛知県警察本部災害対策課	
5	田代喬	新濃尾大橋（仮称）環境監視調査等検討委員会	副委員長	愛知県一宮建設事務所	
5	田代喬	天然記念物ネコギギ保護連絡会議	委員	三重県教育委員会	
5	田代喬	天然記念物ネコギギ保護管理指針改定検討委員会	委員	三重県教育委員会	
5	田代喬	天然記念物ネコギギ保護増殖指導委員会	指導委員	三重県いなべ市教育委員会	
5	田代喬	菊川流域治水プロジェクト	アドバイザー	菊川市	2021.9.30～2022.3.31
5	田代喬	水力発電事業化促進事業費補助金（地域理解促進等関連事業）採択審査委員会	委員	一般財団法人新エネルギー財団	
5	田代喬	水源地生態研究会ダム湖と下流の生態研究グループ	委員	一般財団法人水源地環境センター	
5	北川夏樹	地震工学委員会 ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会	委員	公益社団法人　土木学会	2019年9月～

1 研究連携部門 2 社会連携部門 3 強靱化共創部門 4 寄附部門 5 産学連携部門 4 研究員など	本センターの教員名					1 共同研究 2 科学研究費補助金 3 その他
部門	**氏名**	**助成金名**	**研究タイトル**	**出資先**	**研究期間**	**種類**
1	鷺谷　威	基盤研究(B)	東日本の島弧地殻における非弾性変形マッピング	日本学術振興会	2018～2021年度	2
1	鷺谷　威	国内共同研究	長岡平野西縁断層帯周辺のGPS観測・解析	文部科学省	2019～2021年度	1
1	鷺谷　威	二国間共同研究	コロンビア・カリブ海沿岸地域の地震・津波ポテンシャル評価	日本学術振興会	2020～2021年度	3
1	鈴木康弘	科学技術基礎調査等委託事業	屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）における重点的な調査観測	文部科学省	2020～2022年度	3
1	鈴木康弘	二国間共同研究	ウランバートル断層の地震危険度に関する国際共同研究	日本学術振興会	2020～2021年度	3
1	鈴木　康弘	JICA草の根技術協力事業	モンゴル・ホブド県における地球環境変動に伴う大規模自然災害への防災啓発プロ	国際協力機構	2017～2022年度	3
1	鈴木　康弘	基盤研究(A)	ウランバートルの総合的地震危険度評価とモンゴルの広域活断層図作成	日本学術振興会	2021～2024年度	2
1	長江　拓也	挑戦的研究・開拓	地震被災建物の非構造材の動作計測と画像解析に基づく即時応急危険度判定技術	日本学術振興会	201906-202203	2
1	長江拓也		建築物の二次部材を含む地震被災度総合評価のためのデータ解析	不二サッシ(株)	201906-202203	3
1	長江拓也		二次部材性能を反映する建築耐震性の全体評価に向けた手法開発	国立研究開発法人防災科学技術研究所	201906-202203	3
1	長江拓也		畜舎特例法施行を背景とする鶏舎のローコスト鉄骨構造システム構築	(株)ハイテム	202111-202207	3
1	長江拓也		首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト「非構造部材を含む構造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備」	国立研究開発法人防災科学技術研究所	201906-202203	3
1	長江拓也		G4：災害対応力向上，SATREPS，地震直後におけるリマ市内インフラ被災程度の予測・観測のための統合型エキスパートシステムの開発	JST/JICA	202109-202203	3
2	平山　修久	挑戦的研究(萌芽)	人口減少社会における地域の消防力確保に関する分野横断的検討	日本学術振興会		2
2	平山　修久	研究成果公開促進費（研究成果公開発表）	人口減少社会における地域の消防力確保に関する分野横断的検討	日本学術振興会		2
2	平山　修久	文部科学省受託研究	防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト	文部科学省		
3	福和伸夫	科学研究費補助金・基盤研究（A）	致命的災害病巣を検知・切除・治癒することによる南海トラフ地震の総合的減災戦略研究	科学研究費補助金	2017年度-2021年度	2
3	福和伸夫	民間との共同研究	巨大地震に対する産業界の減災戦略策定のための基礎研究	コンポン研究所	2021年度	1
3	福和伸夫	民間との共同研究	令和2年度南海トラフ地震による社会経済活動への影響評価に関する研究	国土交通省中部地方整備局	2021年度	3

3	西川智	災害レジリエンス向上のための社会的期待発見研究	中小・零細企業の被害軽減のためのリアルタイム災害情報の有効活用手法研究	防災科学技術研究所	2021年10月～ 2023年3月	1
3	西川智	国際科学技術協力基盤整備事業日本−米国（SDGsや仙台防災枠組の優先行動に即し、人間中心のデータを活用したレジリエンス研究）	広域災害発生時の病院機能維持に着目した地域のレジリエンス評価手法の開発	科学技術振興機構	2022年2月～ 2023年3月	3
3	西川　智	戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）	産官学協働による広域経済の減災・早期復旧戦略の立案手法開発			
3	荒木　裕子	河川情報センター研究助成	伊勢湾台風の広域避難とその解消プロセス			
3	倉田　和己	共同研究	ARを活用した防災アプリの開発及び導入とアプリを活用した効果的な啓発手法の研	四日市市	2021年11月～ 2022年3月	1
3	倉田和己	共同研究	ハザードマップGISデータを始めとする各種防災情報のオープンデータ化の在り方に関する共同研究	名古屋市	2021年7月～ 2022年3月	1
5	田代喬	科学研究費補助金・基盤研究(B)	自然災害／資源開発を受容する火山麓地域の自然共生に向けた水文水質・生態機構の解明	日本学術振興会	2019−2022年度	2
5	田代喬	学術コンサルティング	豪雨時の浸水リスクのスクリーニングを通じた被害低減対策の検討」に関する学術コンサルティング	中部電力株式会社	2021.7−2022.3	3
5	田代喬	学術コンサルティング	西区防災マップ作成に係るコンサルティング業務	名古屋市西区役所	2021.7−8	3
5	田代喬	公益財団法人大林財団研究助成	オンサイト・センシングによる監視と数値解析による検証・追跡を併用した豪雨時に発生する都市浸水に関する減災シナリオの構築	公益財団法人大林財団	2021年度	3
5	田代喬	河川基金助成事業	水害適応社会の共創に向けた輪中湿地帯の冠水履歴に関する研究	公益財団法人河川財団	2021−2022年度	3
5	田代喬	「同位体環境学」一般共同研究	氾濫平野に残された半閉鎖性水域の過去100年間における堆積環境の分析	総合地球環境学研究所	2019−2021年度	1

教員のメディア掲載一覧

（注）
・2021年度中のもの

1 研究連携部門 2 社会連携部門 3 強靭化共創部門 4 寄附部門 5 産学連携部門 4 研究員など	本センターの教員名				1 テレビ 2 ラジオ 3 新聞 4 その他	
部門	**氏名**	**番組名など**	**内容**	**掲載先**	**種別**	**日付け**
1	鷺谷　威	高校生たちが揺れのメカニズムを研究	ニュースザウルスふくい	NHK福井放送局	テレビ番組	20210701
1	鷺谷　威	科学の森　地震学の現在地（1）		毎日新聞社	新聞・雑誌	20210408
1	鷺谷　威	科学の森　地震学の現在地（2）		毎日新聞社	新聞・雑誌	20210415
1	鈴木康弘	（明日へのLesson）新科目「地理総合」で防災を考える	25年以降大学入学共通テストのサンプル問題解説	朝日新聞	3	2021年12月16日
1	鈴木康弘	防災カルタ、モンゴルへ	JICAプロジェクトの成果紹介	朝日新聞	3	2021年10月18日
1	鈴木康弘	みんなの本　ボスフォラスを越えて　鈴木康弘著	著作の書評	中日新聞	3	2022年1月26日
1	鈴木康弘	「熊本地震 6年目の真実と教訓」（前編）	公開型授業、BS231で放映	放送大学	1	2021年12月12日
1	鈴木康弘	「熊本地震 6年目の真実と教訓」（後編）	公開型授業、BS231で放映	放送大学	1	2021年12月19日
1	鈴木康弘	特別番組	モンゴル非常事態庁によるJICA事業紹介（防災カルタ）	モンゴル国営放送	1	2022年2月22日
1	鈴木康弘	「地理総合」防災テーマ	高等学校新指導要領に基づく防災教育の趣旨を解説	読売新聞	3	2022年3月1日
1	飛田潤		市民・専門家・行政が力を合わせて身近な減災対策を	医療福祉生協情報誌comcom	4	2021年10月1日
1	飛田潤	チャント！	災とSeeing「1945年三河地震」	CBCテレビ	1	2021年11月5日
1	飛田潤	備える3.11から	連続した大地震 古刹襲う	中日新聞	3	2021年11月8日
1	飛田潤	連載「災とSeeing」 東海地方の災害の歴史、動画と文章でたどる	第8回　昭和東南海・三河地震（愛知県碧南・安城市）	中日新聞web	4	2021年11月8日
2	平山　修久	水不足		週間SPA!　7/20・27合併号、扶桑社	新聞・雑誌	20210713
2	平山　修久	水害時ごみ総量迅速推計		読売新聞	新聞・雑誌	20210802
2	平山　修久	水不足		週間SPA!　7/20・27合併号, 扶桑社	新聞・雑誌	20210713

3	福和伸夫		県内新庁舎の主流は免震 「発災後、機能の維持可能」	高知新聞	3	2020.4.14
3	福和伸夫		北海道、岩手 津波30メートル想定 日本・千島海溝地震で内閣府有識者会議	中日新聞	3	2020.4.21
3	福和伸夫		建設業は防災のトップランナー、地方からの提言	建設通信新聞	3	2020.4.28
3	福和伸夫		「災害」と「感染症」は深い関わり 防災専門家 福和伸夫教授	NHK NEWS WEB	4	2020.4.30
3	福和伸夫		社説 「複合災害」に備える コロナ禍に考える	中日新聞	3	2020.5.1
3	福和伸夫	ゴゴスマ	岐阜・長野県境での地震の続発	CBCテレビ	1	2020.5.19
3	福和伸夫		感染症と自然災害	震災リゲインPress	1	2020.5.20
3	福和伸夫		災いは複合する	ガスエネルギー新聞	3	2020.5.25
3	福和伸夫	ゴゴスマ	茨城と鹿児島で震度4	CBCテレビ	1	2020.6.1
3	福和伸夫	ゴジらじ	新型コロナ禍の先を見据えて	NHKラジオ	2	2020.6.9
3	福和伸夫		後藤新平と感染症対策	静岡新聞	3	2020.6.14
3	福和伸夫	ゴジらじ	長引く巨大地震の影響	NHKラジオ	2	2020.7.7
3	福和伸夫		コロナ下での「避難」	ガスエネルギー新聞	3	2020.7.20
3	福和伸夫		楽しみながら考える「防災バラエティ」8日	中日新聞	3	2020.8.6
3	福和伸夫		ピンチに役立つ生テレビ	CBCテレビ	1	2020.8.8
3	福和伸夫		防災の日パネル展「備える」全紙面も	中日新聞	3	2020.8.26
3	福和伸夫		災禍と闘い続ける人類の歴史、苦しみ越え新しい社会生まれる、教訓を未来の防災に生かす	日経産業新聞	3	2020.8.31
3	福和伸夫	ゴジらじ	実験動画で揺れ学ぼう 損保協会中部支部がネット公開	中日新聞	3	2020.9.2
3	福和伸夫		台風への警戒と対策	NHKラジオ	3	2020.9.8
3	福和伸夫	チャント	東海豪雨20年の教訓の継承	CBCテレビ	3	2020.9.9
3	福和伸夫	チャント	東海豪雨20年で気象情報の改善	CBCテレビ	1	2020.9.11
3	福和伸夫		地域や環境について知ることが備えに 風水災への「備え」を考える―東海豪雨から20年―	中日新聞	1	2020.9.11
3	福和伸夫		避難か経済か、コロナが突く巨大地震対策の難題	日経新聞電子版	3	2020.9.28

3	福和伸夫		改元に学ぶ災禍の歴史	静岡新聞	3	2020.10.25
3	福和伸夫		ぼうさいこくたい	中国新聞	2	2020.10.27
3	福和伸夫	ゴジらじ	名古屋に描く「近未来予想図」	中日新聞	3	2020.11.4
3	福和伸夫		3.11の教訓　次代に	中日新聞	3	2020.11.16
3	福和伸夫		ステイホームの基本	ガスエネルギー新聞	3	2020.11.16
3	福和伸夫		わたしの仕事　紙やおかしで実験　災害へのそなえ伝える　福和伸夫	中部経済新聞	3	2020.11.16
3	福和伸夫		名古屋の10年後　本に	毎日新聞	3	2020.12.4
3	福和伸夫		防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」語り受け継ぐ	中日新聞	3	2020.12.7
3	福和伸夫		コロナ禍乗り越え新局面へ　繰り返される危機に備える金融・企業、Re:ing/SUM	日経新聞	3	2020.12.20
3	福和伸夫	災害大国	日本全体守るためまちづくりと備えを	朝日新聞	3	2020.12.21
3	福和伸夫		防災力向上へ協定締結	中日新聞	3	2021.1.4
3	福和伸夫		万一の備え地震保険で　オンライン講座 名大の福和教授講演	中日新聞	3	2021.1.11
3	福和伸夫		南海トラフ地震臨時情報について	NHK	1	2021.1.13
3	福和伸夫		巨大地震 どう備える　名大減災館 ウェブ上で企画展	毎日新聞	3	2021.1.17
3	福和伸夫	防災ニッポン	津波の警報が出たらまず逃げる	読売新聞	3	2020.1.21
3	福和伸夫		十年前の災禍	ガスエネルギー新聞	3	2021.1.25
3	福和伸夫	チャント	町ごと引っ越す清洲城　徳川家康に学ぶ「事前復興」	CBCテレビ	1	2021.4.2
3	福和伸夫	備える	災とSeeing(1)清洲越し「事前復興」家康の先見	中日新聞	3	2021.4.5
3	福和伸夫	ごじラジ	熊本地震から5年　複合災害を考える	NHKラジオ	2	2021.4.20
3	福和伸夫		防災　広域の連記体制主導を 名古屋市長選2021課題を問う㊤	読売新聞	3	2021.4.21
3	福和伸夫		歴史から災害学ぶ	中日こどもWEEKLY	3	2021.5.1
3	福和伸夫	私見卓見	巨大地震 地域主体の連携で克服	日経新聞	3	2021.5.21
3	福和伸夫		名古屋で南海トラフ地震中部圏会議	中日新聞	3	2021.5.21

3	福和伸夫		強なくして用なし	ガスエネルギー新聞	3	2021.5.24
3	福和伸夫	備える	南海トラフ地震の臨時情報	中日新聞	3	2021.6.7
3	福和伸夫		名古屋市の事前避難対象地域の指定	CBCテレビ	1	2021.6.21
3	福和伸夫	ごじラジ	南海トラフ地震臨時情報	NHKラジオ	2	2021.6.22
3	福和伸夫		名古屋市 事前避難5区で	読売新聞	3	2021.7.3
3	福和伸夫		南海トラフ地震臨時情報	東海テレビ	1	2021.7.5
3	福和伸夫		災害医療設備見学　救急車乗車体験も　31日催し　参加者募る	中日新聞	3	2021.7.6
3	福和伸夫		熱海土石流　不明43人の所在確認　氏名公表一定の成果	産経新聞	3	2021.7.7
3	福和伸夫	家族	防災の伝え方磨かれた 地震工学者 福和伸夫さん	中日新聞	3	2021.7.18
3	福和伸夫		プリン使い実験地震仕組み学ぶ	中日新聞	3	2021.8.12
3	福和伸夫	チャント	南海トラフ巨大地震 事前避難地域を行く	CBCテレビ	1	2021.8.23
3	福和伸夫	チャント	南海トラフ巨大地震 事前避難地域の住民は	CBCテレビ	1	2021.8.24
3	福和伸夫		人ごとではない噴火災害	日経産業新聞	3	2021.8.31
3	福和伸夫		地震検知　陰の働き者	読売新聞	3	2021.9.8
3	福和伸夫		臨時情報 転じて福に	静岡新聞	3	2021.9.12
3	福和伸夫		夢の復興案	ガスエネルギー新聞	3	2021.9.20
3	福和伸夫		「事前避難」理解進まず　南海トラフ地震の臨時情報㊦	読売新聞	3	2021.9.22
3	福和伸夫	聞けば聞くほど	防災特集・防災の歴史とこれから	CBCラジオ	2	2021.9.23
3	福和伸夫	チャント	千葉県北西部の地震 高層ビル	CBCテレビ	1	2021.10.8
3	福和伸夫		千葉県北西部の地震 帰宅困難者 インフラ老朽化… 東海も同じ	中日新聞夕刊	3	2021.10.8
3	福和伸夫		また帰宅困難もろい首都圏	中日新聞	3	2021.10.9
3	福和伸夫		2050年の家作りゼミナール②防災	日経新聞	3	2021.10.22
3	福和伸夫	ごじラジ	千葉県北西部の地震	NHKラジオ	2	2021.10.26

3	福和伸夫		防災キャンプ前に地震の知識深める	中日新聞	3	2021.10.26
3	福和伸夫		日本専家:東京応加強防範直下型地震	香港フェニックステレビ	1	2021.11.4
3	福和伸夫		地震は繰り返す	ガスエネルギー新聞	3	2021.11.15
3	福和伸夫		南海トラフ 後悔しない備えを 東浦 3・11被災者と専門家ら討論	中日新聞	3	2021.11.19
3	福和伸夫		業界団体間の共助を促進　中部防災推進ネットワーク	日刊建設工業新聞	3	2021.11.26
3	福和伸夫		Shaky ground : Is Tokyo prepared for the 'Big One'?	JapanTimes	3	2021.11.29
3	福和伸夫		サバイバルキャンプ	中日新聞	3	2021.12.5
3	福和伸夫	備える	伝え溶け込み考える　防災・減災への新聞社の取り組み・役割	中日新聞	3	2021.12.6
3	福和伸夫	図解	南海トラフ巨大地震	中日こどもウィークリー	3	2021.12.11
3	福和伸夫	防災ニッポン	高層ビル	読売新聞	3	2021.12.15
3	福和伸夫	まるっと	南海トラフ地震臨時情報	NHK	1	2021.12.16
3	福和伸夫	ごじラジ	日本海溝・千島海溝沖の地震	NHKラジオ	2	2021.12.28
3	福和伸夫		防災・減災と脱炭素	ガスエネルギー新聞	3	2022.1.1
3	福和伸夫		中部発　広域防災拠点　名古屋空港隣に大災害備え	中日新聞	3	2022.1.10
3	福和伸夫	視点・論点	新たな考えで取り組む耐震化	NHK	1	2022.1.17
3	福和伸夫	NHKスペシャル	見過ごされた耐震化 ～阪神・淡路大震災 建物からどう命を守るか～	NHK	1	2022.1.17
3	福和伸夫		耐震化　ビルが課題	中日新聞・静岡	3	2022.1.18
3	福和伸夫		民間建物の耐震化を！	静岡新聞	3	2022.1.23
3	福和伸夫		寒冷地地震に備えを	ガスエネルギー新聞	3	2022.1.24
3	平井敬	災とSeeing＜5＞　濃尾地震（1891年、岐阜・本巣市）	濃尾地震と内陸地殻内地震の解説	CBCテレビ	1	2021年7月29日
3	平井敬	＜備える＞　災とSeeing（5）岐阜県内、濃尾地震の痕跡	濃尾地震と内陸地殻内地震の解説	中日新聞（朝刊）	3	2021年8月2日
3	平井敬	そこが知りたい災害と備え　内陸直下型も警戒緩めないで	濃尾地震と内陸地殻内地震の解説	朝日新聞（朝刊）	3	2021年10月12日
3	平井敬	アートな本　平井敬編著、石川寛監修「すごろくで学ぶ安政の大地震」	著書の紹介	中日新聞（朝刊）	3	2022年1月9日

3	武村雅之	東海の肖像	想定外に備えて 過去災害に見るリスクの正体	ケーブルTV　KATCH	1	2021年10月22日
3	武村雅之	チャント！	災とSeeing⑦関東大震災と名古屋	CBCテレビ	1	2021年12月3日
3	武村雅之	Nラジ　トピック	『関東大震災の記録映画ネット公開 当時の映像から教訓をさぐる』	NHKラジオ第一	2	2021年9月17日
3	武村雅之	くらしと防災チャンネル	地震学者に聞く！歴史に学ぶ防災	メディアスエフエム	2	2021年11月18日
3	武村雅之	くらしと防災チャンネル	帝都復興計画から学ぶ防災の心	メディアスエフエム	2	2022年3月11日
3	武村雅之	戦後76年　戦中の地震真相探る	中島飛行機史実見直し	読売新聞（愛知板）	3	2021年8月17日
3	武村雅之	列車に迫る土石流の脅威　大雨だけでなく突然の地震でも	98年前の悲劇　トンネルで助かった客車も	朝日新聞DIJITAL	3	2021年8月21日
3	武村雅之	9月１日は防災の日自然の脅威に	経済優先の開発計画に警鐘	建設通信新聞	3	2021年9月1日
3	武村雅之	関東大震災98年　きょう防災の日	復興の歴史　今こそ知って	朝日新聞夕刊	3	2021年9月1日
3	武村雅之	土砂災害鉄道の安全は	熱海では高架下を・・各社、対策を見直し	朝日新聞	3	2021年9月3日
3	武村雅之	災とSeeing	避難者の受け入れ「共助」の証し	中日新聞	3	2021年12月6日
3	荒木　裕子	コロナ自宅療養者 災害時どこへ　きょう防災の日		中日新聞	3	2021年9月1日
3	西川智	備えは万全か 読売新聞愛知県版	災害時事業継続 道半ば	読売新聞	3	2021年5月13日
3	西川智	24チャーサ紙(ブルガリアの新聞)	Проф. Сатору Нишикава: Записка от бедствия не трябва да забравяме дори в спокойни дни	24 Chasa.bg	3	2021年11月7日
3	西川智	ブルガリア国営テレビPanorama	Когато дойде бедствието – проф. Сатору Нишикава от Япония	https://bnt.bg/news/	1	2021年12月3日
3	西川智	毎日フォーラム 毎日新聞社	「コンガラ」の資源化テーマに 陸域と海域にまたがる資源循環を	毎日フォーラム	4	2021/10/00
3	西川智	備えは万全か　読売新聞愛知県版	トンガ噴火で津波、臨機応変に命を最優先	読売新聞	3	2022年2月10日
3	西川智	会社 災害負けない備えを	中小企業の「事業継続力強化計画」利用増	中日新聞	3	2022年3月4日
4	利藤　房男	池上彰と考える　巨大自然災害から命を守れ　第10弾		メーテレ	1	20210905
5	菅沼淳	チャント！「災とSeeing」	伊賀上野地震に学ぶ	CBCテレビ	1	2021年6月4日
5	菅沼淳	備える　3.11から	忍者の里の大地震　伝える絵図	中日新聞	3	2021年6月7日
5	菅沼淳	中日こどもWeekly	「直下型」伊賀上野地震　町の地下で断層が動く	中日新聞	3	2021年9月25日

5	菅沼淳	くらしと防災チャンネル	過去の災害を知ることの大切さ	メディアスエフエム	2	2021年10月30日
5	田代喬	KATCH TIME30	大雨への必要な備え：ハザードマップや警戒レベルを確認	キャッチネットワーク	1	2021年6月7日
5	田代喬	チャント！	災とSeeing「明治29年洪水」	CBCテレビ	1	2021年7月2日
5	田代喬	チャント！	”土石流”の原因は？東海地方どこが危険？	CBCテレビ	1	2021年7月5日
5	田代喬	チャント！	発生5日目なぜ土石流が？名古屋大学の専門家が調査	CBCテレビ	1	2021年7月7日
5	田代喬	UP!	「通常の土石流は何カ所かで起きるが、ここは1カ所だけ」 熱海を緊急調査した名大専門家、盛り土にも言及	名古屋テレビ	1	2021年7月7日
5	田代喬	UP!	土石流「岩含まれず“盛り土”が流れたか」現地調査した名大の専門家　建物にペッタリ飛び散る“爪痕”	名古屋テレビ	1	2021年7月8日
5	田代喬	ORANGE	防災最前線～7月の豪雨から3カ月　復旧進む黄瀬川　災害相次いだ“原因”は（静岡県）～	静岡放送	1	2021年10月19日
5	田代喬	UP!	一歩前へ（冠水しキケンな通学路）	名古屋テレビ	1	2021年10月28日
5	田代喬		熱海土石流　専門家が原因分析	中日新聞朝刊3面	3	2021年7月4日
5	田代喬	備える3.11から	第189回豪雨の情報：災とSeeing“天守の石垣 大洪水の記憶刻む”	中日新聞朝刊23面（震災）	3	2021年7月5日
5	田代喬		盛り土 地下水ふさいだか　熱海土石流　名工大など原因分析	中日新聞朝刊3面	3	2021年7月8日
5	田代喬		流出した土砂「主に盛り土」土木学会が現地調査	日本経済新聞35面	3	2021年7月8日
5	田代喬		災害時供給停止の最小化～複雑化するリスクへ対応強化（東邦ガスに名古屋大学減災連携研究センターが協力）	ガスエネルギー新聞	3	2021年8月30日
5	田代喬	災害に備え地域の防災力を高めるための連携企画「災とSeeing」	「明治29年洪水」	CBCテレビ，https://hicbc.com/bousai/，https://www.youtube.com/watch?v=JsVHdh3BNC4	4	2021年7月4日
5	田代喬	中部災害アーカイブス「災とSeeing」	(4)明治29年洪水	一般社団法人中部地域づくり協会，http://www.cck-chubusaigai.jp/sai_seeing/detail_04.html	4	2021年7月4日
5	田代喬	連載「災とSeeing」 東海地方の災害の歴史、動画と文章でたどる	第4回　明治29年洪水（岐阜県大垣市）	中日新聞Web，https://www.chunichi.co.jp/article/244009	4	2021年7月4日
5	田代喬	＜備える＞災とSeeing	（4）水の都・大垣（岐阜県大垣市）天守の石垣、大洪水の記憶を刻む	中日新聞Web，https://www.chunichi.co.jp/article/284902	4	2021年7月5日
5	田代喬	東海地方のニュース	「通常の土石流は何カ所かで起きるが、ここは1カ所だけ」 熱海を緊急調査した名大専門家、盛り土にも言及	メーテレトップ，https://www.nagoyatv.com/news/?id=007675，https://www.youtube.com/watch?v=hXrvKvxr3Fk	4	2021年7月7日

5	田代喬		「通常の土石流は何カ所かで起きるが、ここは1カ所だけ」 熱海を緊急調査した名大専門家、盛り土にも言及,	Yahoo Japanニュース, https://news.yahoo.co.jp/articles/26283f523dd88d9d83db1245ed4d8b323b279043	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	共同通信, https://nordot.app/785493222071320576?c=39546741839462401, https://twitter.com/kyodo_official/status/1412760744668450821	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	東京新聞TOKYO Web, https://www.tokyo-np.co.jp/article/115245	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	神戸新聞NEXT, https://www.kobe-np.co.jp/news/zenkoku/compact/202107/0014481563.shtml	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	カナロコby神奈川新聞, https://www.kanaloco.jp/news/social/article-567363.html	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	京都新聞, https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/594400	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	愛媛新聞ONLINE, https://www.ehime-np.co.jp/article/ky202107070508200022	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	千葉日報オンライン, https://www.chibanippo.co.jp/newspack/20210707/809387	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	西日本新聞me, https://www.nishinippon.co.jp/item/o/767023/	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	日本経済新聞, https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE07CM30X00C21A7000000/	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	BUSINESS LIVE四国新聞, http://www.shikoku-np.co.jp/bl/news/national/social-detail.aspx?kid=20210707000691	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	徳島新聞電子版, https://www.topics.or.jp/articles/-/555334	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査（共同通信）	dメニュー・ニュース（NTTドコモ）, https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/kyodo_nor/nation/kyodo_nor-2021070701001372	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	47NEWS, https://www.47news.jp/6492710.html	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	nippon.com, https://www.nippon.com/ja/news/kd785493222071320576/	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	BIGLOBEニュース, https://news.biglobe.ne.jp/domestic/0707/kyo_210707_8395646561.html	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	gooニュース, https://news.goo.ne.jp/article/kyodo_nor/nation/kyodo_nor-2021070701001372.html	4	2021年7月7日

5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	新建ハウジングDIGITAL, https://www.s-housing.jp/archives/240907	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	DAILYSUN NEWYORK, https://www.dailysunny.com/2021/07/07/熱海、流出の土砂は主に盛り土か/	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か　土木学会が現地調査	ORICON NEWS, https://www.oricon.co.jp/article/1569451/	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	NEWS CAFE, https://www.newscafe.ne.jp/article/2021/07/07/2616086.html	4	2021年7月7日
5	田代喬		熱海、流出の土砂は主に盛り土か	デイリースポーツonline, https://www.daily.co.jp/society/national/2021/07/07/0014481562.shtml	4	2021年7月7日
5	田代喬		盛り土、計画超える高さ50mか　再三指導、熱海土石流	産経ニュース, https://www.sankei.com/article/20210707-AXL3ZVX6FFLK7GLJUANF65HJHI/	4	2021年7月7日
5	田代喬		盛り土 地下水ふさいだか　熱海土石流　名工大など原因分析	中日新聞Web, https://www.chunichi.co.jp/article/286844	4	2021年7月8日
5	田代喬	東海地方のニュース	土石流「岩含まれず“盛り土”が流れたか」現地調査した名大の専門家　建物にベッタリ飛び散る“爪痕”	メーテレトップ, https://www.youtube.com/watch?v=fED8S0unA_s	4	2021年7月9日
5	田代喬		土石流「岩含まれず“盛り土”が流れたか」現地調査した名大の専門家　建物にベッタリ飛び散る“爪痕”	Yahoo Japanニュース, https://news.yahoo.co.jp/articles/17529d0cada63e017bc8eeed6f1269477be688b6	4	2021年7月9日
5	田代喬		熱海大規模土石流「盛り土が原因」と告訴…法的責任は？　弁護士「危険予測し安全を確保できたのかが焦点」	Yahoo Japanニュース, https://news.yahoo.co.jp/articles/90effd3a3bd43182dfca87372e3991799085daeb	4	2021年8月24日
5	田代喬		7月の豪雨から3カ月　復旧進む黄瀬川　災害相次いだ“原因”は（静岡県）	Yahoo Japanニュース, https://news.yahoo.co.jp/articles/678ab31ed1a8d37b5766ee0ccf84a74dac390cbb	4	2021年10月19日

７．名古屋大学基金「巨大災害から次世代を守る減災館支援事業」寄附者様　ご芳名一覧

＜2018 年度寄附者様　ご芳名一覧＞

名古屋大学基金「巨大災害から次世代を守る減災館支援事業」に対し、たくさんの方から貴重なご支援を賜りました。関係者一同、厚く御礼申し上げます。

金原　保夫 様
福和　伸夫 様
長谷川　大 様
岡田　純一 様
高木　勝 様
伊藤　秀章 様
利藤　房男 様
飛田　潤 様
岩井　仙一 様
大竹　広行 様
成瀬　敦 様
矢野　優治 様
高橋　義治 様
近藤　斎 様
小川　直人 様
村尾　英彦 様
鈴木　要介 様
服部　匠 様
飯田　文雄 様
鷲見　修 様
野田　利弘 様
小泉　明 様
近藤　善房 様
伊藤 秀樹 様
杉野　和記 様
野木森　鐘治 様
和田　茂 様
大津　宜子 様
鳥井　信吾 様
田口　常代 様
瀬戸　礼子 様
嶋田　裕子 様
小縣　真理子 様
共栄火災海上保険株式会社　中京支店 様
株式会社 トライデザイン 様
共栄火災海上保険株式会社　中京支店 様
中部電力株式会社　土木建築室 様
株式会社 一条工務店 様
セラミックス連合東海 OB 会 様
（順不同）他２０名

＜2019 年度寄附者様　ご芳名一覧＞

名古屋大学基金「巨大災害から次世代を守る減災館支援事業」に対し、たくさんの方から貴重なご支援を賜りました。関係者一同、厚く御礼申し上げます。

高橋　義治 様
西園　千江美 様
有限会社アシストコム 様
近藤　斎 様
浅田　務 様
近藤　斎 様
杉本　達彦 様
飛田　潤 様
中西　広吉 様
伊藤　秀樹 様
森田　宏 様
村上　一徳 様
岩井　仙一 様
大津　宜子 様
大東　憲二 様
舟橋　隆 様
加納　弘惠 様
服部　英身 様
鈴木　道宏 様
瀬戸　礼子 様
森田　宏 様
神野　春光 様

（順不同）他９名

＜2020 年度寄附者様　ご芳名一覧＞

名古屋大学基金「巨大災害から次世代を守る減災館支援事業」に対し、たくさんの方から貴重なご支援を賜りました。関係者一同、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人　GEOASIA 研究会　様
中川　雅章　様
浅田　務　様
石橋　畝　様
杉本　達彦　様
阪口　正敏　様
服部　英身　様
伊藤　秀樹　様
大津　宜子　様
近藤　斎　様
水谷　誠　様

一般社団法人　日本防災共育協会　様
中田　和子　様
柳学区民生児童委員協議会　様
脇田　慎司　様
岩井　仙一　様
鈴木　道宏　様
神野　春光　様
杉本　達彦　様
近藤　康典　様
伊藤　秀樹　様
仲村　治朗　様

（順不同）他 11 名

＜2021 年度寄附者様　ご芳名一覧＞

名古屋大学基金「巨大災害から次世代を守る減災館支援事業」に対し、たくさんの方から貴重なご支援を賜りました。関係者一同、厚く御礼申し上げます。

高橋　義治　様
寺川　亜伸　様
田中　孝幸　様
近藤　　斎　　様
柴崎　洋二　様
大滝　　修　　様
浅田　　務　　様
杉本　達彦･美保･彩名　様
鈴木　道宏　様
河津　博史　様
ホイテクノ物流 株式会社　様
近藤　康典　様
服部　英身　様
大津　宜子　様
中日コプロ 株式会社　様
神野　春光　様
株式会社 共和電業　様
横田 義男　様

（順不同）他９名